

ソリッドステートメモリーカムコーダー

取扱説明書

PXW-FX9V/PXW-FX9VK

ソフトウェアバージョン4.0

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCM XQD™ HDMI

MPEG HD422

Exmor R
CMOS Sensor

XAVC

目次

1章 概要

システム構成例.....	3
各部の名称と働き.....	4
タッチパネルの使いかた.....	10
画面表示.....	11

2章 準備

電源の準備.....	18
機器の取り付け・調整.....	20
本機の基本動作を設定する.....	27
XQDメモリーカードを使う.....	29
Utility SD/MSカードを使う.....	32

3章 撮影

基本操作手順.....	33
フォーカスを調節する.....	35
明るさを調節する.....	41
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス).....	44
収録する音声を設定する.....	45
便利な機能.....	47
プロキシ記録をする.....	57
RAW動画を記録する.....	58

4章 ネットワーク機能

デバイスとLAN接続する.....	59
インターネット接続する.....	63
ファイルを転送する.....	65

ネットワーククライアントモードを使用する.....	67
C3 Portal Appを使用する.....	69
Webリモコンを使用する.....	71

5章 サムネイル画面

サムネイル画面.....	75
クリップの再生.....	76
クリップ操作.....	77

6章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層.....	78
セットアップメニューの操作方法.....	80
Userメニュー.....	82
Edit Userメニュー.....	83
Shootingメニュー.....	84
Projectメニュー.....	93
Paintメニュー.....	101
TC/Mediaメニュー.....	105
Monitoringメニュー.....	107
Audioメニュー.....	110
Thumbnailメニュー.....	112
Technicalメニュー.....	114
Networkメニュー.....	118
Maintenanceメニュー.....	123
設定データの保存と読み込み.....	124

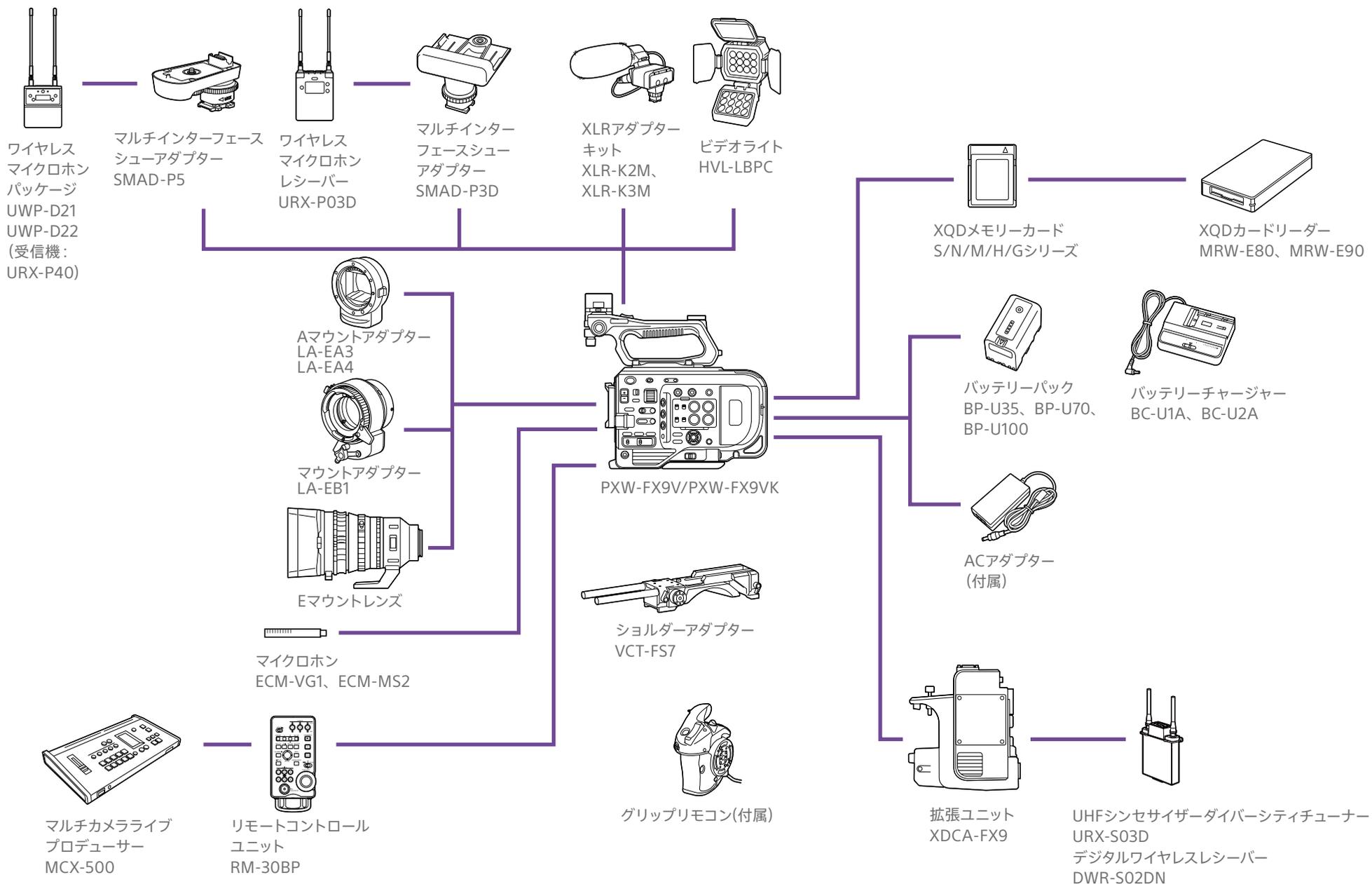
7章 外部機器接続

リモートコントロールパネルを接続する.....	126
外部モニターや記録装置を接続する.....	127
外部同期.....	128
コンピューターでクリップ管理・編集する.....	129

8章 付録

使用上のご注意.....	130
出力のフォーマットと制限.....	132
トラブル時の対処.....	134
エラー / 警告表示.....	136
ファイルに保存される項目.....	138
ブロックダイアグラム.....	149
Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする.....	152
ライセンスについて.....	153
保証書とアフターサービス.....	156
仕様.....	157

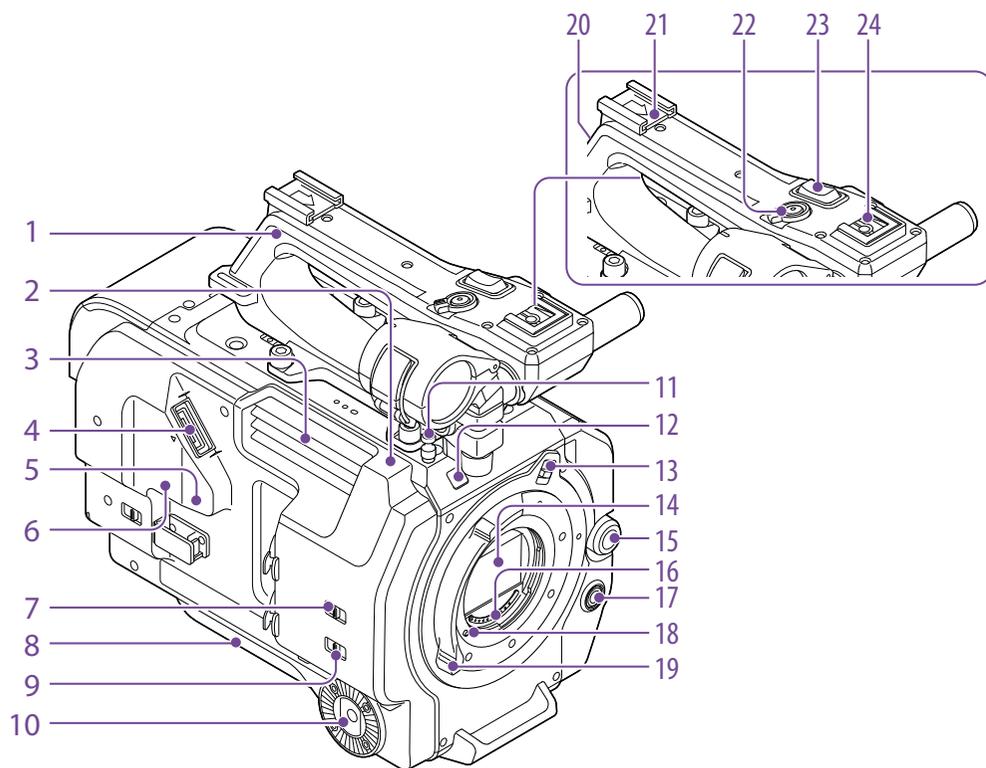
システム構成例



* Eマウント以外のレンズの場合はマウント変換アダプターが必要です。

各部の名称と働き

左側面・前面・ハンドル部



1. ハンドル(5ページ)

2. Wi-Fiアンテナ(59ページ)

3. 排気口

[ご注意]

排気口をふさがないでください。

4. ビューファインダー接続端子(20ページ)

5. REMOTE端子

汎用のLANC端子アクセサリーを接続します。

6. USB/マルチ端子(24ページ)

7. INPUT1スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V) (45ページ)

8. ショルダーパッド(24ページ)

9. INPUT2スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V) (45ページ)

10. グリップ取り付け部(23ページ)

11. メジャーフック

メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、メジャーフックの位置を参考にしてください。メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。

12. 記録/タリランプ(フロント) (33ページ)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

13. レンズロックリングストッパー (22ページ)

14. イメージセンサー

15. マルチファンクションダイヤル(47ページ)

ビューファインダーに映像が表示されているときに押すとダイレクトメニューが表示され、操作することができます。

また、ビューファインダーに各種メニューが表示されているときに回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。メニュー表示していないときは、アサインブルダイヤルのように機能させることができます。

16. レンズ信号接点

Eマウントレンズを接続します。

17. WB SET(ホワイトバランスセット) ボタン (44ページ)

18. レンズロックピン(22ページ)

19. レンズロックリング(22ページ)

20. GPSモジュールアンテナ

この部分にGPSアンテナと周辺回路が内蔵されています。

21. アクセサリーシュー (4ページ)

22. ハンドル録画START/STOPボタン

ロックレバーをロック位置にすると録画ボタンが効かなくなります。

23. ハンドルズームレバー (114ページ)

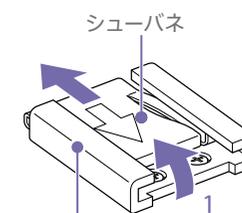
24. マルチインターフェースシュー



マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは販売店にお問い合わせください。

アクセサリーシューを取り付ける

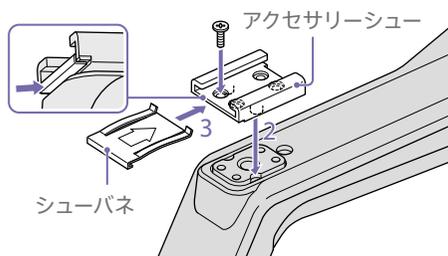
- 1 シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。



アクセサリーシュー

- 2 アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。

- 3 シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

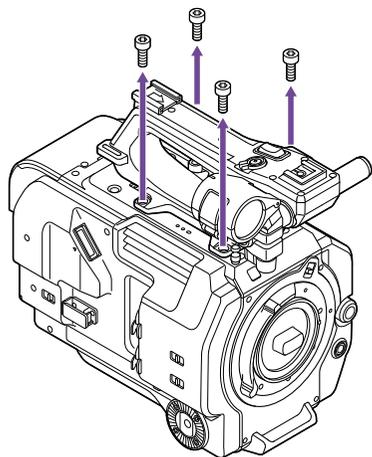


アクセサリシューを取り外す

「アクセサリシューを取り付ける」の手順1と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリシューを外す。

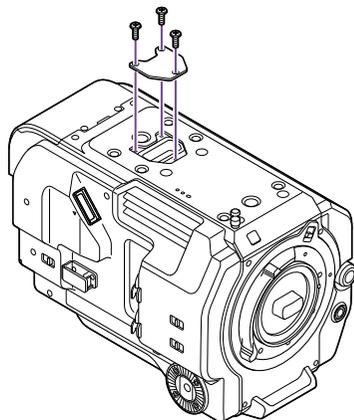
ハンドルを取り外す

4本のハンドル取り付けネジを外し、ハンドルを本機から取り外す。



ハンドルコネクター保護キャップ(付属品)の使いかた

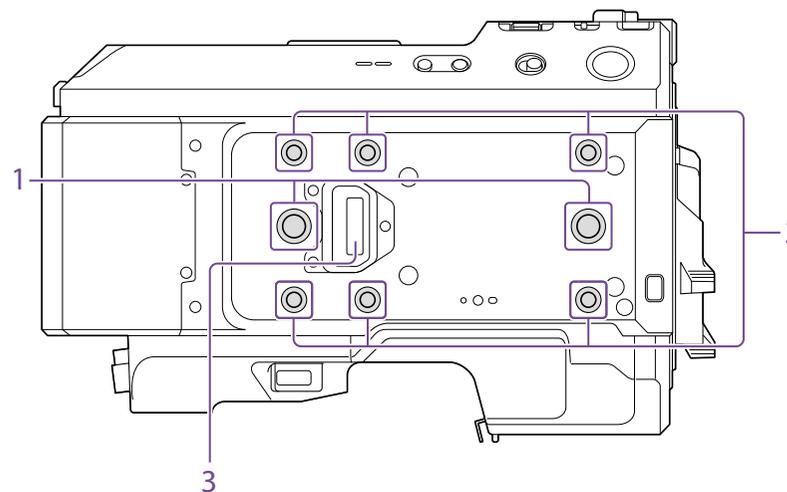
ハンドルを外して本機を使用するときは、付属の保護キャップを使って端子部を保護してください。



接続端子の保護について

接続端子を保護するために、使用しない端子類にはカバーを装着してください。

上面



1. 拡張ネジ穴(3/8インチ)

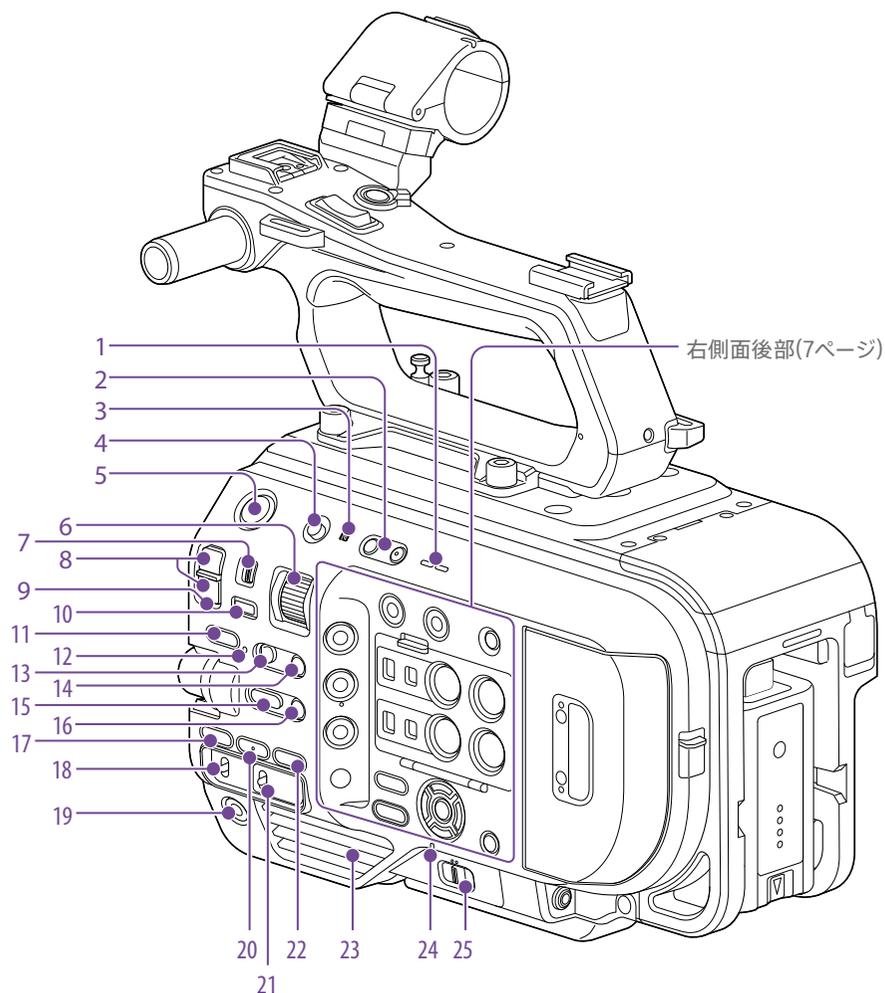
3/8-16UNCのネジ(長さ10.0 mm以下)に対応しています。

2. 拡張ネジ穴(1/4インチ)

1/4-20UNCのネジ(長さ7.0 mm以下)に対応しています。

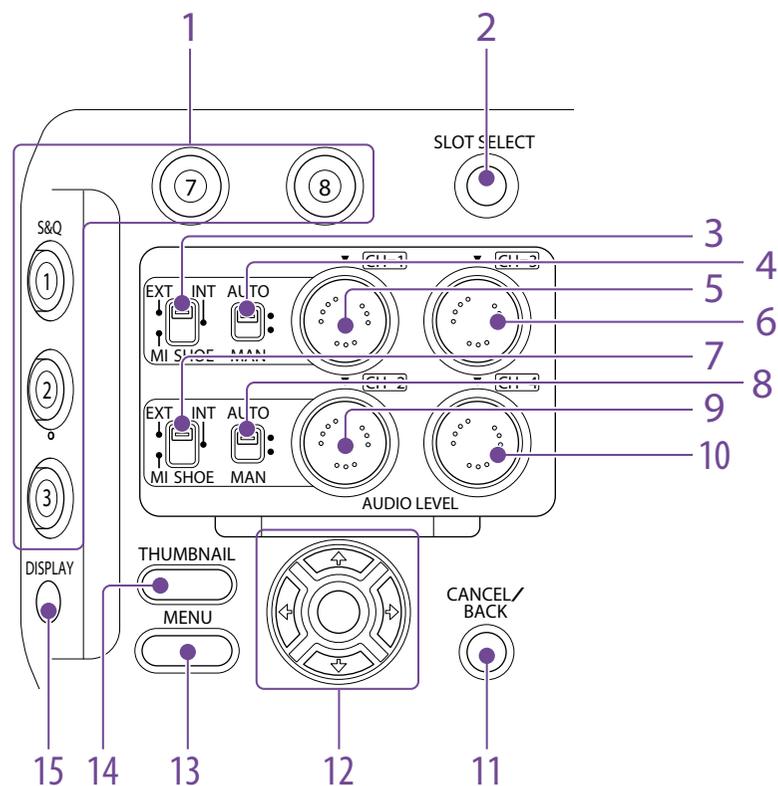
3. ハンドル接続端子

右側面前部/上部/下部



1. 本体内蔵スピーカー (33ページ)
2. VOLUME(モニター音量調節) ボタン
モニター音量やアラーム音量を調整します。
3. **N** (Nマーク)
 - NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします(59ページ)。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
 - NFC(Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
4. HOLDスイッチ(114ページ)
本体の操作を無効(ホールド状態) にします。
5. 録画START/STOPボタン/ランプ(33ページ)
6. ND VARIABLEダイヤル(42ページ)
7. ND PRESET/VARIABLEスイッチ(42ページ)
8. ND FILTER POSITION上下ボタン(42ページ)
9. ND CLEARランプ(42ページ)
10. ND VARIABLE AUTOボタン(42ページ)
11. STATUS(ステータス) ボタン(14ページ)
本機的主要な設定を表示します。一部の項目は設定の変更ができます。
12. FOCUS AUTOランプ(35ページ)
13. FOCUSスイッチ(35ページ)
14. PUSH AUTO FOCUS(プッシュオートフォーカス) ボタン(38ページ)
15. IRISファンクションボタン(41ページ)
16. PUSH AUTO IRIS(プッシュオートアイリス) ボタン(41ページ)
17. ISO/GAINファンクションボタン(41ページ)
18. ISO/GAIN(ゲイン切り替え) スイッチ(41ページ)
19. ASSIGN(アサインابل) 9ボタン(47ページ)
20. WHT BAL(ホワイトバランス) ファンクションボタン(44ページ)
21. WHT BAL(ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ(44ページ)
22. SHUTTER(シャッター) ファンクションボタン(42ページ)
23. 吸気口
[ご注意]
吸気口をふさがらないでください。
24. POWERランプ(33ページ)
25. POWERスイッチ(33ページ)

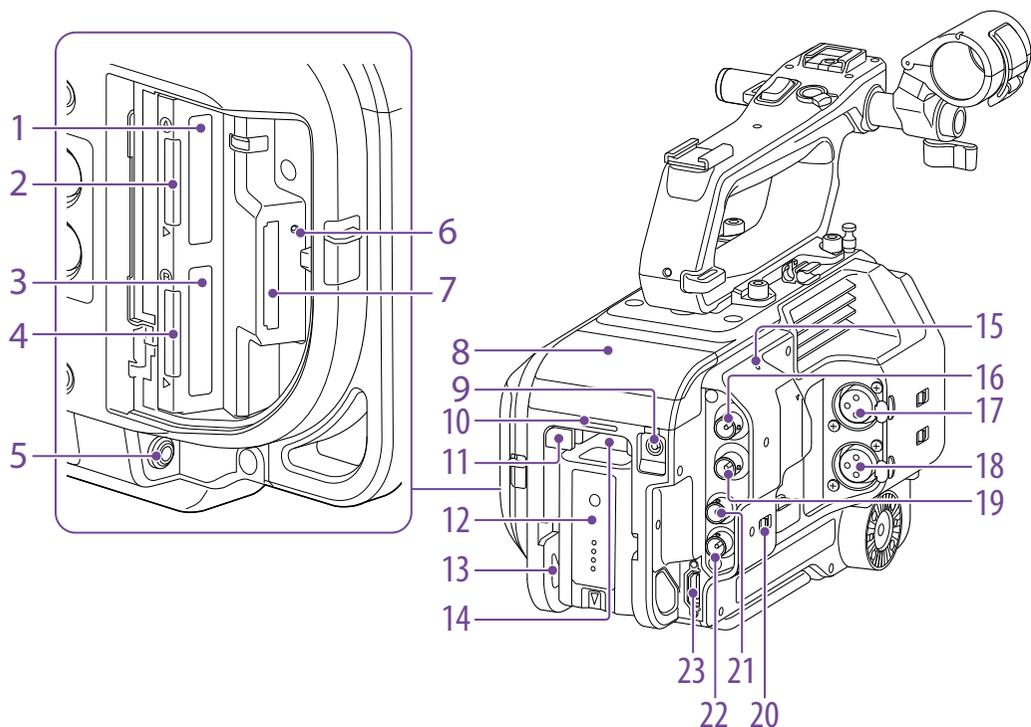
右側面後部



- 10. AUDIO LEVEL(CH4) ダイアル(45ページ)
- 11. CANCEL/BACKボタン(76ページ)
- 12. 矢印(↑/↓/←/→)とSETボタン(76ページ)
- 13. MENU(メニュー) ボタン(78ページ)
- 14. THUMBNAIL(サムネイル) ボタン(75ページ)
- 15. DISPLAY(画面表示) ボタン(11ページ)

- 1. ASSIGN(アサインブル) 1～3、7～8ボタン(47ページ)
- 2. SLOT SELECT(XQDメモリーカード選択) ボタン(33ページ)
- 3. CH1 INPUT切り替えスイッチ(45ページ)
- 4. CH1(AUTO/MAN) スイッチ(45ページ)
- 5. AUDIO LEVEL(CH1) ダイアル(45ページ)
- 6. AUDIO LEVEL(CH3) ダイアル(45ページ)
- 7. CH2 INPUT切り替えスイッチ(45ページ)
- 8. CH2(AUTO/MAN) スイッチ(45ページ)
- 9. AUDIO LEVEL(CH2) ダイアル(45ページ)

カードスロット部・背面・端子部



1. XQDカードスロット(A) (29ページ)
2. アクセスランプ(XQD A) (30ページ)
3. XQDカードスロット(B) (30ページ)
4. アクセスランプ(XQD B) (30ページ)
5. ヘッドホン端子(33ページ)
6. アクセスランプ(SDカード) (32ページ)
7. UTILITY SD/MSカードスロット(32ページ)

8. 拡張ユニット接続端子(内部) (25ページ)
9. DC IN端子(19ページ)
10. 記録/タリールランプ(リア) (33ページ)
11. BATT RELEASEボタン(18ページ)
12. バッテリー (18ページ)
13. バッテリーパック装着部(18ページ)
14. 吸気口

[ご注意]

吸気口をふさがないでください。

15. 本体内蔵マイク(45ページ)

環境音収録用のナレーションマイクです。

16. SDI OUT 1端子(127ページ)

17. INPUT1(オーディオ入力1) 端子(45ページ)

18. INPUT2(オーディオ入力2) 端子(45ページ)

19. SDI OUT 2端子(127ページ)

20. IN/OUT切り替えスイッチ(128ページ)

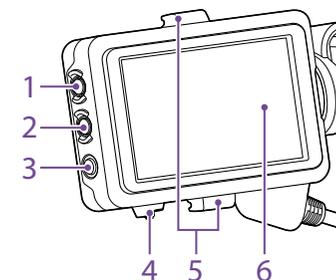
21. TC IN/TC OUT(タイムコード入力/出力) 端子(128ページ)

22. GENLOCK IN(Genlock用入力)/REF OUT(同期信号出力) 端子(128ページ)

23. HDMI OUT端子(127ページ)

ビューファインダー

ビューファインダー(付属)の取り付けについては、20ページをご覧ください。



1. PEAKINGボタン

2. ZEBRAボタン

3. ASSIGN(アサインナブル) 10ボタン(47ページ)

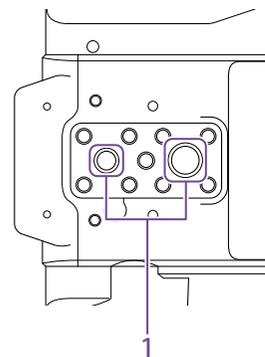
4. MIRRORスイッチ

5. アイピース取り付けフック

6. タッチパネル

アサインナブルボタンまたはメニューでタッチ操作を無効にすることもできます(10ページ)。

底面

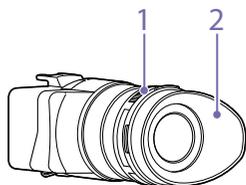


1. 三脚用ネジ穴(1/4インチ、3/8インチ)

1/4-20UNCネジ、3/8-16UNCネジに対応三脚(別売、ネジの長さ5.5 mm以下)を取り付けます。

アイピース

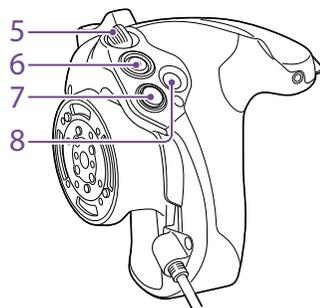
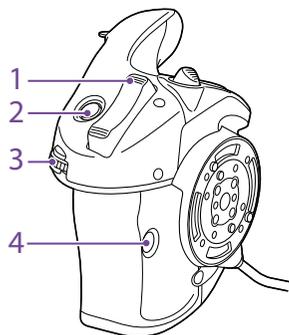
アイピース(付属)の取り付けについては、22ページをご覧ください。



1. 視度調節つまみ
2. アイカップ

グリップリモコン

グリップリモコン(付属)の取り付けについては、23ページをご覧ください。

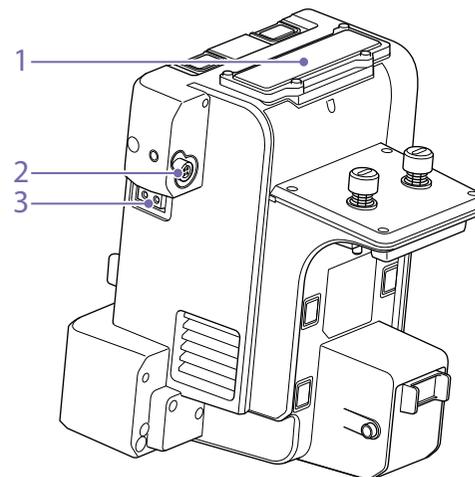


1. ズームレバー
2. ASSIGN(アサインブル) 4ボタン
3. アサインブルダイヤル
4. ASSIGN(アサインブル) 6ボタン
5. グリップ回転レバー
6. 録画START/STOPボタン
7. マルチセレクター (8方向/SETボタン)
8. ASSIGN(アサインブル) 5ボタン

拡張ユニットXDCA-FX9(別売)

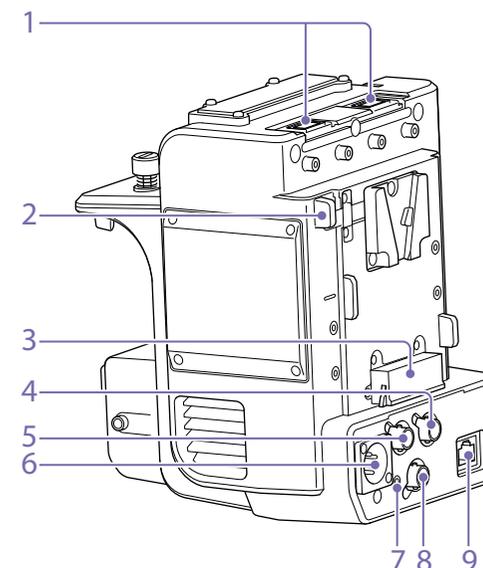
拡張ユニットXDCA-FX9(別売)の取り付けについては、25ページをご覧ください。

前面



1. ワイヤレスレシーバー挿入部
ワイヤレスマイクロホンを使用するときに、ポータブルワイヤレスチューナーを取り付けます。
2. DC OUT端子(丸型4ピン)
12V DC電源出力用端子です。
3. LIGHT端子(2ピン)
12V DC電源出力用端子です。

後面



1. USB端子(A型)
2. バッテリーリリースレバー
3. バッテリー取り付け端子
4. TC OUT端子(BNC型)
5. REF OUT端子(BNC型)
6. DC IN端子(XLR型、4ピン)
7. 記録/タリーランプ(リア) (33ページ)
8. RAW OUT端子(BNC型)
9. 有線LAN端子

タッチパネルの使いかた

タッチパネル利用上のご注意

本製品のビューファインダーはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

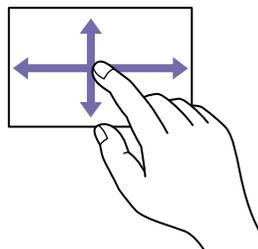
タッチパネル上の操作

タップ

アイコンなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

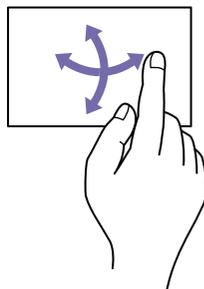
ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



フリック/スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



[メモ]

表示内容が画面の外へ続く場合は、表示内容をドラッグしたりフリックしたりしてスクロールさせることができます。

タッチパネルの設定

タッチパネルを利用するかどうかは、TechnicalメニューのTouch Operation(81ページ)で設定できます。

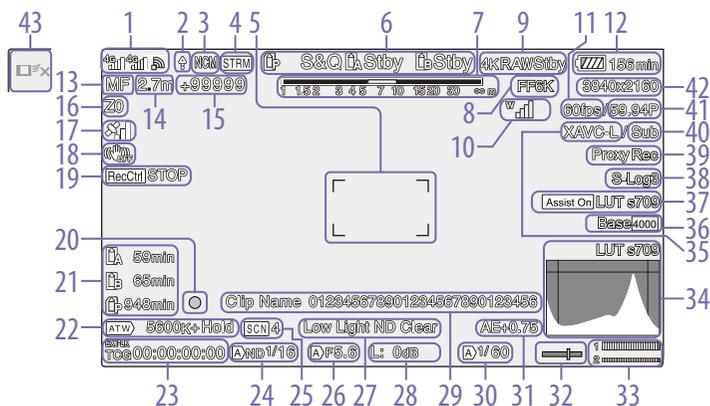
画面表示

撮影中(記録中/記録待機中) および再生中は、ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます(107ページ)。

撮影中の画面に表示される情報



1. ネットワーク状態表示(13ページ)

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

2. アップロード中表示/転送ファイル残数表示(65ページ)

3. ネットワーククライアントモード状態表示(14ページ)

ネットワーククライアントモード時の接続状態を表示します。

4. ストリーミング状態表示

5. フォーカスエリア表示(36ページ)

オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

6. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示、インターバルレック記録間隔時間表示(50ページ)

表示	意味
●Rec	記録中
Stby	記録待機中

7. 被写界深度表示

8. イメージャースキャンモード表示(28ページ)

使用レンズのイメージサークルサイズと、イメージャースキャンモードの有効画サイズに不一致がある場合は、マークが表示されます。

9. RAW出力動作状態表示(58ページ)

RAW信号の出力状態が表示されます。

10. UWP-Dシリーズの状態表示(14ページ)

UWP-Dシリーズをミシューにデジタルオーディオ伝送の設定で接続したとき、電波強度を示すRFレベルなどがアイコンで表示されます。

11. スロー&クイックモーション撮像フレームレート表示(48ページ)

12. バッテリー残量/DC IN電圧表示(18ページ)

13. フォーカスモード表示(39ページ)

意味	表示
Focus Holdモード	Focus Hold
MFモード	MF
AFモード	AF
リアルタイムトラッキング	
AFモード	
顔/瞳検出AF(AF//Only//)	
顔/瞳検出アイコン	
顔/瞳限定AFアイコン	Only
保存された追尾顔ありアイコン	
顔/瞳限定AF中のAF一時停止アイコン ¹⁾	

1) 追尾対象の顔が保存されていない状態で顔が検出されないとき、または追尾対象の顔が保存されているが、追尾対象の顔が検出されないときに表示されます。

14. フォーカスポジション表示

フォーカスの位置が表示されます。

15. フォーカスマーカー表示(36ページ)

フォーカスの基準位置からの差分が-99999 ~ +99999の範囲で表示されます。

16. ズームポジション表示

ズームの位置が0(広角端) ~ 99(望遠端)の範囲で表示されます。(ズーム設定表示対応レンズ装着時のみ)

バー表示または焦点距離表示に変えることもできます(116ページ)。

17. GPS状態表示(54ページ)

GPSの状態を表示します。

18. 手ブレ補正モード表示

19. SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示(127ページ)

RECコントロール信号の出力状態を表示します。

20. フォーカスインジケータ表示(35ページ)

21. メディア残量表示

22. ホワイトバランスモード表示

表示	意味
	自動モード
	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリー A モード
W:B	メモリー B モード

23. タイムコード外部ロック表示/タイムデータ表示(33ページ)

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

24. NDフィルター表示(42ページ)

25. シーンファイル表示(124ページ)

26. アイリス表示

アイリスの位置(F値またはT値)が表示されます。(アイリス設定表示対応レンズ装着時のみ)

27. 映像レベル注意表示

28. ゲイン表示(41ページ)

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode(93ページ)が「Cine EI」のときは、EI値を表示します。

表示	意味
	自動モード
H	プリセットHモード
M	プリセットMモード
L	プリセットLモード
	一時調節モード

29. クリップ名表示(75ページ)

30. シャッター表示(42ページ)

31. AEモード/AEレベル表示(41ページ)

32. 水準器表示

本機の水平方向の傾きが±1°刻みで±15°まで表示されます。

33. オーディオレベルメーター

CH1とCH2またはCH3とCH4のオーディオレベルを表示します。

AudioメニューのAudio Output > Monitor CH (111ページ)の設定によって、以下のように表示されます。

Monitor CHの設定	表示チャンネル
CH1/CH2	CH1/CH2
CH3/CH4	CH3/CH4
MIX ALL	CH1/CH2
CH1	CH1/CH2

Monitor CHの設定	表示チャンネル
CH2	CH1/CH2
CH3	CH3/CH4
CH4	CH3/CH4

ステータス画面でもオーディオレベルを確認できます。

34. 映像信号モニター (52ページ)

ウェブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode(93ページ)が「Cine EI」のときは、表示の上にモニター対象としているモニター LUTの種類などが表示されます。

35. 記録フォーマット(コーデック)表示(93ページ)

XQDメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

36. Base Sensitivity表示/Base ISO表示 (41ページ)

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode(93ページ)が「SDR」または「HDR」のときは、ShootingメニューのISO/Gain/EIのBase Sensitivityで設定されている基準感度が表示されます。

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode(93ページ)が「Cine EI」のときは、ShootingメニューのISO/Gain/EIのBase ISOで設定されているBase ISO感度が表示されません。

37. ガンマ表示アシスト/モニター LUT表示

ガンマ表示アシストの状態を表示します。ガンマ表示アシストの表示/非表示は、Gamma Display Assistが割り当てられたアサイナブルボ

タン(47ページ)で切り替えることができます。ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode(93ページ)が「Cine EI」のときは、モニター LUT(91ページ)の設定を表示します。

38. ガンマ表示(101ページ)

XQDメモリーカードに記録される映像のガンマ設定値を表示します。

39. プロキシ状態表示

表示	意味
Proxy	プロキシ記録On
Proxy Rec	プロキシ記録中
Proxy Rec (点滅)	プロキシ記録準備中
PxChunk	プロキシ分割記録On
PxChunk Rec	プロキシ分割記録中
PxChunk Rec (点滅)	プロキシ分割記録準備中

40. 4K & HD(Sub) 記録表示

41. 記録フォーマット(フレームレートとスキャン方式)

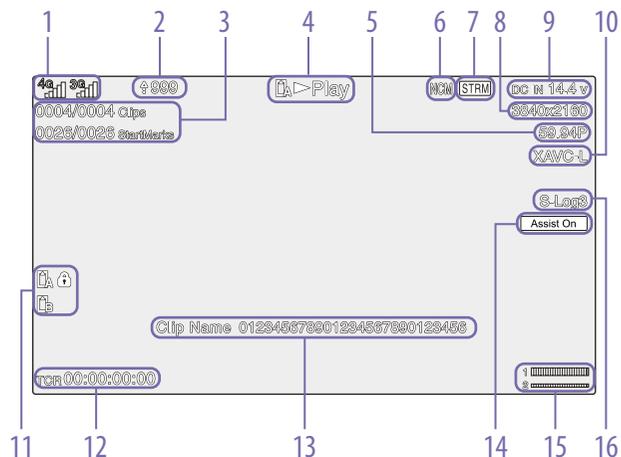
42. 記録フォーマット(画サイズ)表示(93ページ)

XQDメモリーカードに記録される画サイズを表示します。

43. リアルタイムトラッキングAF終了ボタン (40ページ)

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. ネットワーク状態表示
2. アップロード中表示/転送ファイル残数表示
3. クリップ番号/クリップ総数
4. 再生動作状態表示
5. 再生フォーマット(フレームレートとスキャン方式)表示
6. ネットワーククライアントモード状態表示
7. ストリーミング状態表示
8. 再生フォーマット(画サイズ)表示
9. バッテリー残量/DC IN電圧表示
10. 再生フォーマット(コーデック)表示
11. メディア表示
メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。
12. タイムデータ表示
13. クリップ名表示
14. ガンマ表示アシスト表示
15. オーディオレベルメーター
記録されているオーディオレベルを表示します。
16. ガンマ表示

アイコン表示について

ネットワーク接続のアイコン表示

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	
	アクセスポイント動作エラー	
ステーションモード	Wi-Fi接続中 電波強度によりアイコンが変化(4段階)	
	Wi-Fi接続断(準備中含む)	
	Wi-Fi接続エラー	
	3G/4G接続中電波強度によりアイコンが変化(5段階) 電波強度を通知しないモデムの場合、接続中は強度3のアイコンを表示	3G接続中 4G接続中 3G/4Gが判別できないネットワークに接続中
モデム/スマートフォン ¹⁾	3G/4G接続断(準備中含む)	
	3G/4G接続エラー	
	電波強度を通知しないモデム/スマートフォンなどが接続されているため電波強度が不明	

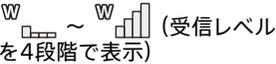
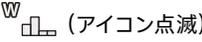
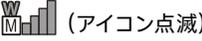
1) 本機に取り付けたXDCA-FX9(別売)にモデムを2台接続できます。モデムを2台接続したとき、モデムの状態によりアイコンは次のように変化します。

接続状態	アイコン
モデムを2台接続して、Modem 1のみ使用中	
モデムを2台接続して、Modem 2のみ使用中	
モデムを2台接続して、両方とも使用中	

ネットワーククライアントモードのアイコン表示

ネットワーククライアントモード接続状態	アイコン
ネットワーククライアントモードで接続済みの状態	
ネットワーククライアントモードで接続待機状態	
ネットワーククライアントモードで接続エラー状態	

UWP-Dシリーズのアイコン表示

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源OFF	未受信	
通常送信状態	受信	 (受信レベルを4段階で表示)
ミュート状態	受信(ミュート中)	
バッテリー残量警告状態	受信	 (アイコン点滅)
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信	 (アイコン点滅)

ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。また、*印が付いている項目については設定を変更できます。ステータス画面はタッチ操作に対応しています。

ステータス画面を表示させるには

- STATUS(ステータス) ボタンを押す

[メモ]

TechnicalメニューのStatus Page On/Off(115ページ)で、各ステータス画面の表示/非表示を切り替えることができます。

ステータス画面を切り替えるには

- マルチファンクションダイヤルを回す
- 矢印ボタンの↑/↓ボタンを押す
- ステータス画面を上下にスワイプする

ステータス画面を消すには

- STATUS(ステータス) ボタンを押す

設定を変更するには

ステータス画面の表示中にマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターを押すと、ページ内の設定項目を選べるようになります。ページ番号を選んで押すと、ページ切り替えに戻ります。なお、タッチ操作で直接選ぶこともできます。

[メモ]

TechnicalメニューのMenu SettingsのUser Menu Only(114ページ)をOnにすると、ステータス画面で設定変更できなくなります。

メインステータス画面

カメラの主な機能の設定やメディアの空き状態を表示します。

表示項目	説明
S&Q Frame Rate*	スロー&クイックモーション撮影とフレームレートの設定
Frequency/Scan*	システム周波数と走査方式の設定
Imager Scan*	イメージセンサーの読み出しモード
Media Remain (A)	Slot Aのメディアの空き容量
ND Filter	NDフィルターの設定値
ISO/Gain/EI	ISO/Gain/Exposure Indexの設定値
Base ISO/Sensitivity*	Base ISO/Base Sensitivityの設定
Codec*	記録するコーデックおよびRAW出力の有無の設定
Media Remain (B)	Slot Bのメディアの空き容量
Scene File*	使用中のScene FileとそのFile ID
Monitor LUT*	モニターLUTの設定
Shutter	シャッタースピードまたはシャッター角度の設定値
Iris	アイリスの設定値
Video Format*	XQDメモリーカードに記録する画サイズ
RAW Output Format*	RAW出力の画サイズ
White Balance	ホワイトバランスの設定値

カメラステータス画面

主にカメラの各種プリセットの状態を表示します。

表示項目	説明
White Switch	ホワイトバランスのメモリー B の設定値
White Switch<A>	ホワイトバランスのメモリー A の設定値
White Switch<P>	Preset Whiteの設定値
ND<Preset>	NDフィルターの設定値
ISO / Gain ¹⁾ <L>*	ISO/Gain ¹⁾ <L>の設定
ISO / Gain ¹⁾ <M>*	ISO/Gain ¹⁾ <M>の設定
ISO / Gain ¹⁾ <H>*	ISO/Gain ¹⁾ <H>の設定
Base ISO/Sensitivity*	Base ISO/Base Sensitivity の設定
Zebra1*	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル
Zebra2*	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
VF Gamma/Gamma	ガンマカテゴリとカーブ
Scene File*	使用中のScene FileとそのFile ID

1) Shooting ModeがCine EIのときはExposure Indexとなります。

オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定とオーディオレベルメーター、音声モニターの設定を表示します。

表示項目	説明	
CH1	Level Control	自動調節のOn/Off状態
	Level Meter	オーディオレベルメーター
	Source*	入力ソース
	Reference*	入力ファレンスレベル
CH2	Wind Filter*	マイクの風音低減フィルターの設定
	Level Control	自動調節のOn/Off状態
	Level Meter	オーディオレベルメーター
	Source*	入力ソース
CH3	Reference*	入力ファレンスレベル
	Wind Filter*	マイクの風音低減フィルターの設定
	Level Control*	自動調節のOn/Off状態
	Level Meter	オーディオレベルメーター
CH4	Source*	入力ソース
	Reference*	入力ファレンスレベル
	Wind Filter*	マイクの風音低減フィルターの設定
	Level Control*	自動調節のOn/Off状態
Level Meter	オーディオレベルメーター	
Source*	入力ソース	
Reference*	入力ファレンスレベル	
Wind Filter*	マイクの風音低減フィルターの設定	
Audio Input Level*	マスター音声入力レベルの設定	
HDMI Output CH*	HDMIに出力される音声チャンネルの設定	
Headphone Out*	ヘッドホン出力方式の設定	

表示項目	説明
Monitor CH*	モニターするチャンネルの設定

[ご注意]

CH1およびCH2のSourceの設定は、基本的に本機右側面のCH1 INPUT切り替えスイッチ(7ページ) およびCH2 INPUT切り替えスイッチ(7ページ)で行います。CH1およびCH2のSourceは、ポータブルワイヤレスチューナーを使用する場合に設定できません(25ページ)。また、CH2のSourceは、CH2 INPUT切り替えスイッチがEXTのときに設定できます。

プロジェクトステータス画面

撮影プロジェクトに関する基本的な設定を表示します。

表示項目	説明
Frequency/Scan*	システム周波数と走査方式の設定
Codec*	記録するコーデックの設定
Rec Function*	特殊な記録機能のOn/Offと主な設定
Simul Rec*	2スロット同時記録機能のOn/Off状態と設定
Title Prefix ¹⁾ / Reel ²⁾	クリップ名のタイトル部分/ Camera IDとReel Numberの設定値
Imager Scan*	イメージセンサーの読み出しモード
Video Format*	XQDメモリーカードに記録する画サイズ
Picture Cache Rec*	ピクチャーキャッシュレック機能のOn/Off状態と設定
Number ¹⁾ / Shot ²⁾	クリップ名の最後の数値部分/ Shot Numberの値
Shooting Mode*	撮影モードの設定
RAW Output Format*	RAW出力の画サイズ

表示項目	説明
4K & HD (Sub) Rec*	4K & HD (Sub) 記録機能のOn/Off状態
Proxy Rec*	プロキシ記録のOn/Off状態と設定
Genlock	ゲンロックの状態

- 1) Auto NamingがTitleまたはPlanのとき
- 2) Auto NamingがCam ID+Reel#のとき

モニタリングステータス画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

表示項目	説明	
SDI1	Signal*	出力画サイズ
	Info. Disp*	画面表示出力On/Off
	Color Gamut*	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
SDI2	Signal*	出力画サイズ
	Info. Disp*	画面表示出力On/Off
	Color Gamut*	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
HDMI	Signal*	出力画サイズ
	Info. Disp*	画面表示出力On/Off
	Color Gamut*	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
Stream	Signal	出力画サイズ
	Info. Disp	画面表示出力(Off固定)
	Color Gamut*	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
RAW	RAW出力の画サイズ	
Monitor LUT*	モニター LUTの設定	
VF*	ガンマ表示アシストの設定/モニター LUTの適用状態/色域の設定値	

[ご注意]

モニター LUTの設定は、VFを含む全ての出力系統が連動します。表示項目VFでは、ガンマ表示アシストの設定のみ可能です。

アサインブルボタンステータス画面

各アサインブルボタンに割り当てた機能を表示します。

表示項目	説明
1	ASSIGN1ボタンに割り当てられている機能
2	ASSIGN2ボタンに割り当てられている機能
3	ASSIGN3ボタンに割り当てられている機能
4	ASSIGN4ボタンに割り当てられている機能
5	ASSIGN5ボタンに割り当てられている機能
6	ASSIGN6ボタンに割り当てられている機能
7	ASSIGN7ボタンに割り当てられている機能
8	ASSIGN8ボタンに割り当てられている機能
9	ASSIGN9ボタンに割り当てられている機能
10	ASSIGN10ボタンに割り当てられている機能
Focus Hold Button	レンズのFocus Holdボタンに割り当てられている機能
Multi Function Dial	マルチファンクションダイヤルに割り当てられている機能
Assignable Dial	アサインブルダイヤルに割り当てられている機能

バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

表示項目	説明
Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量(%)

表示項目	説明
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量(Ah)
Voltage	電圧(V)
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Video Light Remaining	ビデオライトバッテリー残量表示
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

メディアステータス画面

記録メディアの残量および残記録可能時間を表示します。

表示項目	説明
メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、メディアアイコンを表示する
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアAの残時間	現在と同じ状態でAスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、メディアアイコンを表示する
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアBの残時間	現在と同じ状態でBスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する

表示項目	説明
SDカードのメディア情報	UTILITY SD/MSカードスロットにメディアが挿入されているとき、メディアアイコンを表示する
SDカードのプロテクト情報	UTILITY SD/MSカードスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
SDカードの残量メーター	UTILITY SD/MSカードスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
SDカードの残容量	UTILITY SD/MSカードスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示。または残容量を単位GBで表示する

GPSステータス画面

GPSの測位状態と情報を表示します。

表示項目	説明
GPS	GPS信号の測位状態
Dilution Of Precision	測位精度の情報
Latitude	緯度情報
Longitude	経度情報
Altitude	高度情報
Positioning date and time	測位日時
Current date and time	現在日時
Time Zone	Time Zoneの設定値

ネットワークステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

表示項目	説明
Wireless LAN	ワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Wired LAN	有線LANネットワークの設定、接続状態
Modem 1	モデム(別売)によるワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Modem 2	モデム(別売)によるワイヤレスネットワークの設定、接続状態

NCM/ ストリーミングステータス画面

ネットワーククライアントモードの接続状態とストリーミングの状態を表示します。

表示項目	説明
Network Client Mode Status	ネットワーククライアントモードの状態
CCM Name	ネットワーククライアントモード時に接続中のCCMの名称
CCM Address	ネットワーククライアントモード時に接続中のCCMのアドレス
QoS Streaming1 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート1
QoS Streaming2 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート2
Streaming Status	ストリーミングの配信状態
Streaming Type	現在選択しているストリーミング設定の種別

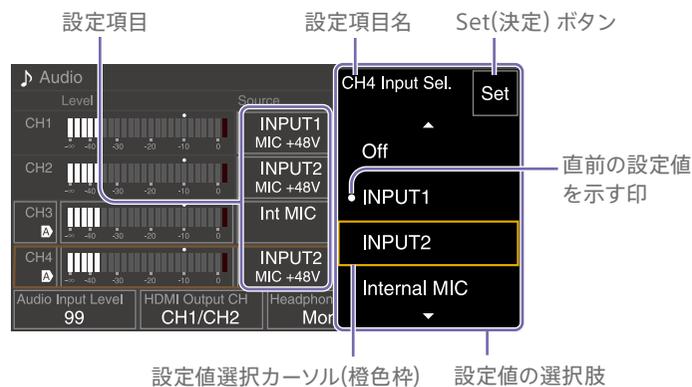
ファイル転送ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

表示項目	説明
Auto Upload	Auto UploadのOn/Off状態
Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy)のOn/Off/Chunk状態
Total Transfer Progress	総ジョブの転送進捗状況
Default Upload Server	Auto Upload/Auto Upload (Proxy)の転送先サーバー名
Job Status (Remain / Total)	総ジョブ数と残りのジョブ数
Current File Transfer Progress	転送中ファイルの転送進捗状況
Current Transferring File Name	転送中のファイル名
Server Address	ファイル転送先サーバーのアドレス
Destination Directory	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

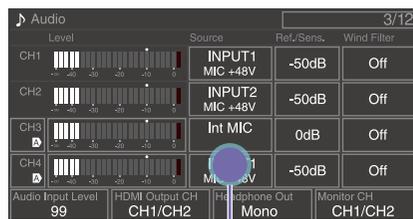
タッチ操作対応設定画面の使いかた

画面構成



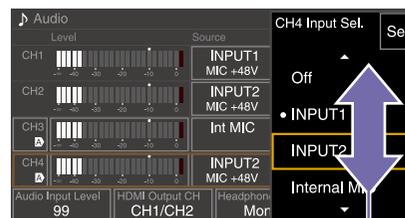
操作方法

- 1 設定項目をタップする。
- 2 設定値を直接タップするか、ドラッグまたはフリックして設定値をカーソル位置に移動する。



タップ

設定値の選択肢が表示されます。



フリック

- 3 Setボタンまたは設定値選択カーソルをタップする。
設定値を確定し元の画面に戻ります。

[メモ]

- 矢印ボタンの←ボタンを押しても確定します。
- CANCEL/BACKボタンを押すと直前の設定値に戻ります。
- マルチファンクションダイヤルやマルチセクターでも操作できます。
- タッチ操作を無効にすることもできます(10ページ)。

電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U35
BP-U70
BP-U100

バッテリーチャージャー

BC-U1A
BC-U2A

ACアダプター (付属)

拡張ユニットXDCA-FX9装着時にはVシューバッテリーが使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-GL95B

ACアダプター

AC-DN10A



警告
直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

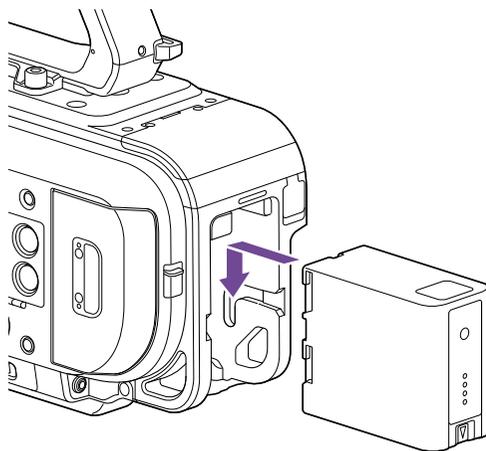
【ご注意】

- AC電源につないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。

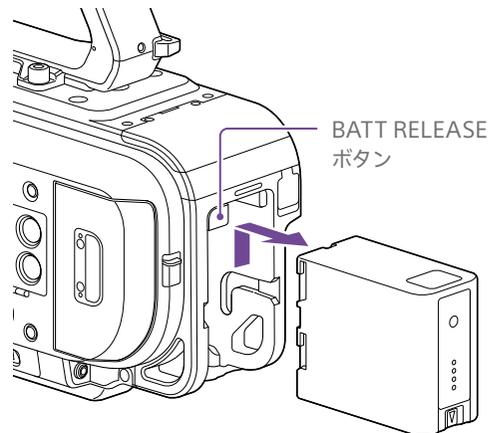
- バッテリーパックやACアダプターは、必ず本機のPOWERスイッチをOffの位置にしてから脱着してください。POWERスイッチをOnの位置のまま脱着した場合、まれに起動しなくなることがあります。もし起動しなくなった場合には、POWERスイッチをOffの位置にしてからバッテリーパックおよびACアダプターを一旦取り外し、約30秒放置した後に取り付けてください。(バッテリーパックで動作中の本機にACアダプターを着脱する場合は、POWERスイッチはOnの位置のままでも問題ありません。)
- AC-DN10A使用時、周辺機器を装着して使用する場合は、周辺機器の消費電力の合計が25 W以内になるようにしてください。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部(8ページ)の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。



取り外すときは、BATT RELEASEボタン(8ページ)を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、引き抜きます。



【ご注意】

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャー BC-U1AまたはBC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後などバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、ビューファインダー画面(11ページ)にバッテリー残量が表示されます。

アイコン	意味
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残量は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して、分単位で表示されます。

拡張ユニット使用時について

拡張ユニットXDCA-FX9使用時は、使用するバッテリーによってバッテリー電圧またはバッテリー残量が表示されます。

【ご注意】

本機にXDCA-FX9を取り付けている場合は、本機にバッテリーパックは装着できません。XDCA-FX9にバッテリーパックを装着するか、または電源を接続する必要があります。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると(Low Battery状態)、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリールンプの点滅とブザー音で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると(Battery Empty状態)、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。

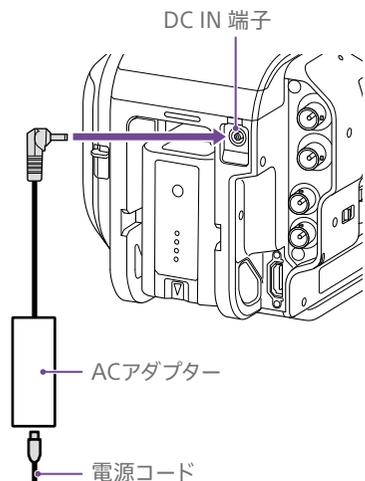
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low Batteryはフル充電の10%、Battery Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、TechnicalメニューのCamera Battery Alarm(116ページ)で変更することもできます。

AC電源を使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



ACアダプターを本体のDC IN端子につなぎ、電源コード(付属)をAC電源に接続します。

ACアダプターの出力電圧が低下すると

使用中にACアダプターの出力電圧が一定の値まで低下すると(DC Low Voltage1状態)、ACアダプターの出力電圧が低下していることを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリールンプの点滅とブザー音で警告します。

さらに電圧が低下し、動作が継続不可能な状態になると(DC Low Voltage2状態)、ACアダプターの出力電圧が不足していることを知らせるメッセージに切り替わります。

ACアダプターが故障している可能性がありますので、必要に応じて点検を行ってください。

[メモ]

バッテリー装着状態でAC電源を使うと、ACアダプターの出力電圧が低下した場合に電源が自動的にバッテリーに切り替わります。

警告電圧を変更する

工場出荷時には、DC Low Voltage1は16.5 V、DC Low Voltage2は15.5 Vに設定されています。これらの設定は、TechnicalメニューのCamera DC IN Alarm(116ページ)で変更することもできます。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターは手近なAC電源を使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにAC電源からプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。

機器の取り付け・調整

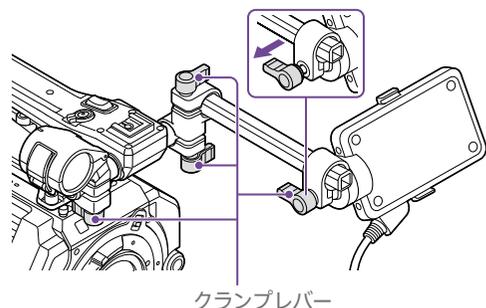
クランプレバーの操作について

マイクホルダーとビューファインダーの取り付けや取り外し、位置調節をするときはクランプレバーを操作します。

取り付けるときは、クランプレバーを時計方向に回してロッドを固定します。

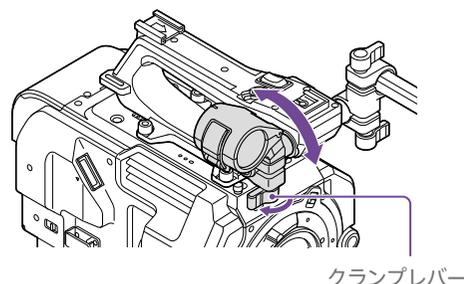
取り外すときや位置調節するときには、クランプレバーを反時計方向に回し、クランプレバーを緩めます。

クランプレバーが回しにくい位置にある場合は、クランプレバーを引き出してから操作しやすい位置まで回します。位置を決めたらクランプレバーを元の位置に戻します。



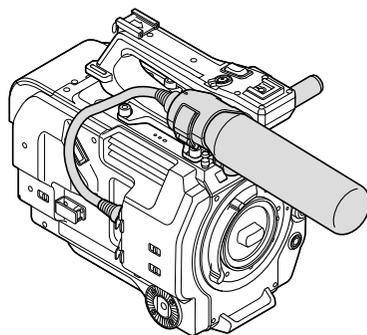
マイクホルダーの位置を調節する

クランプレバーを緩め、マイクホルダーを前後に回して位置を調節します。



マイクホルダーとマイクの取り付け方向について

マイクホルダーとマイクは下図のように取り付けてください。

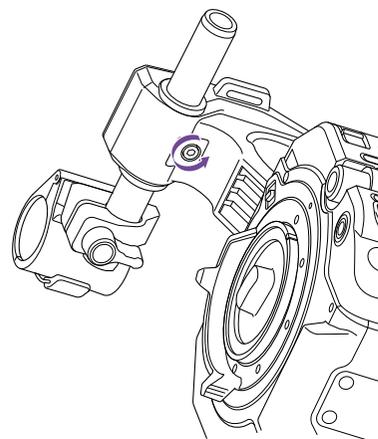


マイクロッドを交換する

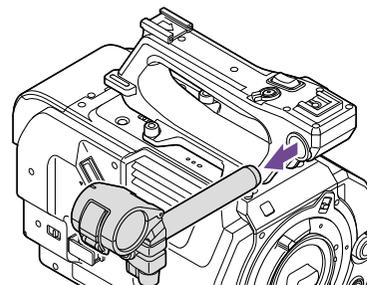
【ご注意】

- マイクロッドは取り付けられた状態で出荷されています。
- マイクロッドの取り付け・取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- マイクロッドの取り付け・取り外しは、イメージセンサーを傷つけないようボディキャップを装着して行ってください。

1 ネジを緩める。



2 マイクロッドを引き抜く。



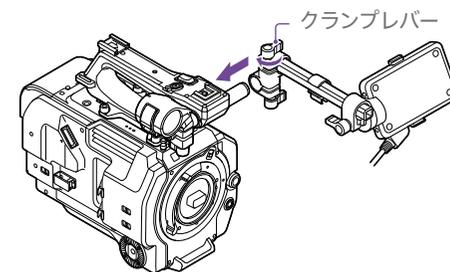
3 逆の手順でマイクロッドを取り付ける。

ビューファインダーを取り付ける

【ご注意】

ビューファインダーの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。通電状態でビューファインダーを取り外すと本機が自動的に再起動します。

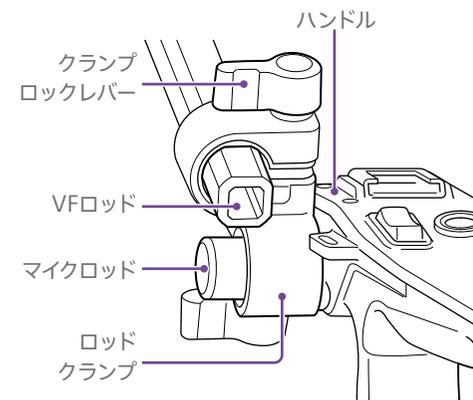
1 ビューファインダーのクランプレバーを緩め、マイクロッドに差し込んで取り付ける。



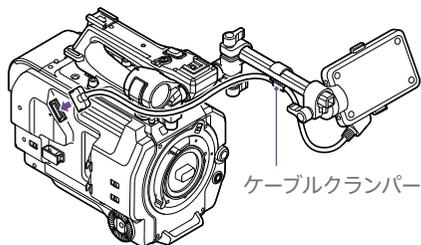
【ご注意】

ビューファインダーを取り付けるには、各部品が下図のような位置関係になるように、ロッドクランプをマイクロッドに取り付けてください。

- クランプロックレバーの位置がVFロッドとハンドルの間になるようにする
- VFロッドの位置がマイクロッドよりも上になるようにする

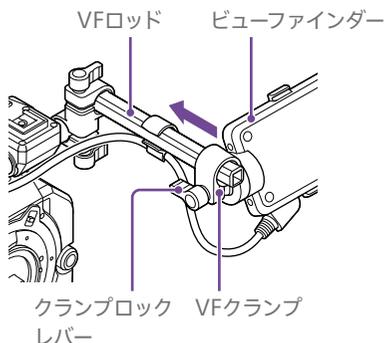


- 2 ビューファインダーの左右位置が決まったらクランプレバーを回して締め、ビューファインダーケーブルを本機のビューファインダー接続端子に接続し、ケーブルクランパーにビューファインダーケーブルを取り付ける。



【ご注意】

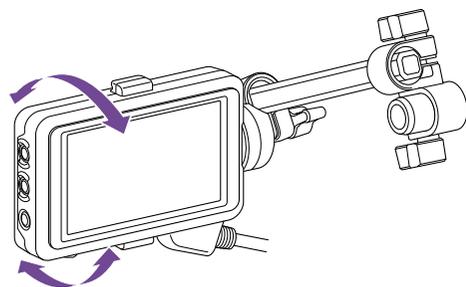
- VFロッドの位置がVFクランプのクランプロックレバーの上になるように、ビューファインダーを取り付けてください。



- 確実にビューファインダーが取り付けられていることを確認してください。クランプレバーが緩んでいると、撮影中にビューファインダーが抜け落ちる恐れがあります。

ビューファインダーの向きを調節する

ビューファインダーを上下方向に回して、見やすい角度に調節します。

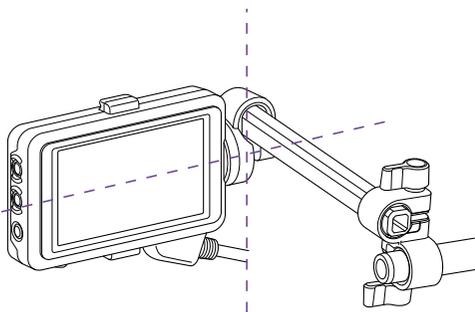


対面撮影にも活用できます。MIRRORスイッチをB/Tの位置にすると液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

ビューファインダーの位置を調節する

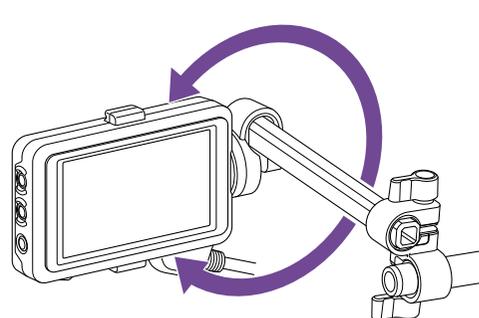
90°単位で調節する

ロッドの接続部に角形クランプスペーサーが取り付けられている場合は、90°単位でビューファインダーの位置を調節できます。一度ビューファインダーを取り外し、角度を変えて取り付けます。

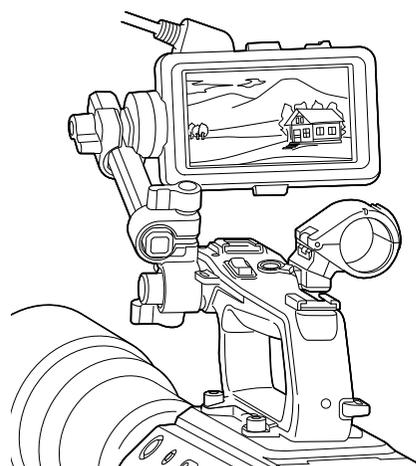


任意の角度で調節する

ロッドの接続部に丸形クランプスペーサーが取り付けられている場合は、ロッドを軸にビューファインダーを回転して位置を調節できます。



下図のようにビューファインダーを180°回転させた場合はMIRRORスイッチをROTの位置にして、撮影画面と情報表示を上下左右に反転します。



【ご注意】

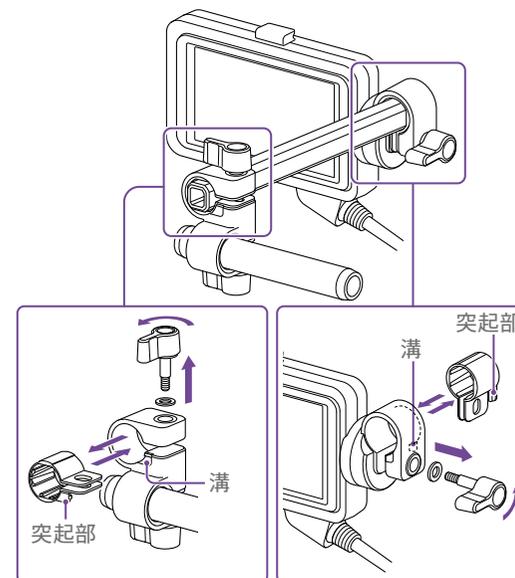
丸形クランプスペーサーを取り付けた場合は、ロッドも市販のφ15 mmのロッドに付け替えてください。

【メモ】

初期状態では角形クランプスペーサーが取り付けられています。

クランプスペーサーを付け替える

下図のようにクランプスペーサーを取り外して、角形または丸形クランプスペーサーの突起部をクランプの溝に合わせて取り付けます。

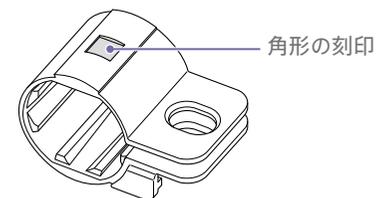


【ご注意】

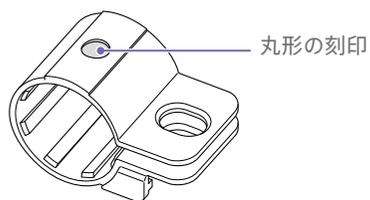
ワッシャーを必ず取り付けてください。ワッシャーがないと、ロッドの締め付け不足になり、ビューファインダーが落下するおそれがあります。

スペーサーの形状は、下図のように見分けることができます。

角形クランプスペーサー



丸形クランプスペーサー



丸形の刻印

ビューファインダーを取り外す

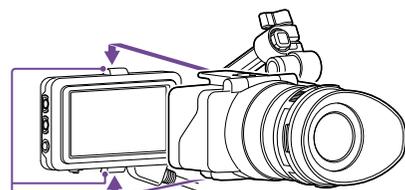
ビューファインダーのクランプレバーを緩め、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向に抜き取ります。

アイピースを取り付ける

[ご注意]

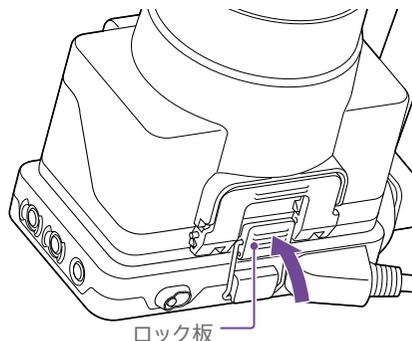
アイピースの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

- 1 ビューファインダー上部の取り付けフックにアイピース上部のフックをひっかけてから、下部の取り付けフックにアイピース下部の金具をひっかける。



取り付けフック

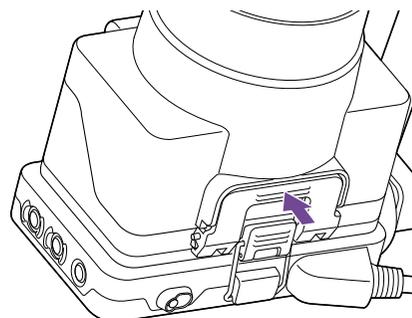
- 2 アイピース下部のロック板を矢印の方向に押し上げてアイピースをロックする。



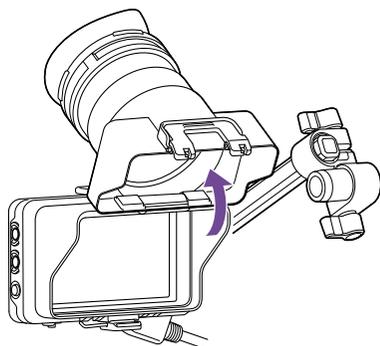
ロック板

アイピースを開く

矢印部のボタンを押します。

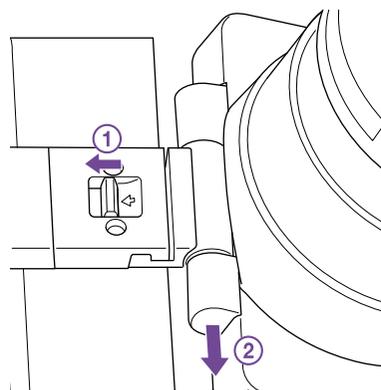


ロックが外れて、アイピースが上方に開きます。アイピースをつけたままビューファインダーを直視できます。



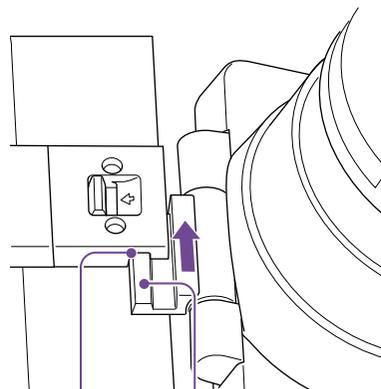
上方に開いたアイピース後部を取り外す

アイピースを上方に開いた状態で、アイピース後部のロックを矢印①の方向に解除し、アイピース後部を矢印②の方向にスライドさせて取り外します。アイピース後部を取り外すことでアイピース前部をフード代わりに使用することができます。



アイピース後部を取り付けるには

アイピース後部を取り付けるときは、ヒンジの突起をガイド溝に合わせ、ロックするまで下図の矢印の方向に押し込んでください。



ガイド溝

突起

アイピースを取り外す

アイピースのロックを解除してビューファインダーからアイピースを取り外します。

レンズを取り付ける

⚠ 警告

レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

[ご注意]

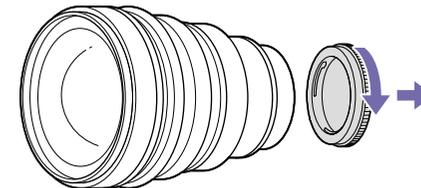
- レンズの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。

[メモ]

本機で利用できるレンズについて詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

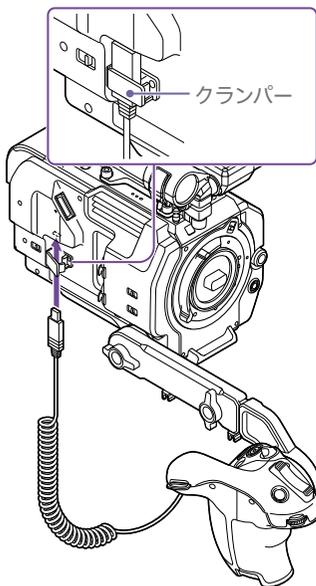
Eマウントレンズを取り付ける

- 1 レンズからカバーを外す。



- 2 レンズロックリングストッパーを解除し、レンズロックリングを時計方向に回して、本体からボディキャップを外す。

- 2 グリップリモコンのケーブルを本機のUSB/マルチ端子に接続し、クランパーを締めて固定する。



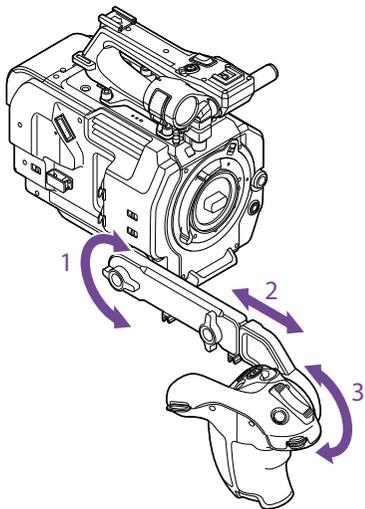
【ご注意】

- グリップリモコンのケーブルを取り付けるときは、破損防止のため、クランパーを締めてケーブルを固定してください。
- 確実に本機とアームが取り付けられていることを確認してください。ネジが緩んでいると、撮影中に本機が落ちる恐れがあります。
- グリップリモコンだけで本機の重量を支えないようにしてください。
- グリップリモコンのケーブルを接続したら、必ずクランパーをロックしてください。使用中に強く引っ張ると、端子破損の原因になります。
- グリップのケーブルが邪魔になる場合は、アーム中央部にあるケーブルクランパーに固定してください。

グリップリモコンの位置を調節する

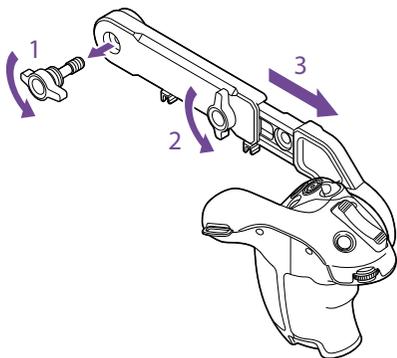
- アーム取り付けネジを緩めて、アームの角度(1)を調節し、調節後ネジをしっかりと締め付ける。

- アーム伸縮ネジを緩めて、アームの長さ(2)を調節し、調節後ネジをしっかりと締め付ける。
- グリップ回転レバー (9ページ) を押してグリップリモコンの角度(3)を調節する。



グリップを本機の近くに取り付ける

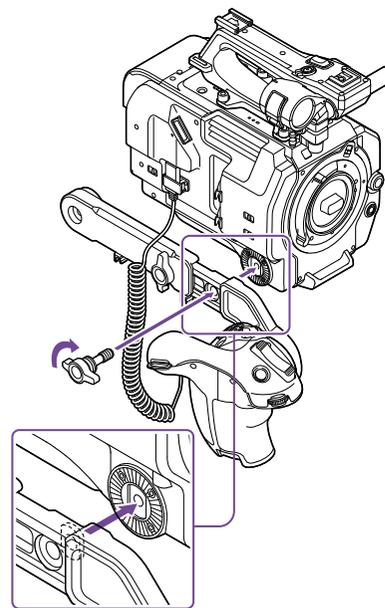
- 1 アーム取り付けネジを取り外す(1)。
- 2 アーム伸縮ネジ(2)を緩めて、穴が現れるまでアームを伸ばす(3)。



【ご注意】

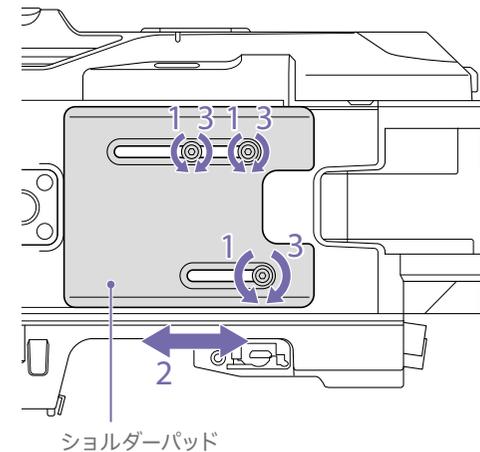
アームを伸ばした後、ネジをしっかりと締め付けて固定してください。

- 3 グリップリモコンのケーブルを本機のUSB/マルチ端子に接続する。
- 4 グリップ取り付け部の凹みとアームの凸部を合わせてから、手順1で取り外したネジで固定する。



ショルダーパッドの位置を調整する

ショルダーパッドは、前後にスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。



- 1 ショルダーパッドのネジ(3本)を緩める。
- 2 前後方向にスライドして、適当な位置に調整する。
- 3 ネジを締めて固定する。

XDCA-FX9を取り付ける

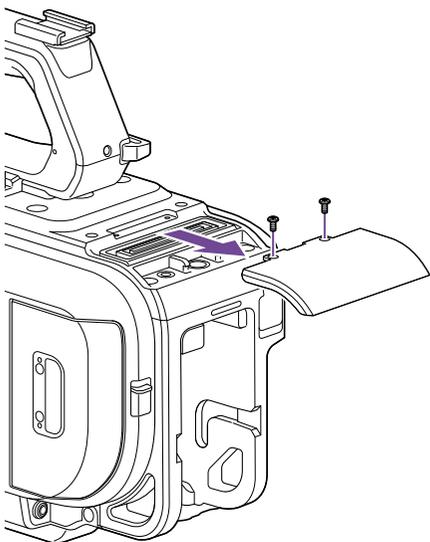
本機に拡張ユニットXDCA-FX9(別売)を取り付けると、Vシューバッテリーや有線LANの使用など、本機の機能を拡張することができます。

[ご注意]

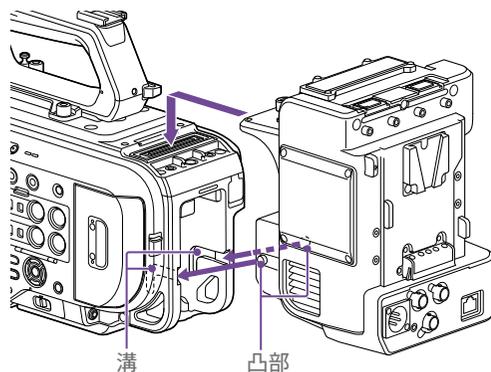
- 本機にXDCA-FX9を取り付けている場合は、本機にバッテリーパックは装着できません。XDCA-FX9にバッテリーパックを装着するか、または電源を接続する必要があります。
- XDCA-FX9の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 本機に装着されているバッテリーパックを取り外す(18ページ)。

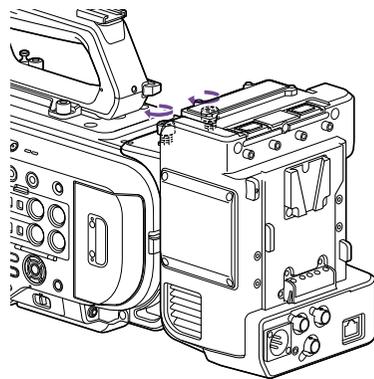
2 2本のネジを外し、拡張ユニット接続端子部のカバーを本機から取り外す。



3 本機の左右の溝にXDCA-FX9の凸部を合わせ奥までスライドさせてから、下にスライドさせて接続端子部を合わせる。



4 XDCA-FX9上部のネジ2本を回して締め、XDCA-FX9を固定する。



XDCA-FX9を取り外す

XDCA-FX9上部のネジ2本を回して緩め、XDCA-FX9を本機から取り外します。

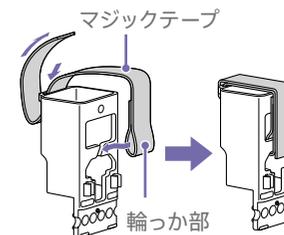
Vシューバッテリーを取り付ける

VシューバッテリーをXDCA-FX9のバッテリー装着部に差し込みます。

Vシューバッテリーを取り外す

取り外すときは、バッテリーリリースレバーを押しながらVシューバッテリーをXDCA-FX9のバッテリー装着部から引き抜きます。

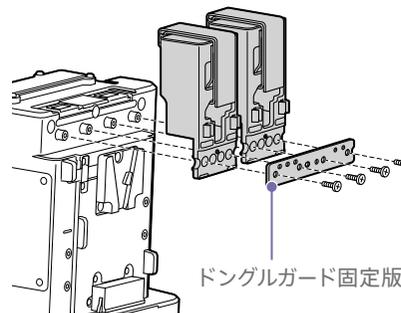
ドングルガードの背面に取り付け、下図のようにマジックテープを取り付けます。



ドングルガードを取り付ける

USB端子に装着したモデムなどのUSB機器を保護するためのドングルガードを取り付けることができます。

ドングルガードとドングルガード固定版を拡張ユニットに取り付け、固定版固定用ネジで固定します。



マジックテープを取り付けるには

USB機器を固定するためのマジックテープをドングルガードに取り付けます。

マジックテープの輪っか部を、接着部を上にして

ポータブルワイヤレスチューナーを取り付ける(ワイヤレスマイクロホン使用時)

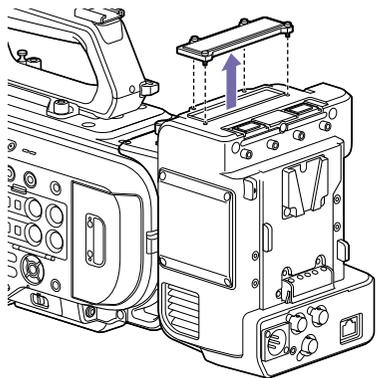
ワイヤレスマイクロホンを使用するときは、本機の電源をオフにしてから次のいずれかのポータブルワイヤレスチューナーを取り付けます。

- UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー URX-S03D
- デジタルワイヤレスレーザー DWR-S02DN
- ◆ ポータブルワイヤレスチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。

[ご注意]

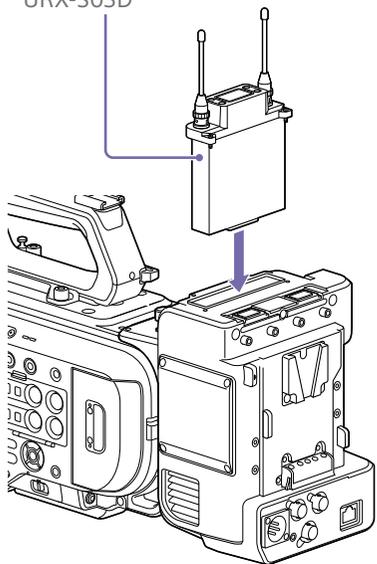
販売地域、および対応する周波数帯域によって販売されるワイヤレスチューナーが異なります。本機で使用可能なワイヤレスチューナーについてはお買い上げ店、またはソニーの営業担当者にご相談ください。

- 1 挿入口のカバーを固定している4本のネジをゆるめ、カバーを取り外す。



- 2 DWR-S02DNまたはURX-S03Dを挿入し、4本のネジを締めて固定する。

DWR-S02DNまたは
URX-S03D



- 3 以下のいずれかの設定をする。

CH1入力の場合：CH1 INPUT切り替えスイッチをMI SHOEにして、AudioメニューのAudio InputのCH1 MI SHOE Input SelectをWirelessにします。

CH2入力の場合：CH2 INPUT切り替えスイッチをMI SHOEにして、AudioメニューのAudio InputのCH2 MI SHOE Input SelectをWirelessにします。

CH3/CH4入力の場合：AudioメニューのAudio InputのCH3 Input SelectまたはCH4 Input SelectをWirelessにします。

本機の基本動作を設定する

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

また、撮影を始める前に、使用する運用形態に合わせて、基本動作の設定を行います。

Time Zone について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

矢印ボタン(7ページ)またはマルチファンクションダイヤル(4ページ)で項目や数値を選び、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。設定画面が消えた後は、MaintenanceメニューのClock Set(123ページ)を使用してTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

【ご注意】

- 動作電源が供給されていない(バッテリーバックもDC IN電源も接続されていない)状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池については、130ページをご覧ください。

撮影モード

本機では、撮影現場で自在に映像の作りこみができる「SDRモード」と、広色域・広ダイナミックレンジでの撮影ができる「HDRモード」、ポストプロダクション処理を前提とし、撮影現場では画作りを行わないフィルムカメラと同等の使いかたができる「Cine EIモード」を切り替えて使用できます。

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode*(93ページ)で切り替えます。

* ステータス画面でも設定可能。

【ご注意】

- Cine EIモードでは以下の制約があります。
 - 自動調節(追尾)できない機能
 - ホワイトバランス
 - ゲイン
 - シャッター
 - 設定変更できない機能
 - ISO感度/ゲイン(基準ISO感度に固定)
 - Paintメニューの設定(すべて無効)
 - Scene File(無効)
- 以下の機能はCine EIモードでのみ使用可能です。
 - Exposure Index
 - Monitor LUT

撮影モードがCine EIモードのときは、記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域がMLUTをOffに設定した映像出力の色域となります。

ProjectメニューのCine EI SettingのColor Gamut(95ページ)で切り替えます。

- S-Gamut3.Cine/SLog3 : デジタルシネマの色域(DCIP3)への調整がしやすい色域
- S-Gamut3/SLog3 : ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

LUTデータをメタデータとして記録する

Cine EIモードのときに、撮影時にモニター映像に適用していたLUTデータ(Cubeデータ)を、クリップにメタデータとして記録することができます。

ProjectメニューのCine EI SettingのEmbed LUT File(95ページ)をOnに設定します。

記録開始時に選択していたLUTのCubeデータをメタデータとして記録します。ただし、以下の場合はメタデータとして記録することはできません。

- 内部メモリーにCubeデータがない場合
- 内部メモリーにCubeデータが存在していても、以下の操作を行った場合
 - 適用するLUTデータを変更した直後に記録を開始した場合

ShootingメニューのMonitor LUTのLUT Select(91ページ)で709(800%)またはs709を選択した場合、もしくはUser 3D LUT Select(91ページ)で内部メモリーに保存されているユーザー 3D LUTを選択した場合に記録されません。

【ご注意】

- 1つのクリップに記録できるメタデータは1つのみです。
- ShootingメニューのMonitor LUT SettingのInternal Rec(91ページ)がMLUT Onのときは、メタデータを記録することはできません。
- ShootingメニューのMonitor LUTのUser 3D LUT Select(91ページ)で先頭に☑マークが表示されているファイル名を選択した場合は、Cubeデータが保存されません。再度ユーザー 3D LUTデータを読み込んでから選択してください。

システム周波数

ProjectメニューのRec FormatのFrequency*(93ページ)で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

* ステータス画面でも設定可能。

【ご注意】

記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

イメージャースキャンモード

イメージセンサーの有効画サイズと解像度の設定を行います。

ProjectメニューのRec FormatのImager Scan Mode^{*} (93ページ) で切り替えます。

* ステータス画面でも設定可能。

- FF 6K : フルサイズの6K解像度で使用します。
- FFcrop 5K : フルサイズの約83%の画角の5K解像度で使用します。
- S35 4K : Super 35mmサイズの4K解像度で使用します。
- FF 2K : フルサイズの2K解像度で使用します。
- S35 2K : Super 35mmサイズの2K解像度で使用します。
- S16 2K : Super 16mmサイズの2K解像度で使用します。

[メモ]

Crop Selectを割り当てたアサインブルボタン(47ページ)を使うと、ビデオフォーマットを変更しない範囲でイメージャースキャンモードをすばやく変更することができます。

[ご注意]

- 記録・再生中にイメージャースキャンモードを切り替えることはできません。
- イメージャースキャンモードの設定がFF 2KまたはS35 2K、S16 2Kのときは、記録フォーマットの設定は1920x1080解像度に制限されます。

コーデック

ProjectメニューのRec FormatのCodec^{*}

(93ページ) で切り替えます。

* ステータス画面でも設定可能。

[ご注意]

記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

ビデオフォーマット

記録するビデオフォーマットの設定を行います。

ProjectメニューのRec FormatのVideo

Format^{*} (93ページ) で切り替えます。

* ステータス画面でも設定可能。

[ご注意]

- 記録・再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号も制限されます。

XQDメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のXQDメモリーカード(別売)に記録します。

XQDメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製XQDメモリーカードをご使用ください。

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

XQDメモリーカード Sシリーズ(QD-S64E/S32E/S64/S32)

XQDメモリーカード Hシリーズ(QD-H32/H16)

XQDメモリーカード Nシリーズ(QD-N64)

XQDメモリーカード Mシリーズ(QD-M128A/M64A/M32A)

XQDメモリーカード Gシリーズ(QD-G240F/G120F/G256E/G128E/G64E/G32E/G128A/G64A/G32A)

ソニー製XQDメモリーカード以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

[\[メモ\]](#)

XQDメモリーカードの使いかたや使用上のご注意については、XQDメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

推奨メディアについて

動作保証条件はRec FormatやRecording設定によって異なります。

Yes : 動作を保証

No : 保証しない

記録フォーマット				Gシリーズ Sシリーズ (QD-S64E/ S32E)	Nシリーズ Mシリーズ	Hシリーズ Sシリーズ (QD-S64/ S32)
XAVC Intra 422	4096 x 2160	Normal mode or S&Q(60P以 下)	59.94P/ 50P/ 29.97P/ 25P/ 23.98P/ 24P	Yes	No	No
	3840 x 2160	Normal mode or S&Q(60P以 下)	59.94P/ 50P/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes	No	No
	1920 x 1080	Normal mode or S&Q(60P以 下)	59.94P/ 50P 59.94i/ 50i/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes	No	No
		S&Q(60Pよ り上)	59.94P/ 50P/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes	No	No

記録フォーマット				Gシリーズ Sシリーズ (QD-S64E/ S32E)	Nシリーズ Mシリーズ	Hシリーズ Sシリーズ (QD-S64/ S32)
XAVC Long 422	3840 x 2160	Normal mode or S&Q(60P以下)	59.94P/ 50P/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes	Yes	No
			1920 x 1080	Normal mode or S&Q(60P以下)	59.94P/ 50P/ 59.94i/ 50i/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes
		S&Q(60Pより上)	59.94P/ 50P 29.97P 25P/ 23.98P	Yes	Yes	No
					50 Mbps:No 35 Mbps:Yes	No
			25P/ 23.98P	Yes	No	No
MPEG2 HD 422	1920 x 1080	Normal mode	59.94i/ 50i/ 29.97P/ 25P/ 23.98P	Yes	Yes	Yes

XQDメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部のメディア蓋を開ける。
- 2 XQDメモリーカードを、XQDのラベルを左にして差し込む。
アクセスランプ(8ページ)が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3 メディア蓋を閉める。

【ご注意】

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- XQDカードスロットA/B両方にメディアを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメディアを挿入してください。

XQDメモリーカードを取り出す

カードスロット部のメディア蓋を開け、XQDメモリーカードを軽く1回押して取り出します。

【ご注意】

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にXQDメモリーカードを取り出した際、XQDメモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

XQDメモリーカードをフォーマット(初期化)する

フォーマットされていないXQDメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「フォーマットが必要なメディアです」がビューファインダー画面に表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

- 1 TC/MediaメニューのFormat Media (106ページ)を選択する。
- 2 Media(A) (スロットA) またはMedia(B) (スロットB) を選択して、Executeを選択する。確認メッセージが表示されます。
- 3 Executeを選択する。
実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押して消します。

【ご注意】

メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるXQDメモリーカードに交換してください。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中/記録待機中)は、ビューファインダー画面(11ページ)のA/Bスロットメディア残量表示部で、各スロットに装着したXQDメモリーカードの残量を確認することができます。現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

XQDメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」(Media Near Full)が表示され、記録/タリールランプの点滅とブザー音(ヘッドホン出力)で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」(Media Full)に変わり記録が停止します。

[ご注意]

1枚のXQDメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、上限に達した旨のメッセージが表示されます。

XQDメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。修復が必要なXQDメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

修復を実行する

矢印ボタン(7ページ)またはマルチファンクションダイヤル(4ページ)でExecuteを選択し、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押します。実行中メッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されま

修復できなかったときは

- エラーが発生したXQDメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って別のXQDメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したXQDメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったXQDメモリーカードは、以下の手順で

正常に戻せる場合があります。

- ThumbnailメニューのCopy Clip(112ページ)で必要なクリップを他のXQDメモリーカードへコピーする。
- 問題のあるXQDメモリーカードを本機でフォーマットする。
- フォーマットしたXQDメモリーカードに必要なクリップをコピーして戻す。

[ご注意]

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
- 本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 2秒以下のクリップは修復できません。

Utility SD/MSカードを使う

UTILITY SD/MSカードは、プロキシ記録、設定内容の保存・読み出しと、将来のバージョンアップ(ソフトウェアアップデート)時に使用します。

本機で使用可能なSD/MSカード

SDXCメモリーカード*

SDHCメモリーカード*

SDメモリーカード*

“メモリースティックPRO-HGデュオ”**

“メモリースティックPROデュオ”**

* 本書ではまとめてSDカードと表現しています。

** 本書ではまとめて“メモリースティック”と表現しています。

[ご注意]

“メモリースティック”にはプロキシ記録はできません。

SD/MSカードを入れる

- 1 カードスロット部のメディア蓋を開ける。
- 2 SDカードまたは“メモリースティック”のラベルを右にしてカードスロットに差し込む。アクセスランプ(8ページ)が赤く点灯し、使用可能な状態になると消灯します。
- 3 メディア蓋を閉める。

SD/MSカードを取り出す

カードスロット部のメディア蓋を開け、SDカードまたは“メモリースティック”を軽く1回押して取り出します。

[ご注意]

- SDカードまたは“メモリースティック”にアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードまたは“メモリースティック”を抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードまたは“メモリースティック”のアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードまたは“メモリースティック”の飛び出しにご注意ください。

SD/MSカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めてSDカードまたは“メモリースティック”を使用するときは、フォーマットが必要です。本機で使用するSDカードまたは“メモリースティック”は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

- 1 TC/MediaメニューのFormat Media (106ページ)を選択する。
- 2 Utility SD/MSを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されます。
- 3 Executeを選択する。実行中はメッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押して画面を消します。

[ご注意]

SDカードまたは“メモリースティック”をフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

メディアステータス画面(16ページ)を表示させると、SDカードまたは“メモリースティック”の残容量を確認することができます。プロキシ記録がOnのとき、撮影中(記録中/記録待機中)は、ビューファインダー画面(11ページ)のメディア残量表示部でSDカードの残容量を確認することができます。

[ご注意]

SDカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2 メモリーカードを入れる。
- 3 POWERスイッチをOnにする。
POWERランプが点灯して、ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 4 録画START/STOPボタン(6ページ)を押す。
記録/タリーランプが点灯して、記録が始まります。
- 5 記録を終了するときは、もう一度録画START/STOPボタン(6ページ)を押す。
記録が停止し、本機はSTBY(記録待機)モードになります。

[ご注意]

電源を入れてから数秒以内に録画START/STOPボタンを押すと、記録/タリーランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメディアに記録されない場合があります。

XQDメモリーカードを切り替える

XQDメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン(7ページ)を押して切り替えます。

撮影中にメモリーカードA(またはメモリーカードB)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります(リレー記録)。メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

[ご注意]

再生中にXQDメモリーカードを切り替えることはできません。またスロットAとスロットBをまたぐ連続再生はできません。

クリップ(記録データ)

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、1つの「クリップ」としてXQDメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップの名前は、TC/MediaメニューのClip Name Format(105ページ)で設定された形式でつけられます。

クリップの最大時間

1クリップあたり6時間までです。

動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

リレー記録では複数のクリップに連続記録しますが、約24時間で自動的に停止します。

[ご注意]

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ替えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「まもなくスロットを切り替えます」が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。

音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。ヘッドホン端子(8ページ)にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時(76ページ)は内蔵スピーカー(6ページ)またはヘッドホンでモニターできます。モニターする音声の音量の調整は、VOLUME(モニター音量調節)ボタン(6ページ)で行います。モニターするチャンネルの選択は、AudioメニューのAudio OutputのMonitor CH(111ページ)で行います。Monitor CHの設定は、Audio Monitor CHまたはAudio Mon. CH Switchが割り当てられたアサインボタン(47ページ)で切り替えることができます(54ページ)。
* ステータス画面でも設定可能。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/MediaメニューのTimecode(105ページ)で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。TC/MediaメニューのUsers Bit(105ページ)で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、TC/MediaメニューのTC Display(105ページ)のDisplay Selectで設定します。DURATION/TC/U-BIT機能が割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

タイムコードの入力/出力を切り替える

IN/OUT切り替えスイッチ(8ページ)で、タイムコードの入力/出力を切り替えることができます。詳しくは128ページをご覧ください。

記録内容を確認する(レックレビュー)

直前に記録したクリップの映像を画面で確認(レックレビュー)できます。

[ご注意]

記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの方法

事前にアサインブルボタンのいずれかにRec Reviewを割り当てておきます。

記録を停止したら、Rec Reviewが割り当てられたアサインブルボタン(47ページ)を押します。

すると、直前に記録したクリップの再生が始まります。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY(記録待機)モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

Rec Reviewが割り当てられたアサインブルボタンまたはCANCEL/BACKボタンを押します。

レックレビューの設定

TechnicalメニューのRec Review(114ページ)の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒
- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

[メモ]

撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面からクリップを選択して再生を開始することができます。

フォーカスを調節する

撮影時の状況に応じて、フォーカスを自動または手で調整します。

フォーカスを手動調節する(マニュアルフォーカス)

フォーカスを手動調整するには、FOCUSスイッチ(6ページ)を「MAN」に設定します。

撮影状況に応じて、手動でフォーカス合わせができます。

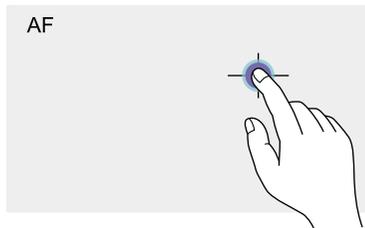
以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

タッチ操作でフォーカスを合わせる(スポットフォーカス)

マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたい位置をタッチ操作で指定すると、フォーカスを合わせることができます。

スポットフォーカスを使用するには、ShootingメニューのFocusのTouch Function in MF(90ページ)をSpot Focusに設定します。ピントを合わせたい位置をタップすると、スポットフォーカスマークが表示されます。



【メモ】

- スポットフォーカス中にPush AF/Push MFが割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押すとスポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。
- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、スポットフォーカスは動作しません。
- ピント拡大中、またはTechnicalメニューのTouch Operation(114ページ)がOffのときは、スポットフォーカスの位置指定操作はできません。

一時的に自動でフォーカスを合わせる(プッシュオートフォーカス(AF))

ShootingメニューのFocusのPush AF Mode(90ページ)でAFを選択し、マニュアルフォーカス中にPUSH AUTO FOCUSボタン(6ページ)を押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。

ShootingメニューのFocusのFocus Area(90ページ)で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。

ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

【メモ】

- Push AF/Push MFが割り当てられたアサインボタン(47ページ)でも同様の動作が可能です。
- アサインボタン(47ページ)にPush AF Modeを割り当てることができます。

【ご注意】

レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、プッシュオートフォーカスは動作しません。

迅速に自動でフォーカスを合わせる(プッシュオートフォーカス(AF-S))

ShootingメニューのFocusのPush AF Mode(90ページ)でSingle-shot AF(AF-S)を選択し、ShootingメニューのFocusのFocus Area(AF-S)(90ページ)でフォーカスを合わせる位置を設定します。

マニュアルフォーカス中にPUSH AUTO FOCUSボタンを押すと、最速でオートフォーカスを行います。なお、合焦前に離すと中止します。フォーカスインジケータ表示にてフォーカス合わせの状況を表示します。

- 点灯：フォーカスが合焦した位置で固定されています。
 - 点滅：フォーカスが合っていません。自動でフォーカスを合わせられないので、構図やフォーカス設定などを変更してください。
- ボタンから指を離すとマニュアルフォーカスに戻ります。
- 撮影する前にフォーカスをさっと合わせておきたいときに使うと便利です。

【メモ】

- Push AF/Push MFが割り当てられたアサインボタン(47ページ)でも同様の動作が可能です。
- アサインボタン(47ページ)にPush AF Modeを割り当てることができます。
- アサインボタン(47ページ)にFocus Area(AF-S)を割り当てることができます。

- MonitoringメニューのDisplay On/OffのFocus Area Ind.(AF-S)(107ページ)で、フォーカスエリア枠表示をOn/Offすることができます。
- ピント拡大中は拡大表示している位置にフォーカスを合わせます。

【ご注意】

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、プッシュオートフォーカスは動作しません。
- フォーカスエリア枠はDISPLAYボタンでは非表示になりません。

拡大表示をしてフォーカスを合わせる(ピント拡大)

工場出荷時はグリップリモコンのASSIGN4ボタンとビューファインダーのASSIGN10ボタンにFocus Magnifier $\times 3/\times 6$ が割り当てられています(47ページ)。

ASSIGN4ボタンまたはASSIGN10ボタンを押すと、ピント拡大画面に切り替わり、画面中央が約3倍に拡大され、もう一度押すと約6倍に拡大されます。フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

もう一度押すと元に戻ります。

ピント拡大中に矢印ボタン(7ページ)またはマルチセレクター(9ページ)で拡大位置を移動できます。SETボタン(7ページ)またはマルチセレクターを押し込むと中央に戻ります。ピント拡大中にプッシュオートフォーカス(AF)を実行すると、ShootingメニューのFocusのFocus Area(90ページ)で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。ピント拡大中にプッシュオートフォーカス(AF-S)を実行すると、ピント拡大表示している位置にフォーカスを合わせます。

【ご注意】

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像やSDI出力、HDMI出力の画像は拡大されません。

- ピント拡大中は、STATUS(ステータス) ボタンやMENU ボタン操作など、無効になる操作があります。
- 拡大位置は本機の電源を切ると画面中央に戻ります。

フォーカスマーカーを表示してマニュアル操作を行う

マニュアルフォーカスのとき、基準としたフォーカスポジションとの差を数値で確認できます。あらかじめ特定のフォーカスポジションを記憶させることで、撮影時に数値を目安にボケ量の変化を調節したり、もとのポジションに戻りたいときなどに有効です。

- 1 MonitoringメニューのDisplay On/OffのFocus Marker(107ページ)をOnに設定する。
- 2 Focus Zero Markerをアサインボタン(47ページ)に割り当てる。
- 3 フォーカスポジションを基準としたい位置にして、Focus Zero Markerボタンを押す。フォーカスマーカー表示の値が0になります。
- 4 フォーカスマーカー表示の値を目安にフォーカスポジションを操作する。

[ご注意]

数値は撮影条件や使用されるレンズによって異なります。あらかじめ動作を確認してからご使用ください。

フォーカスを自動調節する(オートフォーカス)

本機は、高速性に優れる位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れるコントラストAF方式を採用しています。

これらの2つのAF方式を掛け合わせて利用することで、高速性・高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。

フォーカスを自動調整するには、本機のFOCUSスイッチ(6ページ)を「AUTO」に設定します。レンズにフォーカス切り替えスイッチがある場合はあらかじめ「AF/MF」または「AF」に設定してください。「Full MF」または「MF」の場合、レンズは本機からのフォーカス指示を受け付けません(23ページ)。AF時はFOCUS AUTO LEDが点灯します。

[メモ]

ShootingメニューのFocusのAF Assist(90ページ)をOnに設定すると、オートフォーカス中でもレンズのフォーカスリングでフォーカスを動かすことができます。

[ご注意]

- オートフォーカスに対応したレンズが必要です。
- 撮影状況により精度が出ない場合があります。
- Aマウントレンズではフォーカスを自動調節できません。
- MonitoringメニューのVF SettingのDe-Squeeze(109ページ)がOff(1.0x)以外のときは、オートフォーカスは使用できません。

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する(フォーカスエリア)

ShootingメニューのFocusのFocus Area(90ページ)でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

Flexible Spot:

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。選択後、矢印ボタン(7ページ)またはマルチセクター(9ページ)で位置を指定します。SETボタン(7ページ)またはマルチセクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



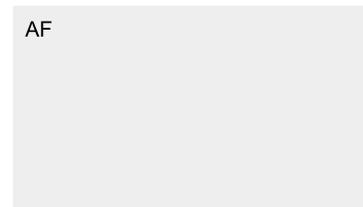
Zone:

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。選択後、矢印ボタン(7ページ)またはマルチセクター(9ページ)で位置を指定します。SETボタン(7ページ)またはマルチセクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



Wide:

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。



[メモ]

Focus Areaを割り当てたアサインボタン(47ページ)でも同様の動作が可能です。MonitoringメニューのDisplay On/OffのFocus Area Indicator(107ページ)で、フォーカスエリア枠表示をOn/Offすることができます。

[ご注意]

フォーカスエリア枠はDISPLAYボタンでは非表示になりません。

フォーカスエリアをすばやく変更する(フォーカスセット)

アサインボタン(47ページ)にFocus Settingを割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域(フォーカスエリア)の位置や大きさをすばやく変更することができます。フォーカスエリアの設定により動作が変わります。

ShootingメニューのFocusのFocus Area(90ページ)がFlexible SpotまたはZoneの場合:

Focus Settingを割り当てたアサインボタンを押すと、矢印ボタン(7ページ)またはマルチセクター(9ページ)、タッチ操作(37ページ)でフォーカスエリアの位置を変更することができます。

位置変更中にSETボタン(7ページ)またはマルチセクターを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。

Focus Settingを割り当てたアサインボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更することができます。

大きさを変更後、SETボタンまたはマルチセクターを押すとフォーカスエリアの位置を設定します。

設定の変更が終了したら、Focus Settingを割り当てたアサイナブルボタンを押して元の画面に戻ります。

ShootingメニューのFocusのFocus Area (90ページ) がWideの場合：

Focus Settingを割り当てたアサイナブルボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。種別をFlexible SpotまたはZoneに変更すれば、続けて位置変更も可能です。

[メモ]

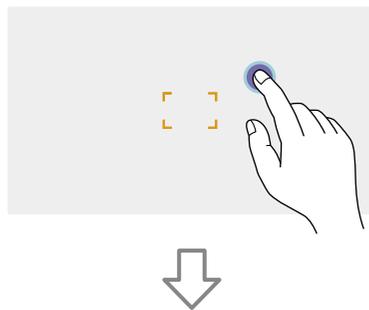
- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。
- ShootingメニューのFocusのPush AF Mode(90ページ)がSingle-shot AF(AF-S)の場合は、Focus Area(AF-S)(90ページ)のフォーカスエリア位置を変更することができます。

フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する(タッチフォーカスエリア)

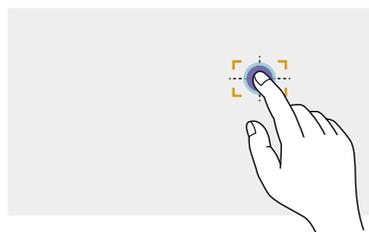
ShootingメニューのFocusのFocus Area (90ページ)でFlexible SpotもしくはZoneの選択後や、Focus Settingを割り当てたアサイナブルボタンを押すなどしてフォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されているとき、フォーカスエリア位置をタッチ操作で移動することができます。

タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します(10ページ)。

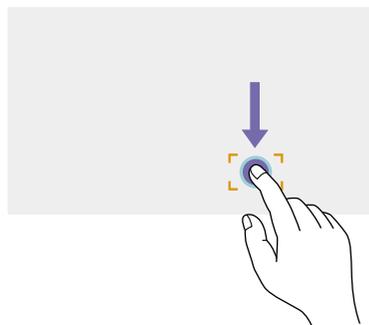
任意の位置をタップする



タップした位置をフォーカスエリアの中心として位置を移動する



ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する



[ご注意]

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に移動します。
- 以下の場合、この機能は使えません。
 - TechnicalメニューのTouch Operation (81ページ)がOffの場合
 - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

オートフォーカスの動作の調節をする (AFトランジション速度、AF乗り移り感度)

AFトランジション速度

ShootingメニューのFocusのAF Transition Speed(90ページ)で、被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。

低速側に設定すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。

高速側に設定すると被写体間のフォーカス送りがすばやくなります。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。

奥の被写体に合焦している



乗り移り中

- (低速)：フォーカスがゆっくり動く
- ・
- ・
- ・
- 7(高速)：フォーカスがすばやく動く

手前の被写体に合焦



AF乗り移り感度

ShootingメニューのFocusのAF Subj. Shift Sens.(90ページ)で、被写体の乗り移り感度を設定することができます。

粘る側に設定するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が増えてもフォーカスが移りにくくなり、敏感側に設定すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。

[メモ]

AF Speed/Sens.を割り当てたアサインボタンを押すたびに、調整用のレベルバーが以下の順で表示され、AFトランジション速度とAF乗り移り感度の設定を変更できます。

AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

AF Subj. Shift Sens.: 1(粘る)



別の被写体にフォーカスが移りにくい

AF Subj. Shift Sens.: 5(敏感)



別の被写体にフォーカスが移りやすい

手動でフォーカス対象を変更する(AF Assist)

ShootingメニューのFocusのAF Assist(90ページ)をOnに設定すると、オートフォーカス中でもレンズのフォーカスリングを使ってオートフォーカス対象の被写体を任意に選ぶことができます。

フォーカスリングを動かすのを止めるとオートフォーカス動作に戻ります。

ShootingメニューのFocusのAF Subj. Shift Sens.(90ページ)で被写体の乗り移り感度を1(Locked On)側に設定しておく、距離の違う被写体にフォーカス位置を移動させて、そのままオートフォーカス動作を継続させたいときに特に有効です。

一時的に手動でフォーカスを合わせる(プッシュマニュアルフォーカス)

オートフォーカス中に、PUSH AUTO FOCUSボタン(6ページ)を押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。

[メモ]

Push AF/Push MFが割り当てられたアサインボタン(47ページ)でも同様の動作が可能です。

顔や瞳を検出して追尾する (顔/瞳検出AF)

人物の顔や瞳を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳にフォーカスを合わせ続けることができます。

フォーカスモードがAFモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

顔を検出すると灰色の顔/瞳検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になり、追尾が開始されます。さらに瞳を検出しフォーカスが合うと、瞳に顔/瞳検出枠が表示されます。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

[メモ]

- フォーカスエリアがZoneまたはFlexible Spotに設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に顔や瞳が重なっているときに、顔/瞳検出枠が白色になり、その顔や瞳へのオートフォーカスが可能となります。
- プッシュオートフォーカス(AF-S)実行時、フォーカスが合った顔/瞳検出枠は緑色になります。

ShootingメニューのFocusのFace/Eye Detection AF(90ページ)で、顔/瞳検出AFの動作を設定します。

Face/Eye Only AF:

カメラが被写体(人物)の顔や瞳を検出したとき、人の顔や瞳にフォーカスを合わせ追尾します。顔や瞳を検出しない間は、AFが一時停止し、顔/瞳限定AF中の  (AF一時停止アイコン) (11ページ)が表示されます。顔や瞳だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。

Face/Eye Priority AF:

カメラが被写体(人物)の顔や瞳を検出したとき、人の顔や瞳に優先的にフォーカスを合わせ追尾します。顔や瞳を検出しないときは、AFモードになります(初期設定)。

Off:

顔/瞳検出AF機能を無効にします。

[ご注意]

- Face/Eye Only AFに設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、Face/Eye Priority AFになります。
- FOCUSスイッチが「MAN」のときは、顔/瞳検出AFできません(プッシュオートフォーカス実行中を除く)。
- Face/Eye Only AFに設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的にFace/Eye Priority AFになります。

顔/瞳検出枠を消す

顔/瞳検出枠の表示/非表示は、MonitoringメニューのDisplay On/OffのFace/Eye Detection Frame(107ページ)で設定できます。

[ご注意]

DISPLAYボタンで非表示、またはFace/Eye Detection FrameをOffに設定しているときでも、プッシュオートフォーカス(AF-S)でフォーカスが合った顔や瞳には緑色の顔/瞳検出枠が表示されます。

アサインブルボタンで顔/瞳検出AFの動作を切り替える

アサインブルボタン(47ページ)にFace/Eye Detection AFを割り当てると、そのボタンを押すたびに、顔/瞳検出AFの動作がFace/Eye Priority AF、Face/Eye Only AF、Offの順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

顔/瞳検出AFの動作は、ダイレクトメニュー(47ページ)でも切り替えることができます。

被写体を指定して追尾する (リアルタイムトラッキングAF)

タッチ操作や顔検出枠選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。被写体を選択すると白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

[メモ]

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。
- ShootingメニューのFocusのTouch Function in MF(90ページ)をTracking AFに設定すると、フォーカスモードがMFモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

顔/瞳検出AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。

Face/Eye Only AF、Face/Eye Priority AF:

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物で、顔/瞳を検出した場合は、顔/瞳にフォーカスを合わせます。

追尾対象の顔/瞳を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると  (保存された追尾顔ありアイコン) (11ページ)が表示されます。

[ご注意]

マニュアルフォーカス中にトラッキングAFを開始した場合は、追尾対象の顔は保存しません。

Off:

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。追尾対象が人物であっても、顔/瞳の検出は行いません。

[ご注意]

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、リアルタイムトラッキングAFは動作しません
- Face/Eye Only AFに設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的にFace/Eye Priority AFになります。

リアルタイムトラッキングAFを開始する

カメラの被写体を追尾対象に指定すると、追尾対象に対して追尾が開始されます。

タッチ操作で指定する

次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップします。

- フォーカスモードがMFモード、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、ShootingメニューのFocusのTouch Function in MF(90ページ)がTracking AFのとき
- フォーカスモードがAFモード、またはプッシュオートフォーカス(AF)中のとき

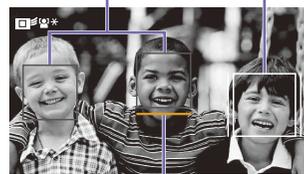
[ご注意]

TechnicalメニューのTouch Operation(114ページ)がOffの場合はタッチ操作での指定はできません。

顔検出枠選択操作で指定する

矢印ボタン(7ページ)またはマルチセレクター(9ページ)で顔選択カーソル(オレンジ色の下線)を追尾対象にする被写体に移動して、SETボタン(7ページ)を押すかマルチセレクターを押し込みます。

他の顔検出枠(灰色) 追尾枠



顔選択カーソル(オレンジ)

[メモ]

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。
- リアルタイムトラッキングAF中にFocus Magnifierを割り当てたアサインボタン(47ページ)を押すと、追尾状態を継続したままピント拡大が実行されます。ただし、ピント拡大中は、追尾対象の指定はできません。

[ご注意]

マニュアルフォーカス中は、顔検出枠選択操作でトラッキングを開始できません。

リアルタイムトラッキングAFを終了する

タッチ操作で終了する

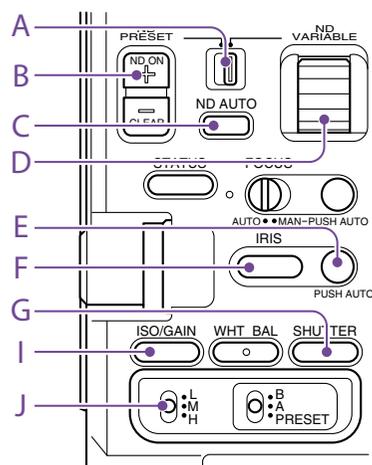
タッチパネル左上に表示される  (リアルタイムトラッキングAF終了) ボタンをタップします。

[メモ]

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
 - FOCUSスイッチまたはレンズ側でAUTO/MANを切り替えたとき
 - フォーカスモードを変更したとき
 - オートフォーカスアシストを実行したとき
 - フォーカスエリアの設定や顔/瞳検出AFの動作を変更したとき
 - Push AF/Push MFを割り当てたアサインボタンを押したとき
 - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき
- 追尾顔が保存されている(保存された追尾顔ありアイコンが表示されているとき) 場合は、撮影映像領域内に保存された追尾顔が入ると再びリアルタイムトラッキ

ングAFが開始されます。追尾顔を削除するにはほかの顔を指定するか、上記のリアルタイムトラッキングAF終了の操作を行ってください。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。自動調節することもできます。

明るさを自動調節するときの目標レベルは、ShootingメニューのAuto Exposure(87ページ)のLevelで設定します。アサインボタン(47ページ)にAuto Exposure Levelを割り当てることができます。

【ご注意】

Cine EIモードではゲインを調節できません。基準感度に固定されます。また、シャッタースピードによる明るさの自動調節はできません。アイリスやNDフィルターによる明るさの自動調節は可能です。

基準感度を選択する

本機では2種類の基準感度を選択することができます。

SDR/HDRモードではShootingメニューのBase Sensitivity*でHighまたはLow、Cine EIモードではShootingメニューのBase ISO*でISO 4000またはISO 800から選択します。

* ステータス画面でも設定可能。
通常の照明下ではLowまたはISO 800、低照度の条件ではHighまたはISO 4000を選択することで、ノイズ感を粗くせずバランスの取れた撮影を行うことができます。

【メモ】

アサインボタンにBase ISO/Sensitivityを割り当てることができます(47ページ)。

アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調整します。対応するレンズが必要です。

- 1 レンズにAuto Irisスイッチがついている場合、AUTOにする。
- 2 IRISファンクションボタン(F)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)を表示させ、Autoを選ぶ。

【メモ】

アサインボタンにAuto Irisを割り当てることができます(47ページ)。

【ご注意】

Aマウントレンズではアイリスを自動調節できません。

アイリスを手動調節する

- 1 IRISファンクションボタン(F)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)を表示させ、Manualを選ぶ。
- 2 IRISファンクションボタン(F)を押して、アイリス値が白背景で表示された状態にする。
- 3 マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

【メモ】

- マルチファンクションダイヤルにIRISを割り当てると、マルチファンクションダイヤルを常時IRISとして動作させることもできます(47ページ)。
- アサインボタンにIRISを割り当てることができます(47ページ)。

一時的に自動調節する

PUSH AUTO IRISボタン(E)を押している間、アイリスを自動調節します。指を離すと手動アイリスに戻ります。

【メモ】

アサインボタンにPush Auto Irisを割り当てることができます(47ページ)。

【ご注意】

レンズのAuto IrisスイッチをMANUALにすると、本機からのAuto IrisやPush Auto Irisを受け付けなくなります。また、本機からのアイリス手動調節操作も受け付けなくなります。

ゲインを調節する

SDR/HDRモードではゲインを調節して、明るさを調節できます。

ゲインを自動調節する

ISO/GAINファンクションボタン(I)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)を表示させ、Autoを選ぶ。

【メモ】

- ShootingメニューのAuto Exposure(87ページ)のAGCをOnにしても同様の調節が可能です。
- アサインボタンにAGCを割り当てることができます(47ページ)。

ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

- 1 ISO/GAINファンクションボタン(I)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)を表示させ、Manualを選ぶ。

- 2 ISO/GAINスイッチ(J)でH/M/Lを選択する。

【メモ】

アサインボタンにPush AGCを割り当てると、そのボタンを押している間だけAGCをOnにできます。

ゲインを微調整する

- 1 ISO/GAINファンクションボタン(I)を押して、ゲイン値が白背景で表示された状態にする。
- 2 マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

[メモ]

ISO/GAINスイッチ(I)の設定に応じたゲインプリセット値を変更します。

ゲインを一時的に微調整する

アサインブルダイヤル(47ページ)にISO/Gain/EIを割り当てると、ISO/GAINスイッチ(I)で設定した値からダイヤルで調整することができます。

被写界深度を変えずにもう一步露出を追い込みたいときに便利です。

一時的に微調整した結果は、ISO/GAINスイッチ(I)および基準感度の切り替えやAGCをOn、電源をOffにすると無効になります。

[メモ]

マルチファンクションダイヤルに割り当てることができます(47ページ)。

Exposure Indexを調整する

Cine EIモードではMLUTをOffに設定した映像出力を本線として記録することを想定しており、EI値に合わせてMLUT On側の映像の明るさを変化させることで、ポストプロダクション処理での増感減感処理結果を撮影時に確認することができます。

EI値の変更は、ISO/GAINスイッチ(I)でH/M/Lを選択することで行えます。

[メモ]

ShootingメニューのISO/Gain/EIのExposure Index<H>/<M>/<L>(85ページ)およびステータス画面のカメラステータス画面(15ページ)で各スイッチポジションでのEI値を変更できます。

Exposure Indexを微調整する

1 ISO/GAINファンクションボタン(I)を押して、EI値が白背景で表示された状態にする。

2 マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

[メモ]

ISO/GAINスイッチ(I)の設定に応じたEIプリセット値を変更します。

シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

シャッターを自動調節する

SHUTTERファンクションボタン(G)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)からAutoを選ぶと、映像の明るさに応じて自動でシャッター速度または開角度を調整できます。

[メモ]

ShootingメニューのAuto ExposureのAuto Shutter(88ページ)をOnにしても同様の調節が可能です。

シャッターを手動調節する

1 SHUTTERファンクションボタン(G)を長押しして、ダイレクトメニュー(47ページ)からSpeedまたはAngleを選ぶ。

2 SHUTTERファンクションボタン(G)を押して、シャッター値が白背景で表示された状態にする。

3 マルチファンクションダイヤルを回してシャッター速度を調節する。

[メモ]

- 露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順1でOffを選択します。
- 角度で設定したり、周波数で細かく設定することもできます(86ページ)。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎる場合は、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。

本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND PRESET/VARIABLEスイッチで切り替えます。

プリセットモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチ(A)をPRESETの位置にして、ND FILTER POSITION上下ボタン(B)で切り替えます。

Clear : NDなし

- 1: ShootingメニューのND FilterのPreset1(86ページ)で設定した透過率。
- 2: ShootingメニューのND FilterのPreset2(86ページ)で設定した透過率。
- 3: ShootingメニューのND FilterのPreset3(86ページ)で設定した透過率。

バリエブルモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチ(A)をVARIABLEの位置にします。ND FILTER POSITION上下ボタン(B)でCLEARとOnを切り替えます。

光量を自動調節する

オートNDフィルターをOnにすると、NDフィルターを使った自動露出調節を行います。

1 ND FILTER POSITION上下ボタン(B)の+を押して、NDフィルターをOnにする。

2 ND VARIABLE AUTOボタン(C) をAutoになるまで長押しする。

光量を手動調節する

1 ND FILTER POSITION上下ボタン(B) の+を押して、NDフィルターをOnにする。

2 ND VARIABLE AUTOボタン(C) をManualになるまで長押しする。

3 ND VARIABLEダイヤル(D) を回してフィルターの透過率を調節する。

[メモ]

アサインابلダイヤルにND Filterを割り当てることもできます(47ページ)。

一時的に自動調節する

Push Auto NDが割り当てられたアサインابلボタン(47ページ) を押している間、オートNDフィルターがOnになります。指を離すとオートNDフィルターがOffに戻ります。

ND FILTER POSITION上下ボタン(B) の+を押して、NDフィルターをOnの状態にしておいてください。

[ご注意]

撮影中にCLEARをまたいでNDフィルターを切り替えたとき、画像内にNDフィルターの枠が入り、音声に動作音が入ります。

[メモ]

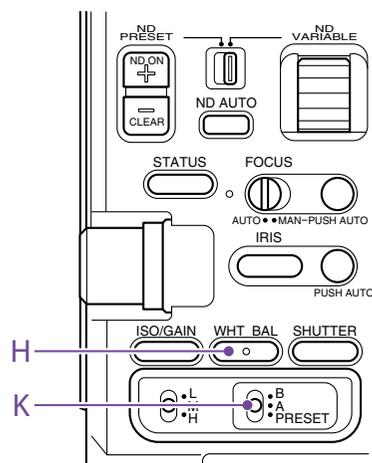
- ND VARIABLEダイヤル(D) をND1/4からさらに下に回すと、CLEARにすることができます。また、CLEARからある程度上に回すと、ND1/4にすることができます。TechnicalメニューのND DialのCLEAR with Dial(114ページ) で、この動作を無効にすることができます。
- ND FILTER POSITION上下ボタンの代わりに、ND Filter Positionが割り当てられたアサインابلボタン

(47ページ) を押して設定を変更することもできます。
プリセットモード：Clear→Preset1→Preset2→Preset3→Clear・・・

バリエーションモード：Clear→On→Clear・・・

- Auto ND Filterが割り当てられたアサインابلボタン(47ページ) を押してオートNDフィルターをOn/Offすることもできます。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

ATW(自動追尾ホワイトバランス)

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整します。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

WHT BALファンクションボタン(H)を長押しして、ダイレクトメニュー(47ページ)からATWを設定します。

ShootingメニューのWhite SettingのATW Speed(89ページ)で、5段階の調整速度を選択できます。

[メモ]

アサインボタン(47ページ)にATW Hold機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

[ご注意]

- Cine EIモードのとき、ATWは使えません。
 - 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
- 例:
- 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
- ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

ホワイトバランスを手動調節する

1 ホワイトバランスがATWモードになっているときは、WHT BALファンクションボタン(H)を長押ししてダイレクトメニュー(47ページ)からManualを選ぶ。

2 WHT BALスイッチ(K)でB/A/PRESETを選択する。

B: メモリー Bモード
A: メモリー Aモード
PRESET: プリセットモード

[メモ]

ShootingメニューのWhite SettingのWhite Switch(89ページ)でATWを選択すると、メモリー BにATWが割り当てられます。

メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。

プリセットモード

色温度をプリセット値(工場出荷時: 3200K)に調整するモードです。

既定のプリセット値に変更する

プリセットモードでは既定のプリセット値に直接変更することができます。

WHT BALファンクションボタン(H)を長押しして、ダイレクトメニューで以下から選択する。

SDR/HDR モード: → 3200K、→ 4300K、
→ 5600K、→ 6300K

Cine EI モード: → 3200K、→ 4300K、
→ 5500K

[メモ]

PreSet White Selectが割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押して設定を変更することもできます。

SDR/HDRモード: 3200K→4300K→5600K→6300K→3200K・・・

Cine EIモード: 3200K→4300K→5500K→3200K・・・

任意の色温度に変更する

1 WHT BALファンクションボタン(H)を押して、色温度が白背景で表示された状態にする。

2 マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

[メモ]

- プリセットモードでは100K単位で設定できます。
- メモリーモードでは20K単位で設定できます。また、ShootingメニューのWhite(88ページ)でTintの調節ができます。

オートホワイトバランスを実行する

メモリー A/メモリー Bモードで保存するホワイトバランスを自動で設定します。

- 1 メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3 明るさを調整する。
「アイリスを手動調節する」(41ページ)に従って、アイリスを調整してください。
- 4 WB SETボタン(4ページ)を押す。

- メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー(AまたはB)に保存されます。
- ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

[ご注意]

正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

収録する音声を設定する

本機の入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

INPUT1端子(8ページ)

INPUT2端子(8ページ)

マルチインターフェースシュー (4ページ)

CH1 INPUT切り替えスイッチ(7ページ)

CH2 INPUT切り替えスイッチ(7ページ)

INPUT1スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V) (4ページ)

INPUT2スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V) (4ページ)

録音レベルの設定用スイッチ

CH1(AUTO/MAN) スイッチ(7ページ)

CH2(AUTO/MAN) スイッチ(7ページ)

AUDIO LEVEL(CH1) ダイヤル(7ページ)

AUDIO LEVEL(CH2) ダイヤル(7ページ)

AUDIO LEVEL(CH3) ダイヤル(7ページ)

AUDIO LEVEL(CH4) ダイヤル(7ページ)

音声入力機器を選ぶ

- 1 音声入力を切り替える。
CH1/CH2の場合は、CH1 INPUT切り替えスイッチ/CH2 INPUT切り替えスイッチで音声入力を切り替えます。
INPUT1端子/INPUT2端子を使う場合は、EXTを設定します。
また、シューマイク、XLRアダプター、UWP(UHFワイヤレスマイクロフォン)またはポータブルワイヤレスチューナーを使う場合は、同様にMI SHOEを設定します。XLRアダプターについては「オーディオ入力端子を増設する」(46ページ)をご覧ください。
ポータブルワイヤレスチューナーについては「ポータブルワイヤレスチューナーを使用する」(46ページ)をご覧ください。
CH3/CH4の場合は、AudioメニューのAudio InputのCH3 Input Select^{*}(110ページ)、CH4 Input Select^{*}(110ページ)で音声入力を切り替えます。
^{*} ステータス画面でも設定可能。

[メモ]

CH2は、AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input Select^{*}(110ページ)でINPUT1を選択することもできます。

^{*} ステータス画面でも設定可能。

[ご注意]

本機は環境音収録用のナレーションマイクを内蔵しています。他機器とのタイミング合わせなどにご利用いただけません。その場合はINTまたはInternal MICを設定します。

- 2 入力する音源を選ぶ。
INPUT1/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを「LINE」にしてください。

録音レベルを自動調節する

- 自動調整するチャンネルのCH1/CH2(AUTO/MAN) スイッチを「AUTO」にします。
CH3/CH4の場合は、AudioメニューのAudio InputのCH3 Level Control^{*}、CH4 Level Control^{*}をAutoに設定します(110ページ)。
^{*} ステータス画面でも設定可能。

録音レベルを手動調節する

CH1/CH2の録音レベルを手動調整する場合は、以下の手順で行います。

- 1 調節するチャンネルのCH1/CH2(AUTO/MAN) スイッチを「MAN」にする。
- 2 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVEL(CH1)/(CH2) ダイヤルを回して、音量を調節する。
 - CH3/CH4の場合は、AudioメニューのAudio InputのCH3 Level Control^{*}、CH4 Level Control^{*}をManualに設定し、AUDIO LEVEL(CH3)/(CH4)ダイヤルで録音レベルを調節します。
 - CH1～CH4を一括してレベル調整することもできます。Audio Input Levelが割り当てられたアサインブルダイヤル(47ページ)やAudioメニューのAudio InputのAudio Input Level^{*}で調節します。

^{*} ステータス画面でも設定可能。

[メモ]

音声入力レベルの確認には、オーディオステータス画面が便利です(15ページ)。

[ご注意]

- Audioメニューの設定の組み合わせによりAudio Input Levelの設定が無効になる場合があります。詳細は149ページの図をご覧ください。
- CH1 INPUT切り替えスイッチ、CH2 INPUT切り替えスイッチがどちらもINTに設定されている場合は、CH1(AUTO/MAN) スイッチの設定に連動してCH2の自動・手動も切り替わります。また、AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤルの設定に連動してCH2の録音レベルも変わります。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。詳細は149ページの図をご覧ください。

オーディオ入力端子を増設する

XLRアダプター XLR-K2M(別売)、XLR-K3M(別売)を使うと、同時に4系統のXLR音声機器を本機に接続することができます。

マルチインターフェースシューにXLRアダプターを装着して、AudioメニューのAudio InputのCH3 Input Select*をShoe CH1に、CH4 Input Select*をShoe CH2に設定してください。

入力にXLRアダプターを選択したチャンネルでは、重複する本機の機能は無効になります。

XLRアダプターのスイッチやダイヤルで調節してください。

* ステータス画面でも設定可能。

[ご注意]

- 本機はXLR-K3Mのデジタルオーディオインターフェースに対応しています。
- AudioメニューのAudio InputのCH3 LevelやCH4 LevelをAudio Input Levelに設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルに本機のAudio Input Levelが掛け合わされます。
XLRアダプターのスイッチをAUTOに設定した場合もAudio Input Levelが有効になります。
Throughに設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルで記録されます(150ページ)。
- XLRアダプター XLR-K2M(別売)、XLR-K3M(別売)を本機に取り付ける場合は、本機のマイクホルダーを取り外してください。

ポータブルワイヤレスチューナーを使用する

別売の拡張ユニットXDCA-FX9が必要です。

XDCA-FX9の取り付けについては、25ページをご覧ください。

XDCA-FX9にポータブルワイヤレスチューナーを装着した状態で、AudioメニューのAudio Input(110ページ)のCH1 MI SHOE Input Select*、CH2 MI SHOE Input Select*、CH3 Input Select*、またはCH4 Input Select*をWirelessに設定してください。

* ステータス画面でも設定可能。

便利な機能

ダイレクトメニュー操作

ビューファインダー画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。設定できる項目は、以下のとおりです。

- Face/Eye Detection AF
- Steady Shot
- White Mode
- Color Temp
- Scene File
- ND Filter Position / Auto ND Filter
- ND Filter Value
- Auto Iris
- Iris Value
- AGC
- Gain Value
- ISO Value
- EI Gain Value
- Auto Shutter
- Shutter Value
- Auto Exposure Mode
- Auto Exposure Level
- S&Q Motion Frame Rate

1 マルチファンクションダイヤル、または Direct Menuが割り当てられたアサインボタンを押す。ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。

2 マルチファンクションダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、マルチファンクションダイヤルを押す。メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。

3 マルチファンクションダイヤルで設定を選び、マルチファンクションダイヤルを押す。メニューまたは白背景が消えて、新しい設定がオレンジのカーソルで表示されます。再びDirect Menuが割り当てられたアサインボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

[メモ]

- 各種ファンクションボタン(6ページ)を長押しして、直接設定をする状態にすることもできます。
- 白背景で表示された状態では、マルチファンクションダイヤルをアサインダイヤルのように使うことができます。
- 選択操作はマルチセクター(9ページ)でも行えます。

アサインボタン/ダイヤル

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインボタンが10個(6、9ページ)あります。グリップリモコンのアサインダイヤル(9ページ)と、本体のマルチファンクションダイヤルにも機能を割り当てることができます。アサインボタン1～3、7～9にはLEDが内蔵されており、割り当てられている機能の状態に応じて消灯/点灯(橙)します。

ボタンの機能を変更する

ProjectメニューのAssignable Button(96ページ)を使用します。

割り当てられた機能は、アサインボタンステータス画面(16ページ)で確認することができます。

工場出荷時にアサインボタンに割り当てられている機能

ボタン1	S&Q Motion
ボタン2	Off
ボタン3	Off
ボタン4	Focus Magnifier x3/x6
ボタン5	Direct Menu
ボタン6	Off
ボタン7	Off
ボタン8	Off
ボタン9	Off
ボタン10	Focus Magnifier x3/x6

Focus Holdボタン Focus Hold

割り当てられる機能

機能によっては、状態に応じてアサインボタン(1～3、7～9)の番号が点灯します。
— : 点灯しない

機能	LED点灯条件
Off	—
Base ISO/Sensitivity	—
AGC	Onで点灯
Push AGC	機能が動作している間だけ点灯
ND Filter Position	—
Auto ND Filter	Onで点灯
Push Auto ND	機能が動作している間だけ点灯
Auto Iris	Onで点灯
Push Auto Iris	機能が動作している間だけ点灯
Auto Shutter	Onで点灯

機能	LED点灯条件
Auto Exposure Level	—
Backlight	バックライトモード時に点灯
Spotlight	スポットライトモード時に点灯
Preset White Select	—
ATW	Onで点灯
ATW Hold	Onで点灯
AF Speed/Sens.	—
Focus Zero Marker	—
Focus Setting	—
Focus Area	—
Focus Area(AF-S)	—
Face/Eye Detection AF	顔/瞳検出AFが有効なときに点灯
Push AF Mode	—
Push AF/Push MF	機能が動作している間だけ点灯
Focus Hold	機能が動作している間だけ点灯
Focus Magnifier x3/x6	Off以外(3倍/6倍)で点灯
Focus Magnifier x3	Onで点灯
Focus Magnifier x6	Onで点灯
S&Q Motion	Onで点灯
SteadyShot	Off以外(Active/Standard)で点灯
Crop Select	—
Rec	記録/タリーランプと連動して点灯または点滅
Picture Cache Rec	Onで点灯
Rec Review	レックレビュー中に点灯
Last Clip Del.	—
Shot Mark1	—
Shot Mark2	—
Clip Flag OK	—

機能	LED点灯条件
Clip Flag NG	—
Clip Flag Keep	—
Color Bars	Onで点灯
Tally [Front]	Onで点灯
CALL	Onで点灯
DURATION/TC/U-BIT	—
Display	—
Lens Info	Off以外(Meter/Feet)で点灯
Video Signal Monitor	Off以外(Waveform/Vector/Histogram)で点灯
Marker	Onで点灯
VF Adjust	—
VF Mode	モノクロ時に点灯
Gamma Display Assist	Onで点灯
Peaking	Onで点灯
Zebra	Onで点灯
Audio Monitor CH	—
Audio Mon. CH Switch	—
Thumbnail	—
Touch Operation	Onで点灯
Handle Zoom	—
NFC	—
Network Client Mode	Onで点滅 Connection Control Manager(CCM)に接続すると点灯
Auto Upload (Proxy)	OnまたはChunkで点灯
Direct Menu	—
User Menu	—
Menu	—

ダイヤルの機能を変更する

本体のマルチファンクションダイヤルと、グリップリモコンのアサインブルダイヤルの機能を変更することができます。

マルチファンクションダイヤルはProjectメニューのMulti Function Dial(98ページ)のDefault Functionで設定します。

工場出荷時にはOffが割り当てられています。

マルチファンクションダイヤルに割り当てられる機能

- Off
- IRIS
- ISO/Gain/EI
- Audio Input Level

[ご注意]

メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

アサインブルダイヤルはProjectメニューのAssignable Dial(98ページ)で設定します。工場出荷時にはIRISが割り当てられています。

アサインブルダイヤルに割り当てられる機能

- Off
- ISO/Gain/EI
- ND Filter
- IRIS
- Audio Input Level

割り当てられた機能は、アサインブルボタンステータス画面(16ページ)で確認することができます。

スロー&クイックモーション

記録フォーマット(93ページ)が下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット			フレームレート			
システム周波数	イメージャー スキャンモード	コーデック	ビデオフォーマット			
59.94/50	FFcrop 5K/ S35 4K	XAVC-I	4096×2160P	1-60		
			3840×2160P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
		XAVC-L	3840×2160P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
	FF 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120、150、180 ^{*1}		
			XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120	
			S35 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120
		XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120		
			S16 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120、150、180 ^{*1}
			XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120	
29.97/25/23.98	FF 6K	XAVC-I	4096×2160P	1-30		
			3840×2160P	1-30		
			1920×1080P	1-30		
		XAVC-L	3840×2160P	1-30		
			1920×1080P	1-30		
			1920×1080P	1-30		
	FFcrop 5K/ S35 4K	XAVC-I	4096×2160P	1-60		
			3840×2160P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
		XAVC-L	3840×2160P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
			1920×1080P	1-60		
FF 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120、150、180 ^{*2}			
		XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120		
		S35 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120	
	XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120			
		S16 2K	XAVC-I	1920×1080P	1-60、100、120、150、180 ^{*2}	
		XAVC-L	1920×1080P	1-60、100、120		

記録フォーマット				フレームレート
システム周波数	イメージャー スキャンモード	コーデック	ビデオフォーマット	
24	FF 6K	XAVC-I	4096×2160P	1-30
	FFcrop 5K/ S35 4K	XAVC-I	4096×2160P	1-60

*1 システム周波数が59.94のときのみ選択可能。

*2 システム周波数が29.97/23.98のときのみ選択可能。

記録フォーマット				フレームレート
システム周波数	イメージャー スキャンモード	コーデック	RAWフォーマット	
59.94/50	FFcrop 5K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3} / RAW&XAVC-L ^{*3}	4096×2160	1-60
			4096×2160	1-60
			3840×2160	1-60、100、120
	S35 4K	RAW	4096×2160	1-60
			3840×2160	1-60、100、120
			4096×2160	1-60
	FF 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120、 150、180 ^{*1}
			2048×1080	1-60、100、120
			2048×1080	1-60、100、120
	S35 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3} / RAW&XAVC-L ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120
			2048×1080	1-60、100、120
	S16 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120、 150、180 ^{*1}
2048×1080			1-60、100、120	

記録フォーマット				フレームレート
システム周波数	イメージャー スキャンモード	コーデック	RAWフォーマット	
29.97/25/23.98	FF 6K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3} / RAW&XAVC-L ^{*3}	4096×2160	1-30
			4096×2160	1-60
			4096×2160	1-60
	FFcrop 5K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3} / RAW&XAVC-L ^{*3}	4096×2160	1-60
			4096×2160	1-60
			3840×2160	1-60、100、120
	S35 4K	RAW	4096×2160	1-60
			3840×2160	1-60、100、120
			4096×2160	1-60
	FF 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120、 150、180 ^{*2}
			2048×1080	1-60、100、120
			2048×1080	1-60、100、120
S35 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3} / RAW&XAVC-L ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120	
		2048×1080	1-60、100、120	
S16 2K	RAW/ RAW&XAVC-I ^{*3}	2048×1080	1-60、100、120、 150、180 ^{*2}	
		2048×1080	1-60、100、120	
		2048×1080	1-60、100、120	
24	FF 6K	RAW	4096×2160	1-30
			4096×2160	1-60
			4096×2160	1-60

*1 システム周波数が59.94のときのみ選択可能。

*2 システム周波数が29.97/23.98のときのみ選択可能。

*3 ビデオフォーマットは1920×1080になります。

S&Q Motionが割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押すと、スロー&クイックモーションモードをOn/Offできます。
ボタンを長押しすると、撮像時のフレームレートを設定できます。

[メモ]

ShootingメニューのS&Q Motionやメインステータス画面のS&Q Frame Rate、プロジェクトステータス画面のRec Functionでも設定可能です。

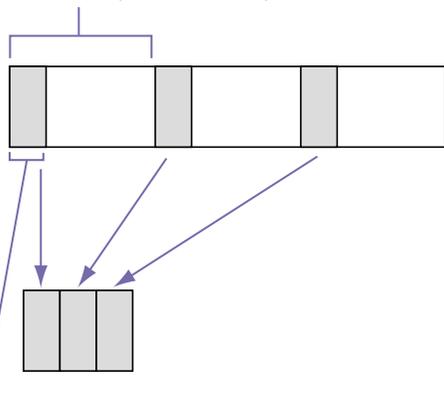
[ご注意]

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートフォーカス機能とオートアイリス機能、オートシャッター機能が無効になります。
- RAW出力の使用方法は58ページをご覧ください。

間欠的に映像を記録する(インターバルレック機能)

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。記録を開始すると、設定したフレーム数(Number of Frames)分の映像を、任意のインターバル(Interval Time)で自動記録できます。

撮影の間隔(Interval Time)



1回に記録する画像フレーム数
(Number of Frames)

インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトHVL-LBPC(別売)を自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます(プリライティング機能)。

[ご注意]

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、サムネイル画面表示中にインターバル

レックの設定を変更することはできません。

設定するには

ProjectメニューのInterval Rec(95ページ)でSettingをOnに設定し、Number of FramesとInterval Timeを設定してください。ビデオライトHVL-LBPC(別売)を使用する場合は、必要に応じてProjectメニューのInterval RecのPre-Lightingで記録開始前のビデオライト点灯時間を設定してください。

[メモ]

プロジェクトステータス画面のRec Functionでも設定可能です。

[ご注意]

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、ビデオライトのスイッチをAUTOに設定してください。このときTechnicalメニューのVideo Light Set(116ページ)の設定に従ってビデオライトが自動点灯/消灯します。
- ビデオライトのスイッチをONに設定すると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)
- 各設定により消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは消灯しません。

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、Number of Frames、Interval Time、Pre-Lightingの設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

撮影するには

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、ビューファインダー画面上に「Int●Rec」と「Int●Stby」が交互に表示されます。プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOffにする。
 - 記録待機中に、ProjectメニューのInterval RecのSettingをOffに設定する。
- また、本機が再起動した場合もインターバルレックモードは解除されます。

記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOffにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット(最大10秒)が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

数秒前の映像から記録する(ピクチャーキャッシュレック機能)

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、撮影している映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始以前にさかのぼって映像をXQDメモリーカードに記録することができます。ProjectメニューのPicture Cache RecのSetting*(96ページ)をOnに設定します。ピクチャーキャッシュレックの蓄積時間は、ProjectメニューのPicture Cache RecのCache Rec Time(96ページ)で設定できます。

* ステータス画面でも設定可能。

対応記録フォーマットについて

コーデック	ビデオフォーマット	システム周波数	キャッシュ時間[秒]
XAVC-I	4096×2160P	59.94	0-4 s
		50	
		29.97	
		25	0-4/ 4-8 s
		23.98	
		24	
		59.94	0-4 s
		50	
	3840×2160P	29.97	
		25	0-4/ 4-8 s
		23.98	
		23.98	

コーデック	ビデオフォーマット	システム周波数	キャッシュ時間[秒]
XAVC-I	1920×1080P	59.94	0-4/ 4-8 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
	1920×1080i	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
XAVC-L	3840×2160P	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24 s

コーデック	ビデオフォーマット	システム周波数	キャッシュ時間[秒]
XAVC-L	1920×1080P 50	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
	1920×1080i 50	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
1920×1080i 35	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
1920×1080i 25	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	
	50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s	

コーデック	ビデオフォーマット	システム周波数	キャッシュ時間[秒]
MPEG HD422	1920×1080i 50	59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		29.97	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		25	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		23.98	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		59.94	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s
		50	0-4/ 4-8/ 8-12/ 12-16/ 16-20/ 20-24/ 24-28 s

[ご注意]

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/Mediaメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます(105ページ)。
- ピクチャーキャッシュレック中はOutput Formatの設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをOffにしてから変更操作を行ってください。

撮影前の設定

あらかじめProjectメニューのPicture Cache Rec(96ページ)で設定を行ってください。

アサインボタン(47ページ)にPicture Cache Rec機能を割り当てて、ボタン操作でSettingのOn/Offを切り替えることもできます。設定を完了すると、ビューファインダー画面上に「●」(●は緑)が点灯します。

ピクチャーキャッシュレックを実行する

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からXQDメモリーカードに書き込まれます。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

ProjectメニューのPicture Cache RecでSettingをOffにするか、Picture Cache Rec機能を割り当てたアサインボタンを押します。

[ご注意]

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。したがって、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- XQDメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、XQDメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録するには(2スロット同時記録)

ProjectメニューのSimul RecのSetting*をOnにすると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

* ステータス画面でも設定可能。

[ご注意]

スロー&クイックモーションモード(91ページ)やピクチャーキャッシュレックモード(96ページ)のときは同時記録できません。また、次の記録フォーマット(93ページ)では同時記録できません。

XAVC-I

ビデオフォーマット

4096 × 2160P、3840 × 2160P

XAVC-L

ビデオフォーマット

4096 × 2160P、3840 × 2160P

録画START/STOPボタンと ハンドル録画START/STOP ボタンの設定を変える

同時記録に設定しているとき、録画START/STOPボタンとハンドル録画START/STOPボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- “Rec Button [SlotA SlotB] Handle Rec Button [SlotA SlotB]”

それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、SDI/HDMI Rec Controlは、スロットAの記録状態に従います。

設定を変えるには

ProjectメニューのSimul RecのRec Button Setを選択します。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
“Rec Button [SlotA SlotB] Handle Rec Button [SlotA SlotB]”	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
“Rec Button [SlotA] Handle Rec Button [SlotB]”	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
“Rec Button [SlotB] Handle Rec Button [SlotA]”	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

4K & HD (Sub)記録

1枚のXQDメモリーカードに、4K(QFHD)の映像をメインクリップ、事前編集などに活用できるMPEG HD422の映像をサブクリップとして、同時に記録することができます。

4K & HD (Sub)記録に使用できるXQDメモリーカードの記録フォーマットは、以下のとおりです。サブクリップの記録フォーマットは、メインクリップのシステム周波数によって決まります。

メインクリップ記録フォーマット	システム周波数	サブクリップ記録フォーマット
• XAVC-I 4096×2160P	29.97/25/23.98	MPEG HD422 1920×1080P
• XAVC-I 3840×2160P		
• XAVC-L 3840×2160P	59.94/50	MPEG HD422 1920×1080i

[メモ]

ThumbnailメニューのCopy Sub Clip(112ページ)で、サブクリップを別メディアにメインクリップとしてコピーすることができます。

映像信号モニター

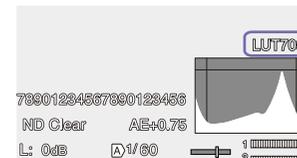
MonitoringメニューのDisplay On/OffのVideo Signal Monitor(108ページ)で、ビューファインダー画面に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムのいずれかに設定できます。

本機の映像信号モニターは映像出力の経路上で映像信号を計測するため、記録映像に対して出力映像がエッジクランプされている場合、切り取られた部分の信号成分は計測されません。このとき、映像信号モニターの左上に「EC」が表示されます。



モニター対象の表示

Cine EIモードのときは、モニター対象を示す情報として、色域設定(27ページ)またはモニターLUTの設定(91ページ)が映像信号モニターの右上に表示されます。



ハイダイナミックレンジ(HDR) 撮影

ハイダイナミックレンジ(HDR)モードにすると、ダイナミックレンジを拡大し、BT.2020相当の色域で記録や出力を行うことができます。

ハイダイナミックレンジモードを設定する

ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode*(93ページ)でHDRを選択します。

* ステータス画面でも設定可能。

HLGの種類の設定

PaintメニューのHDR Paint SettingのHLG Look(101ページ)で、HDRモード時のHLGの種類を設定できます。

HLG Lookの設定	説明
Natural	ITU-R BT.2100(HLG)に準拠した特性があります。

HLG Lookの設定	説明
Live	ITU-R BT.2100(HLG)に準拠し、よりHDRの効果を引き出す特性があります。ただし、この設定を使用すると、ノイズレベルが上がることがあります。

ガンマ表示アシスト機能の設定

MonitoringメニューのGamma Display AssistのSetting*(109ページ)をOnにすると、ビューファインダーへの表示をHDRモードでの撮影のしやすさを考慮した表示にすることができます。

* ステータス画面でも設定可能。

ガンマ表示アシスト機能有効時にビューファインダーの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときにビューファインダーのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する

HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像をビューファインダーに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。

この表示方法を使用するには、ProjectメニューのHDR SettingのVF SDR Preview(95ページ)をOffにします。

HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換されたSDRを表示

いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。

HDRとSDRのゲイン差をSDR Gainで設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。この表示方法を使用するには次の設定を行います。

- 1 ProjectメニューのHDR SettingのVF SDR Preview(95ページ)をOnにする。
- 2 ProjectメニューのHDR SettingのSDR Gain(95ページ)で、HDRモード時のSDRゲイン値を調整する。

[メモ]

撮影後、SR Live Metadataを使用して表示をHDR映像からSDRに変換する場合、変換にSDR Gainが適用され、撮影時にビューファインダーで確認していた露出のSDR映像の表示に変換されます。

ユーザー 3D LUT

Cine EIモードのとき、RAW ViewerやBlackmagic Design Pty. Ltd.製DaVinci Resolveで生成される17格子または33格子のCUBEファイル(*.cube)を、SDカードまたはクラウドサービスから本機に読み込むことができます。

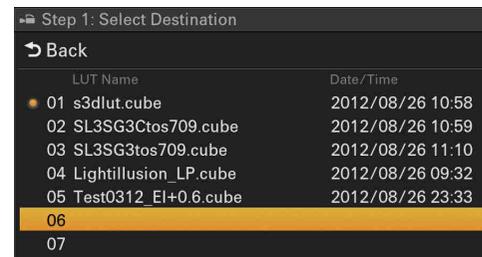
[ご注意]

生成されたユーザー 3D LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。
 \PRIVATE\SONY\PRO\LUT\

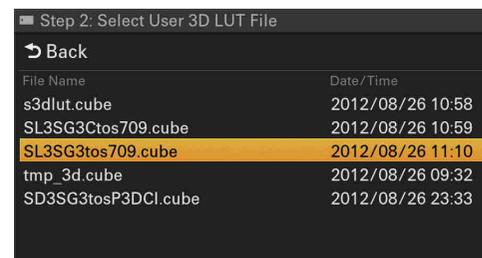
ユーザー 3D LUTを使用するには以下の操作が必要です。

SDカードから読み込む

- 1 SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ)に差し込む。
- 2 ShootingメニューのMonitor 3D LUTのLoad from Utility SD/MS(91ページ)を選択する。
- 3 読み込み先を選択する。
本機の内部メモリーに16個まで登録できます。



- 4 読み込むファイルを選択する。



- 5 OKを選択する。
選択したファイルが読み込まれます。

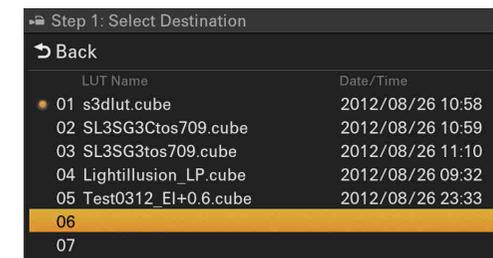
- 6 OKを選択する。

- 7 ShootingメニューのMonitor LUTのCategory(91ページ)でUser 3D LUTを選択する。

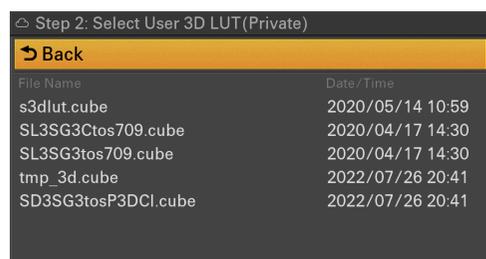
- 8 ShootingメニューのMonitor LUTのUser 3D LUT Select(91ページ)で使用したいユーザー 3D LUTを選択する。

クラウドサービスから読み込む

- 1 本機をスマートフォンアプリ「C3 Portal App」に接続する(69ページ)。
- 2 ShootingメニューのMonitor 3D LUTのLoad from Cloud(Private)またはLoad from Cloud(Share)(92ページ)を選択する。
- 3 読み込み先を選択する。
本機の内部メモリーに16個まで登録できます。



4 読み込むファイルを選択する。



5 OKを選択する。

選択したファイルが読み込まれます。

6 OKを選択する。

7 ShootingメニューのMonitor LUTのCategory(91ページ)でUser 3D LUTを選択する。

8 ShootingメニューのMonitor LUTのUser 3D LUT Select(91ページ)で使用したいユーザー 3D LUTを選択する。

デスクイーズ表示設定

シネマスコープサイズの映像コンテンツを制作する場合、アナモフィックレンズを使用して撮影します。

使用するアナモフィックレンズの倍率に合わせたデスクイーズ表示設定をすると、直接被写体を見たときと同じ縦横比に調整された映像をビューファインダー画面に表示することができます。

デスクイーズ表示は、MonitoringメニューのVF SettingのDe-Squeeze(109ページ)で設定します。

【ご注意】

De-Squeeze設定が1.3xまたは2.0xの場合は、ビューファインダー上にはのみマーカーが表示されます。映像出力には表示されません。また、MonitoringメニューのMarkerのAspect Select(108ページ)は2.39:1に固定されます。

ボタン操作で音声チャンネルを切り替える

AudioメニューのAudio Output > Monitor CH (111ページ)で設定した音声チャンネルの組み合わせを、アサインボタンで切り替えることができます。

内蔵スピーカーやヘッドホンから聞こえる音声チャンネルを選択して、各記録チャンネルに収録される音声を確認することができます。

Audio Monitor CHが割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押すと、以下のように音声チャンネルが切り替わります。

現在のMonitor CHの設定値	Audio Monitor CHで切り替え後の設定値
CH1/CH2	CH1
CH3/CH4	CH3
MIX ALL	対象外
CH1	CH2
CH2	CH1/CH2
CH3	CH4
CH4	CH3/CH4

Audio Mon. CH Switchが割り当てられたアサインボタンを押すと、以下のように音声チャンネルが切り替わります。

現在のMonitor CHの設定値	Audio Mon. CH Switchで切り替え後の設定値
CH1/CH2	CH3/CH4
CH3/CH4	CH1/CH2
MIX ALL	対象外
CH1	CH3
CH2	CH4
CH3	CH1
CH4	CH2

【メモ】

- Audio Monitor CHまたはAudio Mon. CH Switchのアサインボタンを押したとき、現在のMonitor CHの設定値がメッセージ表示されます。
- Monitor CHの設定値を変更する場合は、現在のMonitor CHの設定値が表示されている間にAudio Monitor CHまたはAudio Mon. CH Switchのアサインボタンを押します。
- Monitor CHがMIX ALLのときは、音声チャンネルは切り替わりません。

位置情報を取得する(GPS)

TechnicalメニューのGPSをOnに設定すると

が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

【ご注意】

- ハンドルにGPS受信機が内蔵されているため、ハンドル未装着時はTechnicalメニューでGPSをOnにできません。
- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

- GPS機能使用中に、ハンドルを握ると、測位精度に影響をおよぼすことがあります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取得できない。空の開けた場所に移動してください。
衛星探索中		衛星を探索中です。測位中になるまで数分かかります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

【メモ】

- 工場出荷時はGPSがOnになっています。Onにすると、GPSの測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

プランニングメタデータは「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用してネットワーク経由で送受信することもできます。

[ご注意]

- メディアスロットの蓋を開けると、ネットワーク経由でのプランニングメタデータ転送が中断されます。蓋を開けている間はプランニングメタデータの転送はできません。蓋を閉じると転送処理は再開されます。
- クリップ名やショットマーク名の定義には、MaintenanceメニューのLanguageのSelect(123ページ)で設定した言語のフォントセットを使用してください。本機の言語設定と異なる言語を使用すると、文字が正常に表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルと一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルの本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル(.xml)を保存したXQDメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、ProjectメニューのPlanning Metadata(99ページ)でLoad from Media(A)またはLoad from Media(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

exFAT: XDROOT/General/Sony/Planning

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

ProjectメニューのPlanning Metadata(99ページ)でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

ProjectメニューのPlanning Metadata(99ページ)でClear Memoryを選択し、Executeを選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式(44文字以下)で記述しています。「台風上陸」はUTF-8形式(44バイト以下)で記述しています。

「_{sp}」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">←
  <PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spmodifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Typhoon"spxml:lang="ja">台風上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

[ご注意]

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「_{sp}」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト(または44文字)です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

- 以下の文字はクリップ名の禁止文字のため、使用すると“_”に変換されます。禁止文字 “*/:<>?|\

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルの本機のメモリーに読み込み、TC/MediaメニューのClip Name FormatのAuto Naming(105ページ)で、Planを選びます。記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー (_) と5桁の通し番号(00001 ~ 99999)が付加された形式で自動生成されます。

例: 台風上陸_00001、台風上陸_00002、...

[ご注意]

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。

ASCII形式(32文字以下)、またはUTF-8形式(16文字以下)で記述します。

「_{sp}」はスペース、←は改行を表します。

[ご注意]

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
H00123"spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z"spversion=
"1.00">←
<PropertiessppropertyId=
"assignment"spclass="original"sp
update="2011-04-15T15:00:00Z"sp
modifiedBy="Chris">←
  <TitlespusAscii="Football
  Game"spxml:lang="ja">
  Football Game 15/04/2011
  </Title>←
    <Metaspname="_ShotMark1"sp
    content="Goal"/>←
    <Metaspname="_ShotMark2"sp
    content="Shoot"/>←
  </Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

[ご注意]

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「_{sp}」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータファイルを転送する

プランニングメタデータファイルは、オリジナルファイルまたはプロキシファイルと一緒に転送することができます。

ProjectメニューのProxy RecのSetting (95ページ) をOnに設定しSDカードにプロキシ記録を行うことで可能になります。

プロキシ記録については「プロキシ記録をする」(57ページ)、オリジナルファイル、プロキシファイルの転送については「ファイルを転送する」(65ページ) をご覧ください。

[ご注意]

以下の場合、プランニングメタデータファイルは転送されません。

- Media Fullにより記録が停止した場合
- 記録中にSLOT SELECTを押したり、残量がなくなってメモリーカードが切り替わった場合
- クリップの最大時間まで記録してクリップが分かれた場合

プロキシ記録をする

XQDメモリーカードに記録すると同時に、プロキシデータをSDカードに記録することができます。

- ◆ 使用可能なSDカードや、SDカードのフォーマット方法、残容量の確認方法については「Utility SD/MSカードを使う」(32ページ)をご覧ください。

撮影前の設定

1 ProjectメニューのProxy Rec^oで、SettingをOnにする。

* ステータス画面でも設定可能。

2 SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ)に差し込む。

[ご注意]

プロキシ記録は、スロー&クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub)記録と同時にOnにすることはできません。プロキシ記録をOnにすると、スロー &クイックモーション以外の機能は強制的にOffになります。

プロキシ記録がOnのときにスロー &クイックモーションをOnにするとプロキシ記録が一時的にOffとなり、スロー &クイックモーションをOffにすると再びプロキシ記録がOnになります。

プロキシ記録で撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、録画START/STOPボタンを押すと記録を開始します。

[ご注意]

- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

XQDメモリーカードの記録と同時に、プロキシデータの記録も停止します。

プロキシ記録時の設定を変更する

映像のサイズを設定する

ProjectメニューのProxy RecのProxy Format(95ページ)で、映像のサイズを設定できます。

オーディオチャンネルを設定する

ProjectメニューのProxy RecのAudio Channel(95ページ)で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

プロキシファイルを分割記録し、転送する

オートアップロードの設定をChunkにしてプロキシファイルを分割記録すると、本線記録中でもプロキシファイルを転送することが可能になります。分割記録したプロキシファイルの転送については、「ファイルを自動転送する」(66ページ)をご覧ください。

1 Projectメニューで、Proxy Rec(95ページ)を選択する。

2 Chunkで、分割記録時間を選択する。
30s : 30秒単位でプロキシファイルを分割して記録します(初期設定値)。
1min : 1分単位でプロキシファイルを分割して記録します。
2min : 2分単位でプロキシファイルを分割して記録します。

3 NetworkメニューのFile Transferで、Auto Upload (Proxy)(122ページ)をChunkにする。

4 プロキシ記録を開始する。
設定した分割記録時間ごとにプロキシファイルが転送ジョブとしてジョブリストに登録されます。

[ご注意]

Auto Upload (Proxy)をChunkに設定しない場合、プロキシの分割記録は行われません。

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。
タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、「/PRIVATE/PXROOT/Clip」のディレクトリーに保存されます。

ファイル名について

XQDメモリーカードに記録されるクリップ名+連番です。

2スロット同時記録のときは、Slot Aのクリップ名が優先されます。

連番は電源を切っても保存されます。All Resetを実行すると、0001に戻ります。

クリップ名については、TC/MediaメニューのClip Name Format(105ページ)をご覧ください。

RAW動画を記録する

本機に取り付けたXDCA-FX9(別売)のRAW OUT端子から出力したRAW動画信号を、対応する外部レコーダーに記録できます。

- 1 外部RAWレコーダーを、本機に装着したXDCA-FX9のRAW OUT端子に接続する。
- 2 ProjectメニューのBase SettingのShooting Mode*でCine EIを選択する。
- 3 ProjectメニューのRec FormatのCodec*でRAWを選択する。
RAW & XAVC-Iなどを選ぶと、外部RAWレコーダーでの記録と同時に、本機のXQDメディアにHDの動画を記録することができます。
- 4 ProjectメニューのRec FormatのImager Scan Mode*で画角と解像度を選択する。
- 5 外部レコーダーの電源が入っていることを確認し、本機の録画START/STOPボタンを押す。

[ご注意]

本機の録画START/STOPボタンを使わずに外部レコーダーで録画操作を行うと、正常に記録されない場合があります。

[メモ]

*印が付いている機能はステータス画面でも設定可能です。

サポートをしているRAW出力フォーマットは以下のとおりです。

Project>Rec Format				
Frequency	Codec	Imager Scan Mode	RAW Output Format	
59.94/50	RAW	FFcrop 5K	4096×2160	
		S35 4K	4096×2160/ 3840×2160	
		FF 2K/ S35 2K/ S16 2K	2048×1080	
29.97/25/ 23.98	RAW	RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FFcrop 5K/ S35 4K	4096×2160
		RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FF 2K/ S35 2K/ S16 2K	2048×1080
		RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FF 6K/ FFcrop 5K/ S35 4K	4096×2160/ 3840×2160
24	RAW	RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FF 2K/ S35 2K/ S16 2K	2048×1080
		RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FF 6K/ FFcrop 5K/ S35 4K	4096×2160
		RAW & XAVC-I/ RAW & XAVC-L/ RAW & MPEG HD 422	FF 6K/ FFcrop 5K/ S35 4K	4096×2160

記録制御状態表示

MonitoringメニューのDisplay On/Off(107ページ)で、RAW Output Control StatusがOnに設定されている場合は、ビューファインダー画面にRAW動画の記録制御状態がアイコンで表示されます。

[ご注意]

本機はRAW OUT端子から記録制御信号を出力しますが、外部レコーダーの状態を取得することはできません。そのため、本機でRAW動画の記録中と表示していても、実際に記録していないことがあります。正確な動作状態は外部レコーダー上の表示で確認してください。

[メモ]

RAW Output Formatの設定値も表示されます。

スロー&クイックモーション記録

ShootingメニューのS&Q Motionで、SettingがOnに設定されている場合は、スロー&クイックモーションモードでRAW動画を記録します。撮影可能なフレームレートは48ページをご覧ください。

デバイスとLAN接続する

本機の内蔵LAN機能を使用して、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をLAN接続することができます。

LAN接続されたデバイスと本機の間では、Webリモコン(71ページ)や「Content Browser Mobile」アプリケーションなどを用いて、以下の操作が可能です。

- プランニングメタデータ(54ページ)
デバイスと本機でプランニングメタデータを送受信できます。
あらかじめ作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名を指定することができます。
- LAN経由でのリモート操作
本機とLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューター、リモートコントロールパネルから本機をリモート操作することができます。
- LAN経由でのファイル転送
本機のSDカードに記録されたプロキシファイル(低解像度)や本機で記録したオリジナルファイル(高解像度)を、LAN経由でサーバーに転送することができます。
- LAN経由での映像をモニタリング
本機のカメラ映像や再生映像からストリーム(H.264)を作成し、「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってデバイスから映像をモニタリングすることができます。

「Content Browser Mobile」アプリケーション

デバイスの画面で本機の映像をモニタリングしながら、リモート操作や本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

◆ 「Content Browser Mobile」アプリケーションについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

ソニーのQoS 技術を用いた高品質なストリーミング(67ページ)

ソニー製ネットワークRXステーション(別売)またはC3 Portal*のConnection Control Manager (CCM) と本機をネットワーククライアントモードで接続して使用すると、高品質なストリーミングをすることができます。

- * C3 Portalは、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域についてC3 Portalのサイトをご確認ください。
<https://www.c3p.sony.net>
また、C3 Portalのプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。
- 利用規約
https://www.c3p.sony.net/site/tos_eu.html
 - C3 Portalのプライバシーポリシー
https://www.c3p.sony.net/site/c3p_privacy_policy.html
 - プロフェッショナルIDのプライバシーポリシー
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
- 詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

ユーザー名とパスワードを設定する

ネットワーク機能をご利用の際は、まず本機にユーザー名とパスワードを設定してください。

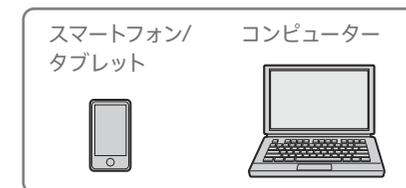
- 1 NetworkメニューのAccess AuthenticationのUser Name(118ページ)を設定する。
- 2 NetworkメニューのAccess AuthenticationのPassword(118ページ)を設定する。

【メモ】

手入力(Input Password)または自動生成(Generate Password) を選べます。

ワイヤレスLANアクセスポイントモード(Access Pointモード)で接続する

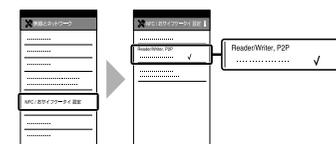
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN 接続します。



NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。

- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。

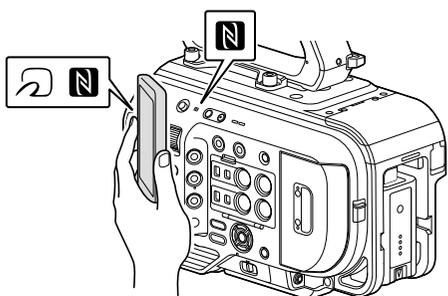


2 本機の電源を入れる。

3 NFC機能を有効にする。
NFCを割り当てたアサインボタンを長押し(3秒間)するか、NetworkメニューのWireless LANのNFCを実行して、NFC接続モードにしてください。

画面に **N** が表示されているときのみNFC機能を使用できます。

4 本機とデバイスをタッチする。
デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



[ご注意]

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応しています。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。

WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。

2 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。

3 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択して接続する。

[ご注意]

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
- 本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode SettingsのCamera SSID & Password(118ページ) で表示してご確認ください。

5 Webリモコンを表示する(71ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。

2 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

3 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。
本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode SettingsのCamera SSID & Password(118ページ) でご確認ください。

[ご注意]

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

4 Webリモコンを表示する(71ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

ワイヤレスLANステーションモード(Stationモード)で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。接続履歴はALLファイルに保存されますが、アクセスのパスワードは保存されないため、ALLファイル読み込み後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
 - 2 本機の電源を入れる。
 - 3 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Station Modeを選択する。
 - 4 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
 - 5 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。接続が完了すると、ビューファインダー画面のネットワーク状態表示のアイコンが強度1以上で点灯します。
- [ご注意]**
接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。
- 6 デバイスをアクセスポイントに接続する。接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。
 - 7 Webリモコンを表示する(71ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

ネットワーク自動検出または手動でアクセスポイントに接続する

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができます。このときネットワーク自動検出機能を使用して、接続したいアクセスポイントを検出し、接続設定することができます。

ネットワーク自動検出機能を使用して接続する

- 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(61ページ)の手順1～3を行う。
- 2 NetworkメニューのST Mode SettingsのScan Networks(119ページ)で、Executeを選択する。本機が接続先の検出を開始します。接続先の候補が見つかったら一覧表示されます。
- 3 一覧から接続先を選択する。ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面が表示されます。SSIDには選択した接続先が表示されます。
- 4 Passwordを選択し、パスワード入力画面でパスワードを設定する。接続履歴にあるSSIDを選択すると、パスワードを含んだ設定値が自動的に設定されます。パスワードを設定したら、ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面に戻ります。

5 以下の接続設定を行う。

- DHCP
DHCPを設定します。Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet Mask
本機のサブネットマスクを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
アクセスポイントのセカンダリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

6 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

手動で入力して接続する

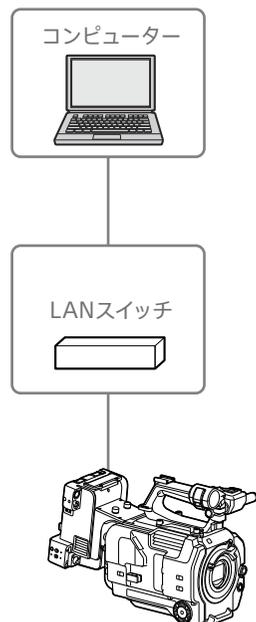
- 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(61ページ)の手順1～3を行う。
- 2 NetworkメニューのST Mode SettingsのManual Register(120ページ)で、Executeを選択する。決定すると、ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面が表示されます。
- 3 以下の接続設定を行う。
 - SSID
接続先のアクセスポイントのSSIDを入力します。
 - Security
暗号化方式を選択します。
 - Password
接続先のアクセスポイントのパスワードを入力します。
 - DHCP
DHCPを設定します。Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
 - IP Address
本機のIPアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
 - Subnet Mask
本機のサブネットマスクを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
 - Gateway
ゲートウェイのアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

- 4 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

LANケーブルを使用してデバイスと接続する

本機に取り付けたXDCA-FX9(25ページ)の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続することによって、デバイスと接続することができます。



LANケーブルの接続と有線LAN設定

- 1 XDCA-FX9の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続する。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NetworkメニューのWired LANのSetting(120ページ)をOnに設定する。

- 4 NetworkメニューのWired LANのDetail Setting(120ページ)で、接続設定を行う。

- DHCP
DHCPを設定します。
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet Mask
本機のサブネットマスクを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
ゲートウェイのアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

- 5 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

[ご注意]

接続設定を変更した場合、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

インターネット接続する

本機は、モデム、ワイヤレスLAN、有線LANでインターネットに接続することができます。

モデムを使用して接続する

本機にXDCA-FX9(25ページ)を取り付け、モデム(別売)をXDCA-FX9に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。

また、複数のモデムを同時に取り付けて使用することにより、ネットワーククライアントモードでの高品質なストリーミングを、2回線を使用した、より高品質かつ冗長性を持ったストリーミングとすることができます。

本機に対応しているモデムについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

[ご注意]

モデムは、有線LANと同時に使用できません。

モデムをXDCA-FX9に取り付ける

XDCA-FX9のUSB端子(A型)に、USB規格に合うモデムを取り付けます。両方の端子にモデムを取り付けて、2台同時に使用することもできます。

[ご注意]

モデムの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

ネットワークに接続する

1 本機の電源を入れる。

2 NetworkメニューのModemで、SettingをOnに設定する。

設定を有効にするために他の設定を変更する必要がある場合は、機能選択画面が表示されます。画面の指示に従って設定を選んでください。

[ご注意]

3G/4G回線に接続するまでに時間がかかる(1分程度)場合があります。ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(11ページ)のモデムアイコンが強度1以上で点灯するまでお待ちください。

USBテザリングを使用して接続する

本機に装着したXDCA-FX9とスマートフォンをUSBケーブルで接続し、スマートフォンの回線を使用してインターネットに接続できます。

スマートフォンを本機に取り付ける

USBケーブルを介してスマートフォンを本機に取り付けたXDCA-FX9のUSB端子(A型)(4ページ)に接続します。

[ご注意]

- スマートフォンの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- USBハブを介してスマートフォンを取り付けた場合、USBテザリングは使用できません。

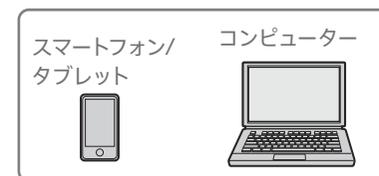
ネットワークに接続する

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 NetworkメニューのModemで、SettingをOnに設定する。
設定を有効にするために他の設定を変更する必要がある場合は、機能選択画面が表示

されます。画面の指示に従って設定を選んでください。

ワイヤレスLANステーションモード(Wi-Fi Stationモード)で接続する

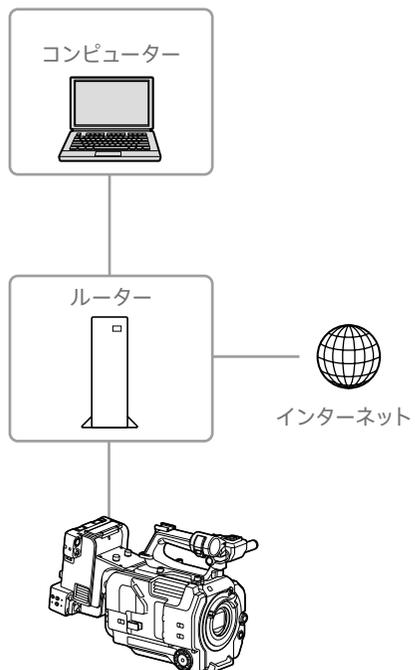
ワイヤレスLANルーター(別売)またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fiステーションモードでインターネットに接続することができます。



ワイヤレスLANルーターまたはデバイスへは、「ワイヤレスLANステーションモード(Stationモード)で接続する」(60ページ)の手順で接続します。

LANケーブルを使用して接続する

本機に取り付けたXDCA-FX9(25ページ)の有線LAN端子とインターネットルーターをLANケーブルで接続することによって、インターネットに接続することができます。



インターネットルーターへは「LANケーブルを使用してデバイスと接続する」(62ページ)の手順で接続します。

ファイルを転送する

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを、3G/4G回線やアクセスポイント経由で接続したインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

[ご注意]

- メディアスロットの蓋を開けると、ネットワーク経由でのファイル転送は中断されます。蓋を開けている間はファイル転送はできません。蓋を閉じると転送処理は再開されます。
- ファイル転送中に再生を行うと、再生画が乱れることがあります。

準備する

ネットワークに接続する

「インターネット接続する」(63ページ)または「デバイスとLAN接続する」(59ページ)の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

ファイルの転送先を登録する

あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

- 1 NetworkメニューのFile Transferで、Server Settings1(またはServer Settings2、Server Settings3)を選択する。転送先設定画面が表示されます。

- 2 転送先設定画面の各項目を設定する。

Display Name

転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。

Service

サーバーの種類を表示します。
「FTP」:FTP サーバー

Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

Port

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

Destination Directory

転送先ディレクトリー名を入力します。

[ご注意]

- 編集時、編集不可能な文字は“□”で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。
- 転送先サーバーで使用できない文字をDestination Directoryに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

Root Certificate

証明書の読み込みや消去を行います。

- Load
手順3でSetを選択すると、CA証明書を読み込みます。
- * 読み込む証明書はPEM形式で、Utility SDカードのルートディレクトリーに“certification.pem”のファイル名で書き込んでおいてください。

- Clear
手順3でSetを選択すると、CA証明書をクリアします。
- None
読み込み/消去を行いません。

[ご注意]

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CA証明書をLoad/Clearすることはできません。

Root Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

Reset

Server Settingsの設定を初期値に戻します。

- 3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。
設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

Webリモコンの「転送先のサーバーを登録する」(72ページ)でもサーバーを登録できます。

ファイルを選んで転送する

本機のSDカードに記録したファイル、XQDメモリーカードのオリジナルファイルをサーバーに転送します。

転送は、Webリモコンで行うこともできます。詳しくは、「ファイルの転送」(Slot A、Slot B、Slot SD/MS)」(73ページ)をご覧ください。

サムネイル画面からSDカードのプロキシファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する(59ページ)。
- 2 ThumbnailメニューのTransfer Clip (Proxy)で、Select Clipを選択する。画面がセットアップメニューからサムネイル画面に変わります。
転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。
- 3 転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。
転送実行の確認画面が表示されます。
- 4 Executeを選択する。
選択したファイルに対応するプロキシファイルが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

- 5 OKを選択する。

ファイルを一括転送するには

手順2でSelect Clipではなく、All Clipsを選択するとファイルに対応するプロキシファイルが一括転送されます。

[ご注意]

転送できるファイルの上限は200件です。

サムネイル画面からXQDメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する(59ページ)。
- 2 ThumbnailメニューのTransfer Clipで、Select Clipを選択する。
画面がセットアップメニューからサムネイル画面に変わります。
転送操作は、サムネイル画面またはフィルタークリップサムネイル画面で行えます。
- 3 転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。
転送実行の確認画面が表示されます。
- 4 Executeを選択する。
選択したファイルが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
- 5 OKを選択する。

ファイルを一括転送するには

手順2でSelect Clipではなく、All Clipsを選択するとファイルが一括転送されます。

[ご注意]

転送できるファイルの上限は200件です。

ファイル転送の確認をする

NetworkメニューのFile TransferでView Job List(122ページ)を選択すると、ファイル転送の状態を確認することができます。

SD Card、Slot AまたはSlot B画面のJob Listを選択して表示されるJob List画面でもファイル転送の状態を確認することができます(74ページ)。

[メモ]

- Webリモコンの画面からファイル転送の状態を確認することもできます。
- NetworkメニューのFile TransferでAuto Upload(122ページ)またはAuto Upload(Proxy)(122ページ)をOnに設定すると、ネットワーク接続状態の場合、記録終了時にDefault Upload Server(122ページ)で設定されたサーバーに対して自動的にオリジナルファイルやプロキシファイルを送信します。オリジナルファイルとプロキシファイルの両方を自動転送設定している場合には、プロキシファイルが優先して自動転送されます。

[ご注意]

- 転送ジョブは200件まで登録可能です。
- ジョブリストは本機の電源を切っても保持されますが、POWERスイッチをSTANDBYにせずにバッテリーパックを取り外すなどして電源を切った場合には、最大で10分間程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリスト上に保存されません。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

ファイルを自動転送する

オリジナルファイルを自動転送する

記録終了時にオリジナルファイルを指定したサーバーに転送します。この機能を有効にするには、NetworkメニューのFile TransferでAuto Upload(122ページ)をOnに設定します。

プロキシファイルを自動転送する

記録終了時にプロキシファイルを指定したサーバーに転送します。この機能を有効にするには、NetworkメニューのFile TransferでAuto Upload(Proxy)(122ページ)をOnに設定します。

また、Auto Upload(Proxy)をChunkに設定すると、プロキシファイルを分割記録して、記録継続中でも指定したサーバーに順次転送することができます。分割記録したプロキシファイルの自動転送は、他のファイル転送ジョブよりも優先されて行われます。

設定方法については、「プロキシファイルを分割記録し、転送する」(57ページ)をご覧ください。

[メモ]

Auto UploadとAuto Upload(Proxy)がいずれもOnに設定されている場合はプロキシファイルを優先して転送します。ただし、ネットワークの状況によっては順番が入れ替わることがあります。

セキュアなFTP転送を行うには

ファイル転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード(FTPES)を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、Using Secure ProtocolをONに設定し、証明書の読み込みを行います。設定方法については、「ファイルの転送先を登録する」(65ページ)をご覧ください。

ネットワーククライアントモードを使用する

ネットワーククライアントモードを有効にし、本機とソニー製ネットワークRXステーション(別売)のConnection Control Manager(以降「CCM」)またはC3 Portalを接続して使うことで、高品質なストリーミングが可能になります。

ネットワーククライアントモードの接続先を設定する

ネットワーククライアントモードの接続先は、NCM Settingsとして3つまで設定できます。

1 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、NCM Settings1(またはNCM Settings2、NCM Settings3)を選択する。ネットワーククライアントモードの接続先設定画面が表示されます。

2 接続先設定画面の各項目を設定する。

Display Name

NCM Settingsのメニュー上の表示名を設定します。

CCM Address

接続先のCCMのアドレスを入力します(ホスト名またはIPアドレス)。

CCM Port

接続先のCCMのポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

CCM Certificate

CCMおよびC3 Portalに接続する場合は、CCMルート証明書が必要です。CCMルート

証明書は本機に内蔵されていて、更新もできます。CCMルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

- Load
手順3でSetを選択すると、証明書を読み込みます。
- * 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリに“CCM_certificate.pem”のファイル名で書き込んでおいてください。
- Clear
手順3でSetを選択すると、証明書を消去します。
- None
読み込み/消去を行いません。

[ご注意]

- CCMおよびC3 Portal接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50PまたはXAVC-I 4096×2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CCMおよびC3 Portal接続用の証明書をLoad/Clearすることはできません。

CCM Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

Camera Control

CCM接続時のカメラコントロール許可/不許可を設定します。

Camera Setting

CCM接続時のAll File操作の許可/不許可を設定します。

Reset

NCM Settingsの設定を初期値に戻します。

3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

4 NetworkメニューのNetwork Client ModeのNCM Settings Selectで、手順1～3で設定したNCM Settings1(またはNCM Settings2、NCM Settings3)を選択する。

ストリーミングの品質を設定する

高品質なストリーミングを行う場合は、NetworkメニューのNetwork Client ModeのStreaming Quality(121ページ)をHighに設定してください。Streaming QualityをNormalに設定すると通常品質になります。

[ご注意]

- 以下の場合はStreaming QualityをHigh(高品質)に設定できません。
 - ProjectメニューのProxy RecのSetting (95ページ) がOnのとき
 - Projectメニューの4K & HD (Sub) RecのSetting (95ページ) がOnのとき
 - ShootingメニューのFocusのFace/Eye Detection AF (90ページ) がOff以外のとき
- NetworkメニューのNetwork Client ModeのSetting (121ページ) がOnのとき、Streaming Qualityの変更はできません。

ネットワーククライアントモードで接続する

1 「インターネット接続する」(63ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

2 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、SettingをOnにする。ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションまたはC3 Portalと接続します。

ネットワークRXステーションの操作により、ライブストリーミングが開始されます。操作については、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはC3 Portalのヘルプをご覧ください。

なお、Network Client Modeが割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押すことでも、SettingをOn/Offできます。

[ご注意]

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - ShootingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
 - ProjectメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
 - ProjectメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- ネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリング(72ページ)はできません。
- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリングは停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にネットワーククライアントモードでのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。

- User NameとPasswordと証明書はALLファイルに保存されませんので、ALLファイルの読み込み後に再設定する必要があります。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中にSettingをOffにした場合は、ストリーミングが停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、NCM Settings SelectとNCM Settings Selectで選択されているNCM Settingsの内容は変更できません。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、有線LAN設定は変更できません。
- QoSストリーミング中にサムネイルや再生画面に遷移する際には、映像が一度停止します。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線Rec Formatによって変わります。
- USBテザリングを使用して接続している場合、QoSストリーミング中にスマートフォンを操作すると画像が乱れる場合があります。

ネットワーククライアントモードでファイルを転送する

ネットワークRXステーションのCCMと本機をネットワーククライアントモードで接続して、CCMで設定されたサーバーへファイル転送することができます。

- 1 CCMなどから転送したいファイルを選ぶ。
 - プロキシファイルを転送する場合
「SDカードのプロキシファイルを転送する」(73ページ)の手順1～4参照
 - オリジナルファイルを転送する場合
「XQDメモリーカードのオリジナルファイルを転送する」(74ページ)の手順1～4参照

[ご注意]

ネットワーククライアントモードでないときも、転送先を「NCM: RX Server」にできます。この場合は、転送は保留となり、ネットワーククライアントモードでCCMに接続後、CCMで設定されたサーバーへ転送を開始します。

C3 Portal Appを使用する

本機はスマートフォンアプリ「C3 Portal App」と連携して、クラウドサービス「C3 Portal」へのファイル転送を簡単に行うことができます。

あらかじめC3 Portalのアカウントを取得し、スマートフォンにC3 Portal Appをインストールしてください。

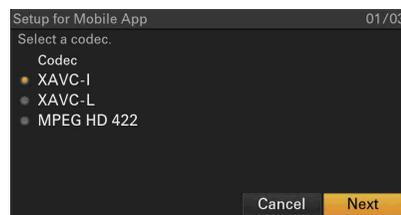
クラウドサービス「C3 Portal」のアカウント取得については、所属組織の管理者にお問い合わせください。

[ご注意]

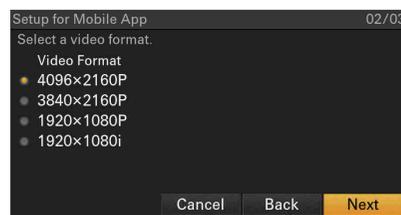
- 別売のXDCA-FX9が必要です。
- お住まいの地域によってはサービスを提供していない場合があります。
- C3 Portal Appの操作方法については、C3 Portal Appのヘルプをご覧ください。

本機とC3 Portalを接続する

- 1 NetworkメニューのSetup for Mobile Appで、Setup(118ページ)を選択する。コーデック選択画面が表示されます。ProjectメニューのRec FormatのCodec(93ページ)がRAW以外の場合は、手順4の画面が表示されます。
- 2 コーデックを選択し、Nextを選択する。ProjectメニューのRec FormatのCodecがRAWに設定されていると、USBテザリングでネットワークに接続することができます。手順2～3の設定でコーデックとビデオフォーマットを変更してください。

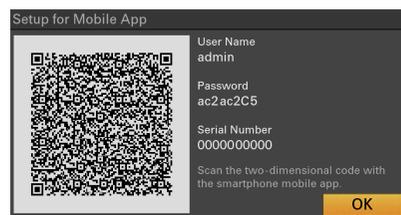


- 3 ビデオフォーマットを選択し、Nextを選択する。



設定内容の確認画面が表示されます。

- 4 設定内容を確認してOKを選択する。設定が開始されます。設定中は「Changing...」のメッセージが表示されます。設定が正常に終了すると、ビューファインダーに次の画面が表示されます。



[メモ]

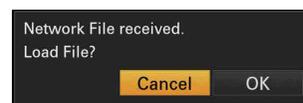
本画面は映像出力へ出力されません。

[ご注意]

パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。

- 5 スマートフォンでC3 Portal Appを実行し、クラウドサービスにサインインする。
- 6 本機に取り付けたXDCA-FX9のUSB端子(A型)とスマートフォンを、USBケーブルで接続する。
- 7 スマートフォンの画面でUSBテザリングを有効にする。お使いのスマートフォンにより、操作が異なります。スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

- 8 C3 Portal Appの画面の指示に従って、ビューファインダーに表示されたQRコードを撮影する。スマートフォンから本機へファイル転送の設定情報が送られ、以下のメッセージが表示されます。



[メモ]

2回目以降の接続時には、ファイル転送のメッセージは表示されない場合があります。

- 9 OKを選択する。設定の読み込みが開始されます。設定の読み込みが正常に終了すると、「Network File loaded.」のメッセージが表示されます。

[メモ]

- 本機が送信したファイルは、C3 Portal AppでキャッシュされながらC3 Portalへ転送されます。本機のファイル転送状態表示は、C3 Portal Appへの転送状況を示しています。

- 本機からスマートフォンのC3 Portal Appへファイル転送が終了した後は、本機の電源を切ることができますが、スマートフォンからのファイル転送は継続している場合があります。スマートフォンの電池残量にはご注意ください。

[ご注意]

- C3 Portal Appは、本機のNetworkメニューのFile Transfer(122ページ)の設定を書き換えます。
- Root Certificateは自動では設定できません。手動で設定してください。

オリジナルファイルを転送する

NetworkメニューのFile TransferのAuto Upload(122ページ)をOnにすると、オリジナルファイルをC3 Portalへ転送できます。記録を終了するたびに、C3 Portalのアカウントに紐づけされた場所へファイルが転送されます。

プロキシファイルを転送する

NetworkメニューのFile TransferのAuto Upload (Proxy)(122ページ)をOnにすると、プロキシファイルをC3 Portalへ転送できます。記録を終了するたびに、C3 Portalのアカウントに紐づけされた場所へファイルが転送されます。Auto Upload (Proxy)がChunkに設定されている場合は、記録開始後一定時間ごとに分割されたプロキシファイルが転送されます。

任意のファイルを転送する

「ファイルを選んで転送する」(65ページ)をご覧ください。

C3 Portalを使用したその他の機能

3D LUTファイルを管理する

C3 Portal側で保存された3D LUTファイルを本機に読み込むことができます。「クラウドサービスから読み込む」(53ページ)をご覧ください。

Allファイルを管理する

本機で作成したAllファイルをC3 Portalに保存したり、読み出したりして利用できます。

「Allファイルをクラウドサービスに保存する」(124ページ)、「Allファイルをクラウドサービスから読み込む」(124ページ)をご覧ください。

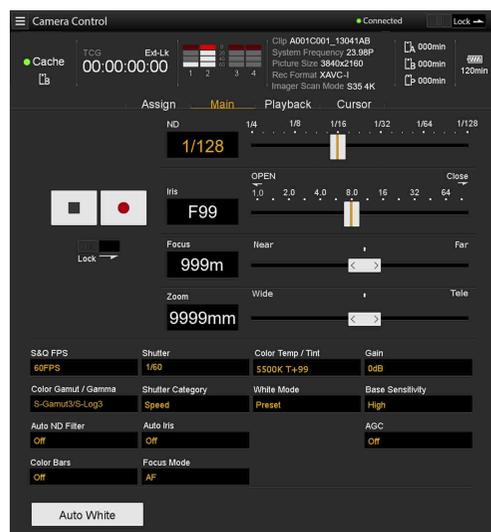
Webリモコンを使用する

ネットワーク接続時は、タブレットやコンピューターから、本機に内蔵されたWebリモコンにアクセスすることができます。

Webリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

Camera Control 画面

Main画面



- ステータス表示
- 記録開始・停止ボタン
- NDフィルタースライダー
- アイリススライダー
- フォーカススライダー
- ズームスライダー
- 撮影設定表示(撮影モード(27ページ)が「SDRモード」または「HDRモード」のとき) S&Q Frame Rate、Shutter、

Color Temp/Tint、Gain、Gamma、Shutter Category、White Mode、Base Sensitivity、Auto ND Filter、Auto Iris、AGC、Color Bars、Focus Mode、Auto White

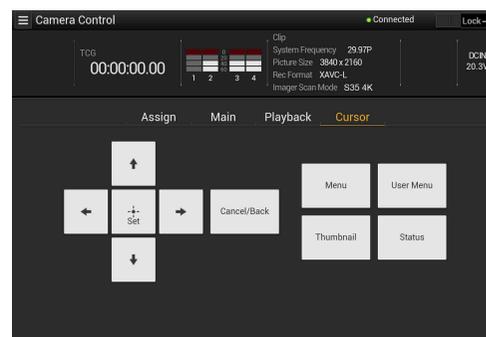
- 撮影設定表示(撮影モードが「Cine EIモード」のとき) S&Q Frame Rate、Shutter、Color Temp/Tint、Exposure Index、Color Gamut/Gamma、Shutter Category、White Mode、Base ISO、Auto ND Filter、Auto Iris、AGC、Color Bars、Focus Mode、Monitor LUT、Auto White

Playback画面



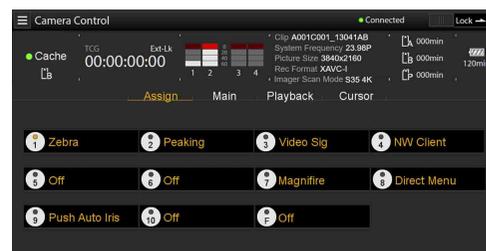
- ステータス表示
- 再生操作ボタン F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー/ステータス表示 Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、User Menu、Thumbnail、Status

Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示 アサインボタン1～10、Focus Holdボタン

Webリモコンを表示する

- 1 本機とデバイスをネットワーク接続(59ページ)する。
- 2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。例：IPアドレスが「192.168.122.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.122.1/rm.html」と入力します。本機のIPアドレスは、ネットワークステータス画面(16ページ)で確認してください。
- 3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード(Networkメニュー→Access Authentication→User NameおよびPassword)を入力する。接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。以降は、画面表示のとおり操作してください。Lockつまみを右にスライドすると、ボタンの操作を禁止することができます。

[ご注意]

- 次の場合は、Webリモコン画面と本機の状態が一致しなくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Webリモコンが機能しなくなることがあります。

Webリモコンの対応デバイスについて

本機の設定や操作には、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザーは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザー
タブレット	Android7/8	Chrome
	iOS12/13.3/14/15	Safari
コンピューター	Windows 7/8.1/10	Chrome
	macOS 10.13/10.14	Safari

「Content Browser Mobile」アプリケーションの対応デバイスについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

Webリモコンのメニューについて

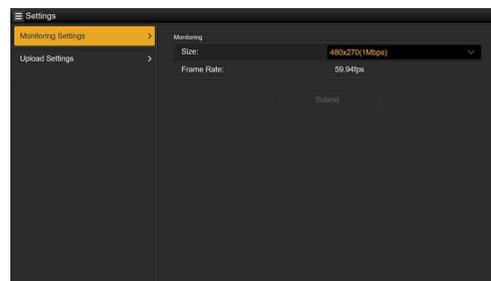
画面左上の  をタップすると、画面選択メニューが現れます。Monitoring Settingsを選択すると、モニタリング設定画面が表示されます。モニタリング設定画面で画面左上の  をタップすると、ファイル転送などの設定メニューが表示されます。

メニューの項目

- Remote Control
- Camera Control
- Monitoring
- Monitoring Settings
- File Transfer
- Slot A
- Slot B
- Slot SD/MS
- Job List
- Upload Settings

モニタリング映像の設定「Monitoring Settings」

デバイスでモニタリングするときのフォーマットを設定します。



Size

モニタリング用の映像のサイズとビットレートを設定します。

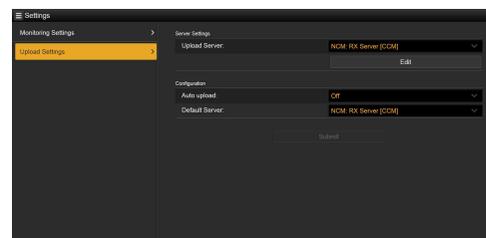
- 480x270(1Mbps)
- 480x270(0.5Mbps)

Frame Rate

モニタリング用の映像のフレームレートが表示されます。

ファイル転送先設定「Upload Settings」

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーの設定変更を行います。



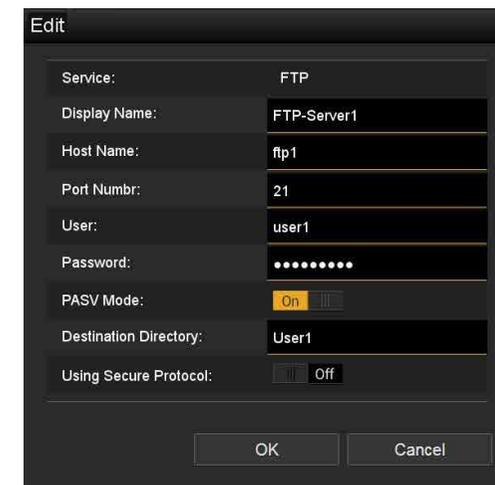
転送先のサーバーを登録する

Upload Serverのリストでサーバーを選択し、Editをタップすると、サーバー設定用の画面が表示されますので、各項目を設定してサーバーを登録します。

NetworkメニューのFile Transfer(122ページ)でもサーバーを登録できます。

ここで設定したサーバーが、Slot A、Slot B、Slot SD/MSの画面でのファイル転送時の転送先リストに表示されます。

Upload Server Edit画面



設定後にOKをタップすると設定を反映し、Cancelをタップすると、設定を中止します。

Service

サーバーの種類を表示します。

「FTP」: FTP サーバー

Display Name

リストに表示されるサーバー名を入力します。

Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

Port

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

【ご注意】

- パスワードは、セキュリティの観点からEdit画面を開くたびにクリアされます。サーバー設定を変更した場合は、再入力してください。
- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

Display Password

パスワードの表示/非表示を切り替えます。OFFにすると、設定されているパスワードは表示されません。パスワード入力中は、文字はすべてアスタリスクで表示されます。ONにすると、設定されているパスワードが表示されます。パスワード入力中は、文字はすべて表示されます。

Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

Destination Directory

転送先ディレクトリーを入力します。

[ご注意]

転送先サーバーで使用できない文字を転送先ディレクトリーに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。ONにすると証明書の状況が表示されます。証明書の読み込みや消去は、Select Functionをタップして、表示されるメニューで行います。

• Load

CA証明書を読み込みます。

- * 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに“certification.pem”のファイル名で書き込んでおいてください。

• Clear

CA証明書をクリアします。

• None

読み込み/消去を行いません。

[ご注意]

CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。

登録済みのサーバーの設定を変更する

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設定変更画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更します。

NetworkメニューのFile Transfer(122ページ)でもサーバーを設定できます。

プロキシファイルを自動転送する

Auto Upload On/Off

Auto Upload (Proxy) On/Off/Chunk

インターネット接続状態で、Auto UploadまたはAuto Upload (Proxy)設定がOnの場合、記録を終了するとDefault Upload Serverで設定した転送先に、自動的にオリジナルファイルまたはプロキシファイルを送信します。Auto Upload (Proxy)設定がChunkの場合は、Proxy RecのChunkで設定した時間ごとにDefault Upload Serverで設定した転送先に、自動的にプロキシファイルを送信します。

Default Upload Server

デフォルトのファイル転送先を選択します。

[メモ]

「ファイルを自動転送する」(66ページ)を参照してください。

ファイル転送管理「File Transfer」

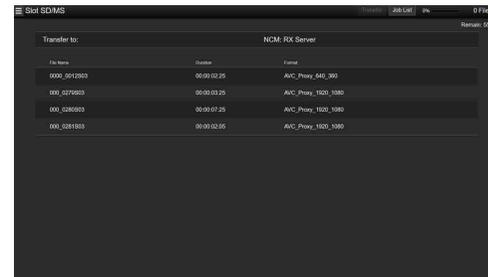
XQDメモリーカードに記録されているオリジナルファイルやSDカードに記録されているプロキシファイルの転送、転送ファイルの管理、転送先の設定を行います。

ファイルの転送「Slot A、Slot B、Slot SD/MS」

Slot A、Slot Bに挿入されているメディアに記録されているクリップ、またはUTILITY SD/MSカードスロットに挿入されているメディアに記録されているプロキシファイルの一覧を表示します。

[ご注意]

Webリモコンでは、分割記録されたプロキシファイルは個別のクリップとして表示されます。これらのクリップは削除できません。また、これらのクリップをWebリモコンから転送した場合、サーバー側でクリップを自動連結できません。



表示されているファイルを選択して、インターネット上のサーバーへ転送することができます。

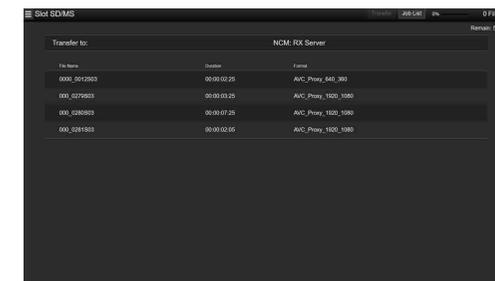
SDカードのプロキシファイルを転送する

1 本機とデバイスをLAN接続する(59ページ)。

2 デバイスのブラウザを起動して本機のWebリモコンを表示する(71ページ)。

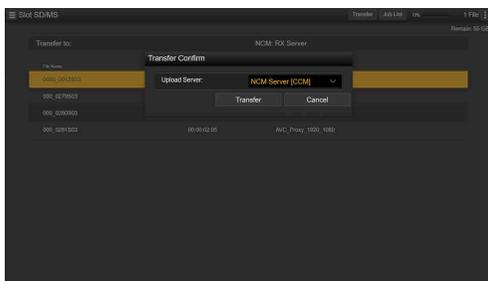
3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

☰をタップし、File TransferのSlot SD/MSをタップします。UTILITY SD/MSカードスロットに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。



4 転送したいファイルを選ぶ。ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。(SDカードのみ)

5 Transferをタップする。「転送先のサーバーを登録する」(72ページ)のDefault Upload Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリー名を入力します。



6 Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。
転送を中止するときは、Cancelをタップします。

[メモ]

画面右上の ⓘ をタップして、Transferを選択しても、ファイルの転送を開始できます。

XQDメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

[メモ]

XQDメモリーカード内のファイル情報を見るためには、本体のXQDカードスロットの蓋が開いている必要があります。

1 本機とデバイスをLAN接続する(59ページ)。

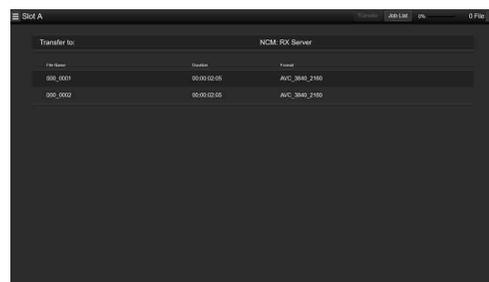
2 デバイスのブラウザーを起動して本機のWebリモコンを表示する(71ページ)。

3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

☰ をタップし、File TransferのSlot AまたはSlot Bをタップします。

Slot AまたはSlot Bに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。

例 : Slot A画面



4 転送したいファイルを選ぶ。

ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。

5 Transferをタップする。

「転送先のサーバーを登録する」(72ページ)のDefault Upload Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。

転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリー名を入力します。

6 Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。
転送を中止するときは、Cancelをタップします。

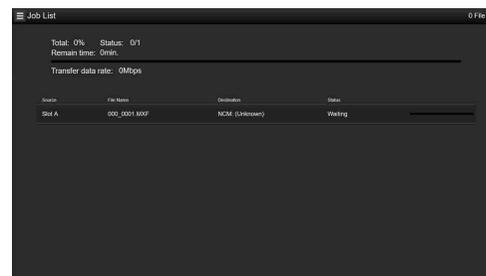
[メモ]

画面右上の ⓘ をタップして、Transferを選択しても、ファイルの転送を開始できます。

ファイル転送の確認「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。

本機はFTPレジューム機能(転送途中からのファイルの再転送機能)に対応しています。



- Total : 転送する全ファイルの進捗状況です。
- Status : 転送中のファイルの進捗状況です。
- Remain time : 予想残り転送時間表示です。
- Transfer data rate : 転送レート表示です。

ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除する

1 ファイルを選ぶ。

2 画面右上の ⓘ をタップして、項目を選ぶ。

- Abort selected : 転送を中止します。
- Delete from list : 転送リストからファイルを削除します。
- Start selected : ファイルの転送を開始します。
- Clear completed : 転送済みファイルリストを削除します。

[ご注意]

分割記録中の分割クリップのジョブを削除すると、以後その記録中の分割クリップは転送されません。

- Select All : リストを全選択します。

サムネイル画面

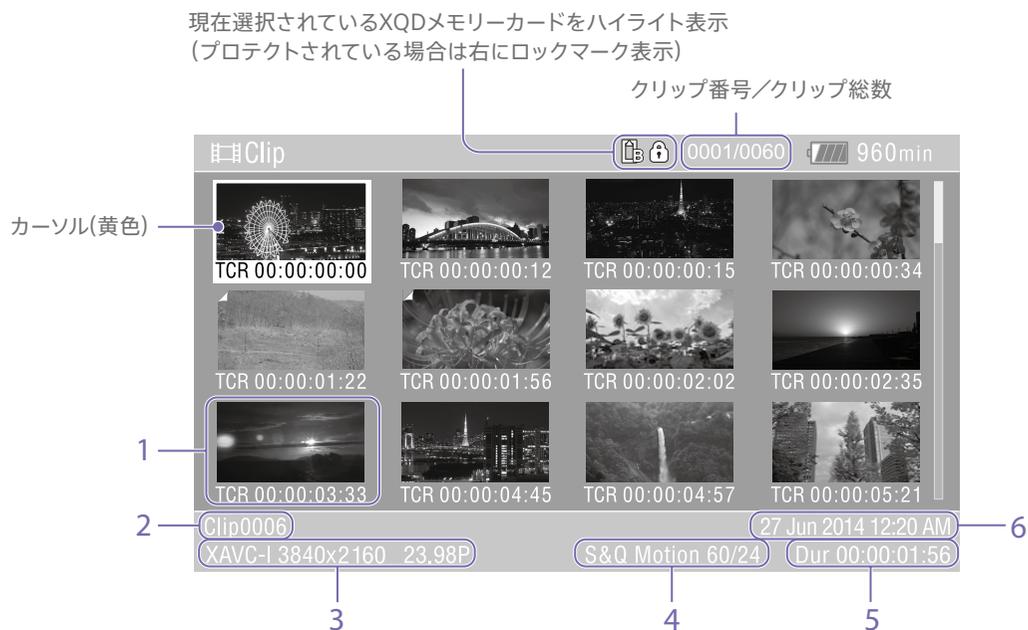
THUMBNAILボタン(7ページ)を押すと、XQDメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル(縮小画)画面に表示されます。サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

[ご注意]

サムネイル画面には、現在選択しているフォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット(初期化)などを行う際にはご注意ください。

画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



1. サムネイル(縮小画)

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。ThumbnailメニューのCustomize View(113ページ)の、Thumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの収録時間(Duration)

6. 作成日時

クリップの再生

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中(Stby) のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するXQDメモリーカードを入れる。
- 2 THUMBNAILボタンを押す。
- 3 矢印ボタン(7ページ) またはマルチファンクションダイヤル(4ページ) を操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 4 SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

再生操作は次のボタンで行います。

SET ボタンまたはマルチファンクションダイヤル押し：

再生を一時停止します。

もう一度押すと再生に戻ります。

矢印ボタンの左ボタン / 右ボタン押し：

クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

矢印ボタンの左ボタン / 右ボタン長押し：

高速再生します。

長押しをやめると標準再生に戻ります。

CANCEL/BACK ボタン：

再生を停止し、記録停止状態にします。

【ご注意】

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、矢印ボタンの左ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。
- マルチセクター (9ページ) でも操作できます。

クリップ操作

サムネイル画面では、Thumbnailメニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などが可能です。

Menuボタンを押してThumbnailを選択すると、Thumbnailメニュー (112ページ) が表示されます。

Thumbnailメニューの操作方法

矢印ボタン(7ページ) またはマルチファンクションダイヤル(4ページ) を操作して機能を選択し、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押してください。

CANCEL/BACKボタン(7ページ) を押すと、操作前の画面に戻ります。

[メモ]

マルチセレクター (9ページ) でも操作できます。

[ご注意]

メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

- Display Clip Properties
- Set Shot Mark
- Set Clip Flag
- Lock/Unlock Clip
- Delete Clip
- Copy Clip
- Copy Sub Clip
- Transfer Clip
- Transfer Clip (Proxy)
- Set Index Picture
- Thumbnail View
- Filter Clips
- Customize View

クリップ操作メニューについて詳しくは、Thumbnailメニュー (112ページ) をご覧ください。

クリップの詳細情報画面を表示する

ThumbnailメニューのDisplay Clip Properties (112ページ) を選択すると、クリップの詳細情報画面を表示されます。

エッセンスマークサムネイル画面を表示する

ThumbnailメニューのThumbnail View(113ページ) を選択し、Essence Mark Thumbnailで表示したいエッセンスマークを選ぶと、指定した種別のエッセンスマークの付いているフレームをサムネイル表示することができます。すべてのクリップを表示するには、ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark

ThumbnailでAllを選んでください。

フィルタードクリップサムネイル画面を表示する

ThumbnailメニューのFilter Clips(113ページ) で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。すべてのクリップを表示するには、Allを選んでください。

[メモ]

DISPLAYボタンでフィルターを順に切り替えることもできます。

クリップを削除する

XQDメモリーカードからクリップを削除することができます。

ThumbnailメニューのDelete ClipからSelect ClipまたはAll Clipsを選びます。

Select Clip :

任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。

All Clips :

表示されているすべてのクリップを削除します。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

ThumbnailメニューのCustomize Viewの、Thumbnail Captionから、表示したい内容を選びます。

Date Time :

作成日時または最終変更日時

Time Code :

タイムコード

Duration :

収録時間

Sequential Number :

サムネイル番号

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがビューファインダー画面に表示されます(外部ビデオモニターに表示させることもできます)。下記のメニューから選択して設定します。

メニュー構成

Userメニュー

任意の設定を集めたメニュー
Edit User Menuから編集できます。

Edit Userメニュー

Userメニューの編集に関する設定

Shootingメニュー

撮影に関する設定

Projectメニュー

プロジェクトの基本的な設定

Paintメニュー

画質に関する設定

TC/Mediaメニュー

タイムコードと記録メディアに関する設定

Monitoringメニュー

ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定

Audioメニュー

音声に関する設定

Thumbnailメニュー

サムネイル表示に関する設定

Technicalメニュー

技術的な内容の設定

Networkメニュー

ネットワークに関する設定

Maintenanceメニュー

時計や言語設定などの機器設定

セットアップメニューの階層

User (工場出荷時の設定)	Base Setting	Shooting	ISO/Gain/El
	Rec Format		ND Filter
	ISO/Gain/El		Shutter
	Focus		Auto Exposure
	S&Q Motion		White
	Monitor LUT		White Setting
	Monitor LUT Setting		Offset White
	Simul Rec		Focus
	4K & HD (Sub) Rec		S&Q Motion
	Proxy Rec		Monitor LUT
	Picture Cache Rec		Monitor LUT Setting
	Assignable Button		Monitor 3D LUT
	Assignable Dial		Noise Suppression
	Multi Function Dial		Flicker Reduce
	All File		SteadyShot
	Clip Name Format		Auto Black Balance
	Format Media		Project
Output Format	Rec Format		
VF Setting	Cine El Setting		
Menu Settings	HDR Setting		
Edit User Menu	Simul Rec		
Add Item	4K & HD (Sub) Rec		
Customize Reset	Proxy Rec		
	Interval Rec		
	Picture Cache Rec		
	SDI/HDMI Rec Control		
	Assignable Button		
	Assignable Dial		
	Multi Function Dial		
	User File		
	All File		
	Planning Metadata		

Paint	HDR Paint Setting	Thumbnail	Display Clip Properties	Network	Setup for Mobile App	
	Black		Set Shot Mark		Access Authentication	
	Gamma		Set Clip Flag		Wireless LAN	
	Black Gamma		Lock/Unlock Clip		AP Mode Settings	
	Knee		Delete Clip		ST Mode Settings	
	White Clip		Copy Clip		Wired LAN	
	Detail(4K/QFHD)		Copy Sub Clip		Modem	
	Detail(HD)		Transfer Clip		Network Client Mode	
	Skin Detail		Transfer Clip (Proxy)		File Transfer	
	Aperture		Set Index Picture		Network Reset	
	Matrix		Thumbnail View		Maintenance	Language
	Multi Matrix		Filter Clips			Clock Set
Scene File	Customize View	Network Public Key				
TC/Media	Timecode	Technical	Color Bars	All Reset		
	TC Display		Test Saw	Hours Meter		
	Users Bit		ND Dial	Version		
	HDMI TC Out		Tally			
	Clip Name Format		HOLD Switch Setting			
	Update Media		Touch Operation			
Format Media	Rec Review					
Monitoring	Output On/Off		Handle Zoom			
	Output Format		GPS			
	Output Setting		Menu Settings			
	Output Display	Status Page On/Off				
	Display On/Off	RCP				
	Marker	Fan Control				
	VF Setting	Lens				
	Gamma Display Assist	Video Light Set				
Audio	Audio Input	APR				
	Audio Output	Camera Battery Alarm				
		Camera DC IN Alarm				
		Ext. Unit Battery Alarm				
		Ext. Unit DC IN Alarm				

セットアップメニューの操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがビューファインダー画面に表示されます(外部ビデオモニターに表示させることもできます)。

メニュー操作部

MENUボタン(7ページ)

セットアップメニューを操作するメニューモードをOn/Offします。

↑/↓/←/→/SETボタン(7ページ)

矢印ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

[メモ]

マルチセレクター(9ページ)でも同様に操作できます。

マルチファンクションダイヤル(4ページ)

マルチファンクションダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。マルチファンクションダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACKボタン(7ページ)

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

[ご注意]

- ピント拡大(35ページ)になっていると、セットアップメニューは操作できません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。
- タッチ操作はできません。

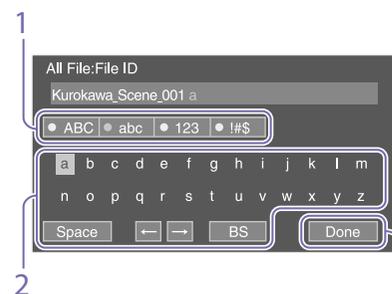
メニューを設定する

矢印ボタンを押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行表示です。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合(例：-99 ~ +99)は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、一旦メニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



- 1 矢印ボタンを押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。
ABC : 英大文字
abc : 英小文字
123 : 数字
!#\$: 特殊文字
- 2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
Space : カーソルの位置にスペースを入力します。
←/→ : カーソル位置を移動します。
BS : カーソルの左の文字を削除します。
- 3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。
文字列を確定して、入力画面が消えます。

メニューのロックと解除

セットアップメニューの表示をロックして、Userメニューだけを表示させることができます。ステータス画面での設定変更もできなくなります。

メニューをロックする

- 1 マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 TechnicalメニューのMenu SettingsのUser Menu with Lockを選択する。

[ご注意]

MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、TechnicalメニューのMenu SettingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- 3 Onを選択してSETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。
- 4 任意の番号を入力する。
0000 ~ 9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。数値を入力し、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、カーソルがSETに移動します。

5 SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。

設定が完了したメッセージが表示され、

Userメニュー表示に切り替わります。

メニューのロックを解除する

1 マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。

2 UserメニューのMenu SettingsのUser Menu with Lockを選択する。

【ご注意】

MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、TechnicalメニューのMenu SettingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

3 Offを選択してSETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

4 メニューをロックしたときの番号を入力する。
数値を入力し、SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、カーソルがSetに移動します。

5 SETボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

【ご注意】

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。
- 下表のセットアップメニューのメニュー項目をUserメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサインボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサインボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインの設定が強制的にOffになります。

セットアップメニューのメニュー項目	アサインボタンの選択肢
Shooting>ISO/Gain/El>Base Sensitivity、Shooting>ISO/Gain/El>Base ISO	Base ISO/Sensitivity
Shooting>Auto Exposure>AGC	AGC
Shooting>Auto Exposure>Auto ND Filter	Auto ND Filter
Shooting>Auto Exposure>Auto Shutter	Auto Shutter
Shooting>Auto Exposure>Level	Auto Exposure Level
Shooting>Auto Exposure>Mode	Backlight
Shooting>Auto Exposure>Mode	Spotlight
Shooting>White>Preset White	Preset White Select
Shooting>Focus>AF Transition Speed、Shooting>Focus>AF Subj. Shift Sens.	AF Speed/Sens.

セットアップメニューのメニュー項目	アサインボタンの選択肢
Shooting>Focus>Focus Area	Focus Area
Shooting>Focus>Focus Area(AF-S)	Focus Area(AF-S)
Shooting>Focus>Face/Eye Detection AF	Face/Eye Detection AF
Shooting>Focus>Push AF Mode	Push AF Mode
Shooting>S&Q Motion>Setting	S&Q Motion
Shooting>SteadyShot>Setting	SteadyShot
Project>Picture Cache Rec>Setting	Picture Cache Rec
Technical>Rec Review>Setting	Rec Review
Thumbnail>Set Clip Flag>Add OK	Clip Flag OK
Thumbnail>Set Clip Flag>Add NG	Clip Flag NG
Thumbnail>Set Clip Flag>Add KEEP	Clip Flag Keep
Technical>Color Bars>Setting	Color Bars
Monitoring>Display On/Off>Lens Info	Lens Info
Monitoring>Display On/Off>Video Signal Monitor	Video Signal Monitor
Monitoring>Marker>Setting	Marker
Monitoring>VF Setting>Color Mode	VF Mode
Monitoring>Gamma Display Assist>Setting	Gamma Display Assist

セットアップメニューのメニュー項目	アサインボタンの選択肢
Monitoring>Peaking>Setting	Peaking
Monitoring>Zebra>Setting	Zebra
Audio>Audio Output>Monitor CH	Audio Monitor CH
Audio>Audio Output>Monitor CH	Audio Mon. CH Switch
Technical>Touch Operation>Setting	Touch Operation
Technical>Handle Zoom>Setting	Handle Zoom
Network>Wireless LAN>NFC	NFC
Network>Network Client Mode>Setting	Network Client Mode
Network>File Transfer>Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy)
User	User Menu

Userメニュー

各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

User	
メニュー項目	内容
Base Setting	Project > Base Settingの内容。
Rec Format	Project > Rec Formatの内容。
ISO/Gain/El	Shooting > ISO/Gain/Elの内容。
Focus	Shooting > Focusの内容。
S&Q Motion	Shooting > S&Q Motionの内容。
Monitor LUT	Shooting > Monitor LUTの内容。
Monitor LUT Setting	Shooting > Monitor LUT Settingの内容。
Simul Rec	Project > Simul Recの内容。
4K & HD (Sub) Rec	Project > 4K & HD (Sub) Recの内容。
Proxy Rec	Project > Proxy Recの内容。
Picture Cache Rec	Project > Picture Cache Recの内容。
Assignable Button	Project > Assignable Buttonの内容。
Assignable Dial	Project > Assignable Dialの内容。
Multi Function Dial	Project > Multi Function Dialの内容。
All File	Project > All Fileの内容。
Clip Name Format	TC/Media > Clip Name Formatの内容。
Format Media	TC/Media > Format Mediaの内容。
Output Format	Monitoring > Output Formatの内容。
VF Setting	Monitoring > VF Settingの内容。
Menu Settings	Technical > Menu Settingsの内容。
Edit User Menu	Edit Userメニューを表示する。

[ご注意]

UserメニューはEdit Userメニューによってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。本機では初期設定で項目数20を使い切っているため、項目を追加するためにはEdit UserメニューのDeleteで任意の項目を削除した後、Add Itemで追加します。

Edit Userメニュー

UserメニューでEdit User Menuを選択すると、Edit Userメニューが第1階層に表示されます。

Edit User		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Add Item Userメニュー項目の追加		Userメニューに第2階層の項目を追加する。
Customize Reset Userメニュー項目のリセット		Userメニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集集中に選択した第2階層の項目	Delete	Userメニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	Move	Userメニューに登録した項目を並べ替える。
	Edit Sub Item	Userメニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集(登録・削除)する。

Shootingメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**)で示します。

Shooting>ISO/Gain/El ゲインに関する設定を行います。										
メニュー項目	細目と設定値	内容								
Mode	ISO/dB	ゲイン設定モードを選択する。								
ISO/ Gain<H>	ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 320 / ISO 400 / ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000	ゲインのプリセット値<H>を設定する。 [メモ] ダイナミックレンジはガンマで決まります。HDR モード時のガンマはHLGとなります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガンマ</th> <th>ダイナミック レンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4 / S-Cinetone</td> <td>460%</td> </tr> <tr> <td>HG7 / HG8</td> <td>800%</td> </tr> <tr> <td>S-Log3 / HLG</td> <td>1300%</td> </tr> </tbody> </table>	ガンマ	ダイナミック レンジ	STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4 / S-Cinetone	460%	HG7 / HG8	800%	S-Log3 / HLG	1300%
ガンマ	ダイナミック レンジ									
STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4 / S-Cinetone	460%									
HG7 / HG8	800%									
S-Log3 / HLG	1300%									

Shooting>ISO/Gain/El ゲインに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ISO/ Gain<H>	ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 ModeがdBのとき -3dB ~ 27dB(12dB) (1 dB刻み)	
ISO/ Gain<M>	設定値はISO/Gain<H>と同じです。 初期値は以下のとおりです。 ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 3200 ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 640 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 5000 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 1000 ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 8000 ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 1600 ModeがdBのとき 6dB	ゲインのプリセット値<M>を設定する。

Shooting>ISO/Gain/EI ゲインに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ISO/Gain<L>	設定値はISO/Gain<H>と同じです。 初期値は以下のとおりです。 ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 1600 ModeがISOでダイナミックレンジが460%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 320 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 2500 ModeがISOでダイナミックレンジが800%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 500 ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがHighのとき ISO 4000 ModeがISOでダイナミックレンジが1300%、 かつBase SensitivityがLowのとき ISO 800 ModeがdBのとき 0dB	ゲインのプリセット値<L>を設定する。

Shooting>ISO/Gain/EI ゲインに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Exposure Index<H>	Base ISOがISO 800のとき 200EI / 4.0E 250EI / 4.3E 320EI / 4.7E 400EI / 5.0E 500EI / 5.3E 640EI / 5.7E 800EI / 6.0E 1000EI / 6.3E 1250EI / 6.7E 1600EI / 7.0E 2000EI / 7.3E 2500EI / 7.7E 3200EI / 8.0E Base ISOがISO 4000のとき 1000EI / 4.0E 1250EI / 4.3E 1600EI / 4.7E 2000EI / 5.0E 2500EI / 5.3E 3200EI / 5.7E 4000EI / 6.0E 5000EI / 6.3E 6400EI / 6.7E 8000EI / 7.0E 10000EI / 7.3E 12800EI / 7.7E 16000EI / 8.0E	Exposure Index<H>を設定する。 Cine EIモード時のみ有効です。
Exposure Index<M>	設定値はExposure Index<H>と同じです。 Base ISOがISO 800のとき 1000EI / 6.3E Base ISOがISO 4000のとき 5000EI / 6.3E	Exposure Index<M>を設定する。
Exposure Index<L>	設定値はExposure Index<H>と同じです。 Base ISOがISO 800のとき 800EI / 6.0E Base ISOがISO 4000のとき 4000EI / 6.0E	Exposure Index<L>を設定する。
Shockless Gain	On / Off	ショックレスゲイン機能をOn/Offする。

Shooting>ISO/Gain/El ゲインに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Base Sensitivity	High / Low	SDR/HDRモード用の基準感度を設定する。
Base ISO	ISO 4000 / ISO 800	Cine EIモード用の基準ISO感度を設定する。

Shooting>ND Filter NDフィルターのプリセット値を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset1	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
Preset2	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
Preset3	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

Shooting>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Speed / Angle	電子シャッターのモードを選択する。動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed(スピード)モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle(角度)モードを選択する。
Shutter Speed On/Off	On / Off	Speedモード選択時の露光時間を、Shutter Speedの設定値に従うかフル露光にするかを設定する。

Shooting>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter Speed	64F ~ 1/8000 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。 59.94P / 59.94i: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50P / 50i: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 24P/23.98P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	Speedモード選択時、シャッター速度を設定する。
Shutter Angle	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
ECS On/Off	On / Off	Extended Clear Scanの設定をOn/Offする。

Shooting>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ECS	23.99 ~ 8000	ECSモード 選択時、ECS周波数を設定する。
Frequency	設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。 初期値は以下のとおりです。 59.94P: 60.00 59.94i: 60.00 50P: 50.00 50i: 50.00 29.97P: 30.00 23.98P: 23.99 25P: 25.02 24P: 24.02	

Shooting>Auto Exposure 自動露出調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Level	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
Mode	Backlight / Standard / Spotlight	自動露出調整の動作モードを設定する。 Backlight: バックライトモード(中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード(中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白濁れを軽減するモード)
Speed	-99 ~ +99(±0)	自動露出調整の調整スピードを設定する。
AGC	On / Off	AGC(オートゲインコントロール) 機能をOn/Offする。

Shooting>Auto Exposure 自動露出調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AGC Limit	ISO/Gain/ElのModeがdBのとき 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB / 24dB / 27dB ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが460%、かつBase SensitivityがHighのとき ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが460%、かつBase SensitivityがLowのとき ISO 400 / ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが800%、かつBase SensitivityがHighのとき ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが800%、かつBase SensitivityがLowのとき ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000	AGC機能の最大ゲインを設定する。

Shooting>Auto Exposure 自動露出調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AGC Limit	ISO/Gain/EIのModeがISOでダイナミックレンジが1300%、かつBase SensitivityがHighのとき ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 / ISO 32000 / ISO 40000 / ISO 51200 / ISO 64000 / ISO 80000 / ISO 102400 ISO/Gain/EIのModeがISOでダイナミックレンジが1300%、かつBase SensitivityがLowのとき ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000	
AGC Point	TechnicalメニューのLensのIris DisplayがF-Numberのとき。または、Iris DisplayがAutoで、装着レンズからT値の情報取得できないとき。 F2.8 / F4 / F5.6 TechnicalメニューのLensのIris DisplayがAutoで、装着レンズからT値の情報取得できるとき。 T2.8 / T4 / T5.6	AGC機能がOnのとき、AGCを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
Auto Shutter	On / Off	オートシャッターコントロール機能をOn/Offする。
A.SHT Limit	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
A.SHT Point	TechnicalメニューのLensのIris DisplayがF-Numberのとき。または、Iris DisplayがAutoで、装着レンズからT値の情報取得できないとき。 F5.6 / F8 / F11 / F16 TechnicalメニューのLensのIris DisplayがAutoで、装着レンズからT値の情報取得できるとき。 T5.6 / T8 / T11 / T16	オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
Clip High light	On / Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をOn/Offする。

Shooting>Auto Exposure 自動露出調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Detect Window	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / Custom	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。(露出手動調整しているときは無効)
Detect Window Indication	On / Off	測光範囲の表示をOn/Offする。
Average Peak Level Ratio	-99 ~ +99(±0)	Auto Exposure用の検出に使う映像信号の平均値とピーク値の比を設定する。
Custom Width	40 ~ 999(500)	測光範囲の幅を設定する。
Custom Height	70 ~ 999(500)	測光範囲の高さを設定する。
Custom H Position	-479 ~ +479(±0)	測光範囲の水平位置を設定する。
Custom V Position	-464 ~ +464(±0)	測光範囲の垂直位置を設定する。
Shooting>White ホワイトバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset White	2000K ~ 15000K(3200K)	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
Color Temp <A>	2000K ~ 15000K(3200K)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 [ご注意] Color Tempは、R/B Gain操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp値を表示できない場合があります。
Tint<A>	-99 ~ +99(±0)	ホワイトメモリー Aに保存されたホワイトバランスのTint値を設定する。 [ご注意] Tintは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なTint値を表示できない場合があります。
R Gain <A>	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。

Shooting>White ホワイトバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
B Gain <A>	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
Color Temp 	2000K ~ 15000K(3200K)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 [ご注意] Color Tempは、R/B Gain操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp値を表示できない場合があります。
Tint	-99 ~ +99(±0)	ホワイトメモリー Bに保存されたホワイトバランスのTint値を設定する。 [ご注意] Tintは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なTint値を表示できない場合があります。
R Gain 	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain 	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

Shooting>White Setting ホワイトバランスの調整を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shockless White	Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off : 瞬時に切り替わる。 1 ~ 3 : 数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
ATW Speed	1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1 : 最も反応速度が速い。
White Switch	Memory / ATW	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。

Shooting>White Setting ホワイトバランスの調整を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Filter White Memory	On / Off	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をOn/Offする。 On : NDフィルターごとにホワイトバランスメモリーを設定する。 [メモ] プリセットモードのときはCLEAR/1/2/3の4組、バリエابلモードのときはCLEARとOnの2組となります。 Off : 各NDフィルターでホワイトバランスメモリーは共通。

Shooting>Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Offset White <A>	On / Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On) か付加しないか(Off) を選択する。
Offset Color Temp<A>	-99 ~ +99(±0)	Offset White <A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。 [ご注意] Offset Color Tempは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なOffset Color Temp値を表示できない場合があります。
Offset Tint<A>	-99 ~ +99(±0)	Offset White <A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するTint方向のオフセットを設定する。 [ご注意] Offset Tintは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なOffset Tint値を表示できない場合があります。
Offset White 	On / Off	メモリー Bのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On) か付加しないか(Off) を選択する。

Shooting>Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Offset Color Temp	-99 ~ +99(±0)	Offset White がOnの場合に、メモリー Bのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。 [ご注意] Offset Color Tempは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なOffset Color Temp値を表示できない場合があります。
Offset Tint	-99 ~ +99(±0)	Offset White がOnの場合に、メモリー Bのホワイトバランスに付加するTint方向のオフセットを設定する。 [ご注意] Offset Tintは、R/B Gain操作時に±99でクリップされるため、R/B Gain値の正確なOffset Tint値を表示できない場合があります。
Offset White <ATW>	On / Off	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On) か付加しないか(Off) を選択する。
Offset Color Temp <ATW>	-99 ~ +99(±0)	Offset White <ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
Offset Tint <ATW>	-99 ~ +99(±0)	Offset White <ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するTint方向のオフセットを設定する。

Shooting>Focus フォーカスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AF Transition Speed	1(Slow) / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7(Fast)	オートフォーカス中の被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定する。
AF Subj. Shift Sens.	1(Locked On) / 2 / 3 / 4 / 5(Responsive)	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定する。

Shooting>Focus フォーカスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Focus Area	Wide / Zone / Flexible Spot	オートフォーカス、プッシュオートフォーカス(AF)の対象とする領域を設定する(36ページ)。 Wide: 映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 Zone: 指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 Flexible Spot: 映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
Focus Area (AF-S)	Flexible Spot	プッシュオートフォーカス(AF-S)の対象とする領域を設定する。
Face/Eye Detection AF	Face/Eye Only AF / Face/Eye Priority AF / Off	顔/瞳検出AFの有効/無効を設定する。
Push AF Mode	AF / Single-shot AF(AF-S)	マニュアルフォーカス中のプッシュオートフォーカスのモードを設定する。
Touch Function in MF	Tracking AF /Spot Focus	マニュアルフォーカス時にタッチスクリーンをタップしたときの動作を設定する。
AF Assist	On / Off	Onに設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。

Shooting>S&Q Motion		
スロー&クイックモーションモードの設定を行います(48ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	スロー&クイックモーションモードをOn/Offする。 Onのとき、以下の機能が無効になります。 • オートアイリス • オートフォーカス
Frame Rate	1fps ~ 60fps / 100fps / 120fps / 150fps / 180fps	スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 [ご注意] 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

Shooting>Monitor LUT		
モニター LUTの設定を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Category	LUT / User 3D LUT	モニター LUTのカテゴリを選択する。
LUT Select	709(800%) / [I] HG8009G40 / [I] HG8009G33 / S-Log3 / s709 [メモ] [I] HG8009G40および [I] HG8009G33の「[I]」は、HG8009G40およびHG8009G33がLUTデータをメタデータに記録できない (Cubeデータがない) ことを示しています。	モニター LUTの種類を選択する。 709(800%) : ITU-R709 をベースにダイナミックレンジを800% まで拡張した信号。 [I] HG8009G40 : ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力40% のハイパーガンマを使用した信号。 [I] HG8009G33 : ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力33% のハイパーガンマを使用した信号。 S-Log3 : Cineon Logカーブに近い、よりフィルム特性に似せたダイナミックレンジ1300%のLog信号。 s709 : 709(800%)相当のシネマ色。 [ご注意] CategoryがLUTに設定されている場合のみ設定できます。

Shooting>Monitor LUT		
モニター LUTの設定を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User 3D LUT Select	内部メモリーに保存されているユーザー 3D LUTのファイル名(01 ~ 16)	ユーザー 3D LUTファイルを選択する。 [ご注意] • CategoryがUser 3D LUTに設定されている場合のみ設定できます。 • 本機がファームウェアバージョン4.0より前のときにユーザー 3D LUTファイルを読み込んだ場合は、ファイル名の先頭に「[I]」が表示されます。本機をファームウェアバージョン4.0に更新後、あらためてユーザー 3D LUTファイルを読み込んでください。

Shooting>Monitor LUT Setting		
モニター LUTの調整を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Internal Rec	MLUT On / MLUT Off	XQDメモリーカードに記録する主映像にモニター LUTを適用するか選択する。
Monitor Out	MLUT On / MLUT Off	XQDメモリーカードに記録する主映像以外の記録映像や映像出力にモニター LUTを適用するか選択する。
HD(Sub) Rec/Proxy	表示のみ	4K & HD (Sub) 記録のHD(Sub) 映像およびProxy記録映像に対するモニター LUTの適用状態を表示する。
SDI1	表示のみ	SDI1出力映像に対するモニター LUTの適用状態を表示する。
SDI2	表示のみ	SDI2出力映像に対するモニター LUTの適用状態を表示する。
HDMI	表示のみ	HDMI出力映像に対するモニター LUTの適用状態を表示する。
VF/ Streaming	表示のみ	ビューファインダーおよびストリーミングの出力映像に対するモニター LUTの適用状態を表示する。

Shooting>Monitor 3D LUT		
ユーザー 3D LUTデータに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load from Utility SD/ MS		ユーザー 3D LUTデータをSDカードから読み込む。

Shooting>Monitor 3D LUT ユーザー 3D LUTデータに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load from Cloud(Private)	Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップロードしたユーザー 3D LUTデータを読み込む。 Execute : 実行
Load from Cloud(Share)	Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップロードしたユーザー 3D LUTデータを読み込む。 Execute : 実行
Reset		任意のユーザー 3D LUTデータ設定をリセットする
Reset All	Execute / Cancel	すべてのユーザー 3D LUTデータ設定をリセットする。 Execute : 実行

Shooting>Noise Suppression ノイズサプレスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting (SDR/HDR)	On / Off	SDRおよびHDRモード時のノイズサプレス機能をOn/Offする。
Level (SDR/HDR)	Low / Mid / High	SDRおよびHDRモード時のノイズサプレスのレベルを設定する。
Setting (Cine EI)	On / Off	Cine EIモード時のノイズサプレス機能をOn/Offする。
Level (Cine EI)	Low / Mid / High	Cine EIモード時のノイズサプレスのレベルを設定する。

Shooting>Flicker Reduce フリッカー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Auto / On / Off	フリッカー補正モードを設定する。
Frequency	50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

Shooting>SteadyShot 手ブレ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Active / Standard / Off	手ブレ補正機能をOn/Offする。 [ご注意] 対応レンズ装着時のみ設定できます。

Shooting>Auto Black Balance オートブラックバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Black Balance	Execute / Cancel	オートブラックバランス機能を実行する。 [ご注意] • オートブラックバランス機能は、レンズにキャップをつけて実行してください。 • 記録中、カラーバー表示中は実行できません。

Projectメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Project>Base Setting 基本設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shooting Mode	SDR / HDR / Cine EI	撮影モードを設定する。(27ページ)
Project>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Frequency	59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98	システム周波数を選択する。
Imager Scan Mode	FF 6K / FFcrop 5K / S35 4K / FF 2K / S35 2K / S16 2K	画素読み出し方法(全画素/加算) と、イメージャーサイズ設定を組み合わせから選択する。
Codec	RAW / RAW & XAVC-I / RAW & XAVC-L / RAW & MPEG HD 422 / XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD 422	記録・再生モードを設定する。 [ご注意] RAW設定は、拡張ユニット装着時のみ表示されます。
RAW Output Format	FrequencyとImager Scan ModeとCodecの設定に応じて変わる(58ページ)。	外部RAWレコーダーで記録するフォーマットを設定する。

Project>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。			
メニュー項目	細目と設定値		内容
Video Format	FrequencyとCodecの設定に応じて変わる。		録画フォーマットを設定する。
	Frequency	Codec	選択肢
	59.94	RAW	—
		RAW & XAVC-I	1920×1080P
		RAW & XAVC-L	1920×1080P 50
		RAW & MPEG HD422	1920×1080i 50
		XAVC-I	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25
		MPEG HD422	1920×1080i 50

Project>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Video Format	50	RAW	—
		RAW & XAVC-I	1920×1080P
		RAW & XAVC-L	1920×1080P 50
		RAW & MPEG HD422	1920×1080i 50
		XAVC-I	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25
		MPEG HD422	1920×1080i 50
	29.97	RAW	—
		RAW & XAVC-I	1920×1080P
		RAW & XAVC-L	1920×1080P 50
		RAW & MPEG HD422	1920×1080P 50
		XAVC-I	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35
		MPEG HD422	1920×1080P 50

Project>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Video Format	25	RAW	—
		RAW & XAVC-I	1920×1080P
		RAW & XAVC-L	1920×1080P 50
		RAW & MPEG HD422	1920×1080P 50
		XAVC-I	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35
		MPEG HD422	1920×1080P 50
	24	RAW	—
		XAVC-I	4096×2160P
	23.98	RAW	—
		RAW & XAVC-I	1920×1080P
		RAW & XAVC-L	1920×1080P 50
		RAW & MPEG HD422	1920×1080P 50
		XAVC-I	4096×2160P 3840×2160P 1920×1080P
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35
		MPEG HD422	1920×1080P 50

Project>Cine EI Setting Cine EIモードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Color Gamut	S-Gamut3/SLog3 / S-Gamut3.Cine/SLog3	Cine EIモード時の色域を設定する。 S-Gamut3/SLog3: Cine EIモード時の色域をS-Gamut3に設定する。 S-Gamut3.Cine/SLog3: Cine EIモード時の色域をS-Gamut3.Cineに設定する。
Embed LUT File	On / Off	LUTデータ(Cubeデータ) をクリップにメタデータとして記録する設定をOn/Offする。
Project>HDR Setting HDRモードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
VF SDR Preview	On / Off	HDRモード時でガンマ表示アシストが有効なときビューファインダー映像を簡易的にHDRからSDRに変換した映像で表示する機能をOn/Offする。 [メモ] Onのときはビューファインダー映像にSDR Gainが適用されます。
SDR Gain	0dB ~ -15dB(-6dB)	HDRモード時でVF SDR PreviewがOnのときのビューファインダーに適用されるSDR Gainの値を設定する。
Project>Simul Rec 同時記録の設定を行います(51ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	本線同時記録機能のOn/Offと記録先メディアを一括設定する。
Rec Button Set	Rec Button:[SlotA SlotB] Handle Rec Button:[SlotA SlotB] / Rec Button:[SlotA] Handle Rec Button:[SlotB] / Rec Button:[SlotB] Handle Rec Button:[SlotA]	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。
Project>4K & HD (Sub) Rec 4K & HD (Sub)記録の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	4K & HD (Sub) 記録をOn/Offする。

Project>Proxy Rec プロキシ記録モードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	プロキシ記録モードをOn/Offする。 [ご注意] ShootingメニューのS&Q MotionのSetting (91ページ) がOnのときはOnにできません。
Proxy Format	1920x1080(9Mbps) / 1280x720(9Mbps) / 1280x720(6Mbps) / 640x360(3Mbps)	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。 1920×1080(9Mbps)に設定した場合、システム周波数が23.98のときはプログレッシブで、システム周波数が23.98以外の場合はインターレースで記録される。 1920×1080(9Mbps)以外に設定した場合は、システム周波数に関わらずプログレッシブで記録される。
Audio Channel	CH1/CH2 / CH3/CH4	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
Chunk	30s / 1min / 2min	プロキシファイルの分割記録時間を選択する。
Project>Interval Rec インターバルレックの設定を行います(50ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	インターバルレックモードをOn/Offする。(この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。)
Interval Time	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (s) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (h)	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する。
Number of Frames	1frame / 2frames / 3frames / 6frames / 9frames / 12frames 選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって設定値が異なります。 50P/59.94P: 2frames / 6frames / 12frames 23.98P/25P/29.97P/50i/59.94i: 1frame / 3frames / 6frames / 9frames	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。

Project>Interval Rec
インターバルレックの設定を行います(50ページ)。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Pre-Lighting	Off / 2s / 5s / 10s	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択する。 [メモ] HVL-LBPC(別売) 使用時のみ有効な設定です。

Project>Picture Cache Rec
ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います(50ページ)。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ピクチャーキャッシュレックモードをOn/Offする。
Cache Rec Time	設定値は記録フォーマットの設定により変わる。	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間(キャッシュレック開始時にさかのぼる時間)を設定する。

Project>SDI/HDMI Rec Control
SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Off / SDI/HDMI Remote I/F / Parallel Rec	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御を設定する。 Off: リモート制御しない。 SDI/HDMI Remote I/F: 本機にメディアを挿入していない状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。 Parallel Rec: 本機にメディアを挿入している状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。

Project>Assignable Button
アサインナブルボタンへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <10>、Focus Hold Button	Off / Base ISO/Sensitivity / AGC / Push AGC / ND Filter Position / Auto ND Filter / Push Auto ND / Auto Iris / Push Auto Iris / Auto Shutter / Auto Exposure Level / Backlight / Spotlight / Preset White Select / ATW / ATW Hold / AF Speed/Sens. / Focus Zero Marker / Focus Setting / Focus Area / Focus Area(AF-S) / Face/Eye Detection AF / Push AF Mode / Push AF/Push MF / Focus Hold / Focus Magnifier x3/x6 / Focus Magnifier x3 / Focus Magnifier x6 / S&Q Motion / SteadyShot / Crop Select / Rec / Picture Cache Rec / Rec Review / Last Clip Del. / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / Color Bars / Tally [Front] / CALL / DURATION/TC/ U-BIT / Display / Lens Info / Video Signal Monitor / Marker / VF Adjust / VF Mode / Gamma Display Assist / Peaking / Zebra / Audio Monitor CH / Audio Mon. CH Switch / Thumbnail / Touch Operation / Handle Zoom / NFC / Network Client Mode / Auto Upload (Proxy) / Direct Menu / User Menu / Menu	アサインナブルボタンに機能を割り当てる。 Base ISO/Sensitivity: イメージセンサーの基準感度の切り替え AGC: AGC機能のOn/Off切り替え Push AGC: ボタンを押している間、AGC機能を有効にする ND Filter Position: NDフィルターの切り替え Auto ND Filter: オートNDフィルターのOn/Off即時切り替え Push Auto ND: ボタンを押している間、オートNDフィルター機能を有効にする Auto Iris: アイリス機能のOn/Off切り替え Push Auto Iris: ボタンを押している間、オートアイリス機能を有効にする Auto Shutter: オートシャッター機能のOn/Off切り替え Auto Exposure Level: Auto Exposure Levelのダイレクトメニューを開始/終了する Backlight: Backlight/Standard切り替え Spotlight: Spotlight/Standard切り替え Preset White Select: ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え ATW: ATW機能のOn/Off切り替え ATW Hold: ATW機能の動作を一時ホールド

Project>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <10>、 Focus Hold Button		<p>AF Speed/Sens.: AFトランジション速度の設定とAF乗り 移り感度の設定の切り替え</p> <p>Focus Zero Marker: 現在のフォーカス位置を基準位置に設 定する</p> <p>Focus Setting: フォーカスエリアの設定を行う</p> <p>Focus Area: AF、プッシュ AF用のフォーカスエリア の設定を行う</p> <p>Focus Area(AF-S) : プッシュ AF(AF-S)用のフォーカスエリ アの設定を行う</p> <p>Face/Eye Detection AF: 顔/瞳検出AFの設定を切り替える</p> <p>Push AF Mode : Push AFのモード設定を切り替える</p> <p>Push AF/Push MF : フォーカスモードがMF時、ボタンを押 している間はAFになる フォーカスモードがAF時、ボタンを押 している間はMFになる</p> <p>Focus Hold : フォーカスモードがAF時、ボタンを押 している間フォーカスを固定する</p> <p>Focus Magnifier x3/x6: Focus Magnifier x3: Focus Magnifier x6 : ピント拡大機能のOn/Off切り替え</p> <p>S&Q Motion: スロー&クイックモーション機能のOn/ Off切り替え 長押しで記録フレームレートの設定</p> <p>SteadyShot : Active / Standard / Off切り替え</p> <p>Crop Select: イメージャースキャンモードの設定切り 替え</p> <p>Rec : 記録の開始または停止</p>

Project>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <10>、 Focus Hold Button		<p>Picture Cache Rec : ピクチャーキャッシュレックモードの On/Off切り替え</p> <p>Rec Review : レックレビューのOn/Off切り替え</p> <p>Last Clip Del. : ラストクリップデリート(リテイク) 機能 の実行</p> <p>Shot Mark1: Add Shot Mark1を実行する</p> <p>Shot Mark2: Add Shot Mark2を実行する</p> <p>Clip Flag OK : Add OKを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実 行する</p> <p>Clip Flag NG : Add NGを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実 行する</p> <p>Clip Flag Keep : Add Keepを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実 行する</p> <p>Color Bars : カラーバーのOn/Off切り替え</p> <p>Tally [Front] : 記録/タリーランプ(フロント) の点灯、 点滅機能のOn/Off切り替え</p> <p>CALL: ボタンを押している間、本機に接続し たりリモートコントロールパネルのタリー ランプにコールを表示する</p> <p>DURATION/TC/U-BIT: Time Code/Users Bit/Duration切り 替え</p> <p>Display : 画面表示のOn/Off切り替え</p> <p>Lens Info : 被写界深度表示の切り替え</p>

Project>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <10>、 Focus Hold Button	Video Signal Monitor : 映像信号モニター (波形モニターなど) の表示切り替え Marker : マーカー機能のOn/Off切り替え VF Adjust : ビューファインダー画面の明るさ調節用 レベルバーの表示 VF Mode : ビューファインダー画面のカラー /モノ クロ切り替え Gamma Display Assist : ガンマ表示アシスト機能の切り替え Peaking : ピーキング機能のOn/Off切り替え Zebra : ゼブラ機能のOn/Off切り替え Audio Monitor CH : 音声チャンネルの組み合わせの切り替 え(54ページ) Audio Mon. CH Switch : 音声チャンネルの組み合わせの切り替 え(54ページ) Thumbnail : サムネイル画面の開始/終了 Touch Operation : タッチ操作のOn/Off切り替え Handle Zoom : ハンドルズーム動作の切り替え NFC : NFC機能の実行 Network Client Mode : ネットワーククライアントモードのOn/ Off切り替え Auto Upload (Proxy) : プロキシファイルの自動転送のOn/ Off/Chunk切り替え Direct Menu : ダイレクトメニューの開始/終了	

Project>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <10>、 Focus Hold Button		User Menu : Userメニューの開始/終了 Menu : セットアップメニューの開始/終了
Project>Assignable Dial アサインابلダイヤルへの機能割り当て、回転方向の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Dial	Off / ISO/Gain/EI / ND Filter / IRIS / Audio Input Level	アサインابلダイヤルに機能を割り当てる。 ISO/Gain/EI : ゲインまたはEIを調節する ND Filter : NDフィルターを調節する IRIS : アイリスを調節する Audio Input Level : 録音レベルを調節する
Assignable Dial Direction	Normal / Opposite	アサインابلダイヤルの回転方向を設定す る。 Normal : 順方向に回転する Opposite : 逆方向に回転する
Project>Multi Function Dial マルチファンクションダイヤルへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Default Function	Off / IRIS / ISO/Gain/EI / Audio Input Level	マルチファンクションダイヤルのデフォルト 機能を割り当てる。 IRIS : アイリスを調節する ISO/Gain/EI : ゲインまたはEIを調節する Audio Input Level : 録音レベルを調節する

Project>User File ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load from Utility SD/MS	Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードから読み込む。 Execute : 実行
Save to Utility SD/MS	Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードへ保存する。 Execute : 実行
File ID		ユーザーファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
Load Customize Data	On / Off	Load from Utility SD/MSの実行時にUserメニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
Load White Data	On / Off	Load from Utility SD/MSの実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。
Project>All File Allファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load from Utility SD/MS	Execute / Cancel	Allファイルを読み込む。 Execute : 実行
Load from Cloud(Private)	Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップロードしたAllファイルを読み込む。 Execute : 実行
Load from Cloud(Share)	Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップロードしたAllファイルを読み込む。 Execute : 実行
Save to Utility SD/MS	Execute / Cancel	Allファイルを保存する。 Execute : 実行
Save to Cloud(Private)	Execute / Cancel	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(個人)に保存する。 Execute : 実行
Save to Cloud(Share)	Execute / Cancel	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(共通)に保存する。 Execute : 実行
File ID		ファイルに名前を付ける。

Project>All File Allファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load Network Data	On / Off	Load from Utility SD/MS、Load from Cloud(Private)およびLoad from Cloud(Share)の実行時に、Networkメニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。
Project>Planning Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load from Media(A) または Load from Media(B)	Execute / Cancel	スロットAまたはBのメモリーカードからプランニングメタデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAまたはBのメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
<p>[ご注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、メモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー (XROOT/General/Sony/Planning) に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。 読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、メモリーカードを抜かないでください。 		

Project>Planning Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Properties	Execute / Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name : ファイル名 Assign ID : アサインID Created : ファイルの生成日時 Modified : ファイルの最終更新日時 Modified by : ファイルの更新者 Title1 : ファイルで指定されたTitle1の内容 (ASCII形式のクリップ名) Title2 : ファイルで指定されたTitle2の内容 (UTF-8形式のクリップ名) Material Group : マテリアルグループ(同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群)の数 Shot Mark0 ~ 9 : ショットマーク0 ~ 9の名前
Clear Memory	Execute / Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を消去する。
Clip Name Display	Title1(ASCII) / Title2(UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。

Paintメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Paint>HDR Paint Setting ハイダイナミックレンジ(HDR)に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HLG Look	Natural / Live	Shooting ModeがHDRのときのHLGの種類を設定する。 Natural: ITU-R BT.2100(HLG)に準拠した特性があります。 Live: ITU-R BT.2100(HLG)に準拠し、よりHDRの効果を引き出す特性があります。 [ご注意] Liveの設定を使用すると、ノイズレベルが上がることがあります。
HDR Black Offset	-95 ~ +103(±0)	Shooting ModeがHDRのときのSDR設定(Master Black)に対するHDRのブラックのオフセットを設定する。
HDR Knee	On / Off	Shooting ModeがHDRのときのHDR信号に対する二ー補正機能をOn/Offする。
HDR Knee Point	-99 ~ +99(±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかける二ーポイントを設定する。
HDR Knee Slope	-99 ~ +99(±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかける二ースロープを設定する。
Paint>Black ブラックの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Master Black	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	マスターブラックレベルを設定する。
R Black	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	Rブラックレベルを設定する。
B Black	-99.0 ~ +99.0(±0.0)	Bブラックレベルを設定する。

Paint>Gamma ガンマ補正の設定を行います。																																		
メニュー項目	細目と設定値	内容																																
Setting	On / Off	ガンマ補正機能をOn/Offする。																																
Step Gamma	0.35 ~ 0.45 ~ 0.90	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する。																																
Master Gamma	-99 ~ +99(±0)	マスターガンマレベルを設定する。																																
R Gamma	-99 ~ +99(±0)	Rガンマレベルを設定する。																																
G Gamma	-99 ~ +99(±0)	Gガンマレベルを設定する。																																
B Gamma	-99 ~ +99(±0)	Bガンマレベルを設定する。																																
Gamma Category	Original / STD / HG / S-Log3	オリジナルガンマ(Original)、スタンダードガンマ(STD)、ハイパーガンマ(HG)、S-Log3を選択する。																																
Gamma Select	Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DVW / STD2×4.5 / STD3×3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6×5.0 Gamma CategoryがHGのとき HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / HG4 4609G33 / HG7 8009G40 / HG8 8009G33 Gamma CategoryがS-Log3のとき S-Log3 Gamma CategoryがOriginalのとき S-Cinetone	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。 ハイパーガンマとS-Log3の詳細は次のとおりです。																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ダイナミックレンジ</th> <th>ホワイトリミット</th> <th>18%グレースカードのビデオ出力(ビデオ入力20%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HG1 3250G36</td> <td>325%</td> <td>100%</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>HG2 4600G30</td> <td>460%</td> <td>100%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>HG3 3259G40</td> <td>325%</td> <td>109%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>HG4 4609G33</td> <td>460%</td> <td>109%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>HG7 8009G40</td> <td>800%</td> <td>109%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>HG8 8009G33</td> <td>800%</td> <td>109%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>S-Log3</td> <td>1300%</td> <td>-</td> <td>41%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	ダイナミックレンジ	ホワイトリミット	18%グレースカードのビデオ出力(ビデオ入力20%)	HG1 3250G36	325%	100%	36%	HG2 4600G30	460%	100%	30%	HG3 3259G40	325%	109%	40%	HG4 4609G33	460%	109%	33%	HG7 8009G40	800%	109%	40%	HG8 8009G33	800%	109%	33%	S-Log3	1300%	-	41%
名称	ダイナミックレンジ	ホワイトリミット	18%グレースカードのビデオ出力(ビデオ入力20%)																															
HG1 3250G36	325%	100%	36%																															
HG2 4600G30	460%	100%	30%																															
HG3 3259G40	325%	109%	40%																															
HG4 4609G33	460%	109%	33%																															
HG7 8009G40	800%	109%	40%																															
HG8 8009G33	800%	109%	33%																															
S-Log3	1300%	-	41%																															

Paint>Black Gamma ブラックガンマ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ブラックガンマ補正機能をOn/Offする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効) [ご注意] Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
Range	Low / L.Mid / H.Mid	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。
Master Black Gamma	-99 ~ +99(±0)	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Paint>Knee ニー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ニー補正機能をOn/Offする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)
Auto Knee	On / Off	オートニー機能をOn/Offする。
Point	75% ~ 109%(90%)	ニーポイントを設定する。
Slope	-99 ~ +99(±0)	ニースロープを設定する。
Knee Saturation	On / Off	Onにすると、ニーサチュレーション(ニーポイントより上の部分の色つき具合)の調整が有効になる。 [ご注意] Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
Knee Saturation Level	-99 ~ +99(±0)	ニーポイントより上の部分の色つき具合(ニーサチュレーション)を調整する。

Paint>White Clip ホワイトクリップ調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ホワイトクリップ調整機能をOn/Offする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効) [ご注意] 本設定は電源を切るとOnに戻ります。永続的にOffしたい場合はLevelを109%に設定してください。
Level	90.0% ~ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。
Paint>Detail(4K/QFHD) ディテール(4K/QFHD)調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ディテール調整機能をOn/Offする。
Level	-99 ~ +99(±0)	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	-99 ~ +99(±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening	-99 ~ +99(±0)	クリスピングレベルを設定する。
Frequency	-99 ~ +99(±0)	ディテールの中心周波数(ディテールの太さ)を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
Knee Aperture	On / Off	ニーアパーチャー補正機能をOn/Offする。
Knee Aperture Level	-99 ~ +99(±0)	ニーアパーチャーレベルを設定する。
White Limit	-99 ~ +99(±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	-99 ~ +99(±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
V Detail Creation	NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM(GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
Paint>Detail(HD) ディテール(HD)調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ディテール調整機能をOn/Offする。

Paint>Detail(HD) ディテール(HD) 調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Level	-99 ~ +99(±0)	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	-99 ~ +99(±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening	-99 ~ +99(±0)	クリスピーングレベルを設定する。
Frequency	-99 ~ +99(±0)	ディテールの中心周波数(ディテールの太さ)を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
Knee Aperture	On / Off	ニアパーチャー補正機能をOn/Offする。
Knee Aperture Level	-99 ~ +99(±0)	ニアパーチャーレベルを設定する。
White Limit	-99 ~ +99(±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	-99 ~ +99(±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
V Detail Creation	NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM(GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
Paint>Skin Detail スキディテール補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	スキディテール補正機能をOn/Offする。
Area Detection	Execute / Cancel	スキディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute : 実行
Area Indication	On / Off	スキディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をOn/Offする。
Level	-99 ~ +99(±0)	スキディテールレベルを設定する。
Saturation	-99 ~ +99(±0)	スキディテール補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション)を設定する。
Hue	0 ~ 359	スキディテール補正の対象となる色の色相(ヒュー)を設定する。
Width	0 ~ 90(40)	スキディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。

Paint>Aperture アパーチャー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	Onにすると、アパーチャー補正(ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理)が有効になる。
Level	-99 ~ +99(±0)	アパーチャー補正のレベルを設定する。
Paint>Matrix マトリクス補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	マトリクス補正機能をOn/Offする。
Adaptive Matrix	On / Off	アダプティブマトリクス機能をOn/Offする。
Preset Matrix	On / Off	プリセットマトリクス機能をOn/Offする。
Preset Select	S-Cinetone / Standard / FL Light / Cinema / BT.709 / BT.2020	プリセットマトリクスを選択する。
User Matrix	On / Off	ユーザーマトリクス補正機能をOn/Offする。
User Matrix Level	-99 ~ +99(±0)	映像全域の色の濃さ(サチュレーション)を調整する。
User Matrix Phase	-99 ~ +99(±0)	映像全域の色合い(フェーズ)を調整する。
User Matrix R-G	-99 ~ +99(±0)	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix R-B	-99 ~ +99(±0)	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-R	-99 ~ +99(±0)	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-B	-99 ~ +99(±0)	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-R	-99 ~ +99(±0)	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-G	-99 ~ +99(±0)	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

Paint>Multi Matrix マルチマトリクス補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	Multi Matrix補正機能をOn/Offする。
Area Indication	On / Off	Area Indication機能をOn/Offする。
Color Detection	Execute / Cancel	Multi Matrix補正の対象となる色を検出する。
Reset	Execute / Cancel	各軸の色の色相(ヒュー) と飽和度(サチュレーション) をすべて初期値にする。
Axis	B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	Axisを選択する。
Hue	-99 ~ +99(±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の色相(ヒュー) を設定する。
Saturation	-99 ~ +99(±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション) を設定する。
Paint>Scene File Sceneファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Recall Internal Memory		内蔵メモリーからSceneファイルを読み込む。
Store Internal Memory	Execute / Cancel	内蔵メモリーにSceneファイルを保存する。 Execute : 実行
Load from Utility SD/MS	Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードから読み込む。 Execute : 実行
Save to Utility SD/MS	Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードへ保存する。 Execute : 実行
File ID		ファイルに名前を付ける。
Scene White Data	On / Off	Scene Fileを読み込む際にホワイトバランスのデータを反映させるかどうかを設定する。

TC/Mediaメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

TC/Media>Timecode タイムコードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Preset / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset(プリセット) : 設定された値から歩進する。 Regen(リジエネ) : 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 Clock(クロック) : 内蔵時計をタイムコードとして使用する。
Run	Rec Run / Free Run	Rec Run : 記録時のみ歩進する。 Free Run : 記録に関係なく常に歩進する。
Setting		タイムコードを任意の値に設定する。 SET : 決定
Reset	Execute / Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute : 実行
TC Format	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF : ドロップフレーム NDF : ノンドロップフレーム
TC/Media>TC Display タイムデータ表示の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Select	Timecode / Users Bit / Duration	タイムデータの表示を切り替える。
TC/Media>Users Bit ユーザービットに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Fix / Time	ユーザービットのモードを設定する。 Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Time : ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
Setting		ユーザービットを任意の値に設定する。

TC/Media>HDMI TC Out HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。
TC/Media>Clip Name Format クリップの名称や削除に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Naming	Cam ID + Reel# / Title / Plan	クリップ名の設定方法を選択する。 Cam ID + Reel#: Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列 Title: Title Prefixで設定した任意文字列 + クリップ番号 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称、ない場合はTitle Prefixで設定した名称 + クリップ番号
Camera ID	A ~ Z	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。 [ご注意] Auto NamingがCam ID + Reel#に設定されている場合のみ設定できます。
Reel Number	001 ~ 999	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。 [ご注意] Auto NamingがCam ID + Reel#に設定されている場合のみ設定できます。
Camera Position	C / L / R	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を選択する。 [ご注意] Auto NamingがCam ID + Reel#に設定されている場合のみ設定できます。

TC/Media>Clip Name Format クリップの名称や削除に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Title Prefix	nnn_ (nnnはシリアル番号の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分(4 ~ 46文字)を設定する。 文字列の入力画面を呼び出す。
<p>文字列の入力画面の構成</p> <p>文字選択エリア(3行) :</p> <p>Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.;=@[]^_~0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxy ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ XYZ</p> <p>カーソル操作エリア(1行) :</p> <p>Space: カーソル位置にスペースを挿入する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 BS: カーソル位置の左の文字を削除する。</p> <p>Title Prefixエリア(1行) :</p> <p>タイトルを入力するエリア。</p>		
<p>タイトルを設定するには</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矢印ボタンを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択(ハイライト表示)し、SETボタンを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2. 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、BSを使用する。) 3. タイトル名の設定が終わったら、Doneを選択して文字列の入力画面を閉じる。 		
Number Set	Auto NamingがTitleのとき 0001 ~ 9999 Auto NamingがPlanのとき 00001 ~ 99999	クリップ名の最後の番号部分(4桁)を設定する。 プランニングメタデータを使用する場合は、5桁になります。

TC/Media>Update Media メモリーカード内の管理ファイルを更新します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Media(A)	Execute / Cancel	スロットAのXQDメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute : 実行
Media(B)	Execute / Cancel	スロットBのXQDメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute : 実行
TC/Media>Format Media メモリーカードを初期化します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Media(A)	Execute / Cancel	スロットAのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute : 実行
Media(B)	Execute / Cancel	スロットBのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute : 実行
Utility SD/MS	Execute / Cancel	UTILITY SDカードを初期化する。 Execute : 実行

Monitoringメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Monitoring>Output On/Off
映像出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI1	On / Off	SDI1出力をOn/Offする。
SDI2	On / Off	SDI2出力をOn/Offする。
HDMI	On / Off	HDMI出力をOn/Offする。

Monitoring>Output Format
出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI1	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」(132ページ)をご覧ください。	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
SDI2		[ご注意]
HDMI		ピクチャーキャッシュレック中はOutput Formatの設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをOffにしてから変更操作を行ってください。
REF		

Monitoring>Output Setting
出力変換モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
RAW to HD Conv.	Edge Crop / Letter Box	17:9映像をHD映像出力するときの変換モードを設定する。

Monitoring>Output Display
出力信号の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	SDI出力信号やHDMI出力信号にメニューやステータスを重畳するか選択する。
SDI1	Output Formatの設定により制限があります。詳しくは「出力のフォーマットと制限」(132ページ)をご覧ください。	SDI1出力信号へのメニューやステータス重畳の状態を表示する。
SDI2		SDI2出力信号へのメニューやステータス重畳の状態を表示する。
HDMI		HDMI出力信号へのメニューやステータス重畳の状態を表示する。

Monitoring>Display On/Off
画面表示項目の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Network Status	On / Off	ビューファインダー画面に表示する項目を選択する。
File Transfer Status	On / Off	
NCM/Streaming Status	On / Off	
Rec/Play Status	On / Off	
RAW Output Control Status	On / Off	
Tally	On / Off	
Battery Remain	On / Off	
Focus Mode	On / Off	
Focus Position	On / Off	
Focus Marker	On / Off	
Focus Area Indicator	On / Off	
Focus Area Ind.(AF-S)	On / Off	
Face/Eye Detection Frame	On / Off	
Lens Info	On / Off	
Imager Scan Mode	On / Off	
Rec Format	On / Off	
Frame Rate	On / Off	
Zoom Position	On / Off	
UWP RF Level	On / Off	

Monitoring>Display On/Off 画面表示項目の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
GPS	On / Off	
SteadyShot	On / Off	
Gamma/ LUT	On / Off	
SDI/HDMI Rec Control	On / Off	
Gamma Display Assist	On / Off	
Proxy Status	On / Off	
Base ISO/ Sensitivity	On / Off	
Media Status	On / Off	
Video Signal Monitor	Off / Waveform / Vector / Histogram	
Clip Name	On / Off	
White Balance	On / Off	
Scene File	On / Off	
Focus Indicator	On / Off	
Auto Exposure Mode	On / Off	
Auto Exposure Level	On / Off	
Timecode	On / Off	
ND Filter	On / Off	
Iris	On / Off	
ISO/Gain/El	On / Off	
Shutter	On / Off	
Level Gauge	On / Off	

Monitoring>Display On/Off 画面表示項目の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Level Meter	On / Off	
Video Level Warning	On / Off	
Clip Number	On / Off	
Notice Message	On / Off	
Monitoring>Marker マーカー表示の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてOn/Offする。
Color	White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue	マーカーの信号色を選択する。
Center Marker	1 / 2 / 3 / 4 / Off	センターマーカーを選択する。
Safety Zone	On / Off	セーフティーゾーンマーカーをOn/Offする。
Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ(画面全体に対する比率)を選択する。
Aspect Marker	Line / Mask / Off	アスペクトマーカーの比を選択する。
Aspect Mask	0 ~ 15(12)	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
Aspect Safety Zone	On / Off	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをOn/Offする。
Aspect Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ(画面全体に対する比率)を選択する。
Aspect Select	4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのモードを設定する。
		[ご注意] MonitoringメニューのVF SettingのDe-Squeeze(109ページ)がOff(1.0x)以外に設定されている場合は、本設定は2.39:1に固定されます。
Guide Frame	On / Off	ガイドフレーム表示をOn/Offする。

Monitoring>Marker マーカー表示の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
100% Marker	On / Off	100%マーカーをOn/Offする。
User Box	On / Off	ユーザーボックスマーカーの表示をOn/Offする。
User Box Width	3 ~ 479(240)	ユーザーボックスマーカーの幅(中心から左右端までの距離)を設定する。
User Box Height	3 ~ 269(135)	ユーザーボックスマーカーの高さ(中心から上下端までの距離)を設定する。
User Box H Position	-476 ~ +476(0)	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置を設定する。
User Box V Position	-266 ~ +266(0)	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置を設定する。
Monitoring>VF Setting ビューファインダーの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Contrast	-99 ~ +99(±0)	ビューファインダー映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
Brightness	-99 ~ +99(±0)	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
Color Mode	Color / B&W	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
De-Squeeze	Off(1.0x) / 1.3x / 2.0x	アナモフィックレンズでの撮影時に、ビューファインダーに表示する映像のデスクイーズ倍率を選択する。
Monitoring>Gamma Display Assist ガンマ表示アシストの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	SDRおよびCine EIモードのとき: On / Off HDRモードのとき: On / Off	ガンマ表示アシスト機能をOn/Offする。

Monitoring>Peaking ピーキングの設定を行います		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ピーキング機能をOn/Offする。
Type	Normal / Color	ピーキングの種類を選択する。 Normal : 通常のピーキング Color : カラーピーキング
Normal Peaking Frequency	Normal / High	ピーキング周波数を標準(Normal)にするか高く(High)するかを選択する。
Normal Peaking Level	0 ~ 99(50)	ノーマルピーキングのレベルを設定する。
Color Peaking Level	B&W / Red / Yellow / Blue	カラーピーキングの信号色を選択する。
Color Peaking Level	0 ~ 99(50)	カラーピーキングのレベルを設定する。
Monitoring>Zebra ゼブラパターンの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ゼブラ機能をOn/Offする。
Zebra Select	1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類(ゼブラ1、ゼブラ2、または両方)を選択する。
Zebra1 Level	0% ~ 107%(70%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
Zebra1 Aperture Level	1% ~ 20%(10%)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
Zebra2 Level	0% ~ 109%(100%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。

Audioメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**)で示します。

「ブロックダイヤグラム」(149ページ)を併せてご覧ください。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CH1 MI SHOE Input Select	Shoe CH1 / Wireless	CH1 INPUT切り替えスイッチ(7ページ)がMI SHOEのときの外部入力の機能を設定する。 [ご注意] Wirelessは、拡張ユニット装着時のみ表示されます。
CH2 EXT Input Select	INPUT1 / INPUT2	記録CH2に対する外部入力の入力元を切り替える。
CH2 MI SHOE Input Select	Shoe CH2 / Wireless	CH2 INPUT切り替えスイッチ(7ページ)がMI SHOEのときの外部入力の機能を設定する。 [ご注意] Wirelessは、拡張ユニット装着時のみ表示されます。
CH3 Input Select	Off / INPUT1 / Internal MIC / Shoe CH1 / Wireless	記録CH3に対する入力元を切り替える。 [ご注意] Wirelessは、拡張ユニット装着時のみ選択できます。
CH4 Input Select	Off / INPUT1 / INPUT2 / Internal MIC / Shoe CH2 / Wireless	記録CH4に対する入力元を切り替える。 [ご注意] Wirelessは、拡張ユニット装着時のみ選択できます。
INPUT1 MIC Reference	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
INPUT2 MIC Reference	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
Line Input Reference	+4dB / 0dB / -3dB / EBUL	INPUT1/INPUT2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
Reference Level	-20dB / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
CH1 Wind Filter	On / Off	記録CH1に対する風音低減フィルターを設定する。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CH2 Wind Filter	On / Off	記録CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
CH3 Wind Filter	On / Off	記録CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
CH4 Wind Filter	On / Off	記録CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
CH3 Level Control	Auto / Manual	記録CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、本設定に連動してCH4の自動・手動も切り替わります。
CH4 Level Control	Auto / Manual	記録CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、CH3 Level Controlの設定に連動してCH4の自動・手動も切り替わります。
Audio Input Level	0 ~ 99	マスター音声入力レベルを設定する。CH1 Level ~ CH4 Levelの設定に従って、マスターボリュームとして使用できます。
Limiter Mode	Off / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの手動調整時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
CH1&2 AGC Mode	Mono / Stereo	記録CH1と記録CH2の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
CH3&4 AGC Mode	Mono / Stereo	記録CH3と記録CH4の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
AGC Spec	-6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	AGC特性を選択する。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
1kHz Tone on Color Bars	On / Off	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をOn/Offする。 [ご注意] Onに設定すると、CH3 Input Select、CH4 Input SelectがOffの場合でも、1 kHzの基準音声信号を記録CH3、記録CH4に乗せません。
CH1 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり(46ページ) Audio Input Level / Through	記録CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のAUDIO LEVEL(CH1)ダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります(149ページ)。
CH2 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり(46ページ) Audio Input Level / Through	記録CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のAUDIO LEVEL(CH2)ダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります(149ページ)。
CH3 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり(46ページ) Audio Input Level / Through	記録CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のAUDIO LEVEL(CH3)ダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります(150ページ)。
CH4 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり(46ページ) Audio Input Level / Through	記録CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のAUDIO LEVEL(CH4)ダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります(150ページ)。

Audio>Audio Output 音声出力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Monitor CH	CH1/CH2 / CH3/CH4 / MIX ALL / CH1 / CH2 / CH3 / CH4	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 [ご注意] 複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を選択した場合は、音割れしないように各チャンネルの出力レベルを下げても音声が出力されます。
Headphone Out	Mono / Stereo	ヘッドホン端子をモノラル(Mono) 出力にするか、ステレオ(Stereo) 出力にするかを選択する。
Alarm Level	0 ~ 7(4)	警告音の音量を調整する。
HDMI Output CH	CH1/CH2 / CH3/CH4	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

Thumbnailメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Thumbnail>Display Clip Properties クリップ詳細情報画面を開く。		
Thumbnail>Set Shot Mark ショットマークの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Delete Shot Mark1		Shot Mark1を削除する。
Delete Shot Mark2		Shot Mark2を削除する。
Thumbnail>Set Clip Flag クリップフラグの編集を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Add OK		OKフラグを付ける。
Add NG		NGフラグを付ける。
Add KEEP		Keepフラグを付ける。
Delete Clip Flag		すべてのフラグを外す。
Thumbnail>Lock/Unlock Clip クリップの保護設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
Lock All Clips		すべてのクリップを保護する。
Unlock All Clips		すべてのクリップを保護解除する。
Thumbnail>Delete Clip クリップを削除します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		任意のクリップを削除する。
All Clips		クリップを一括削除する。

Thumbnail>Copy Clip クリップをコピーします。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		任意のクリップをコピーする。
All Clips		クリップを一括コピーする。
Thumbnail> Copy Sub Clip サブクリップをコピーします。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Clips		4K&HD(Sub)記録で記録されたサブクリップを、別のメディアにメインクリップとして一括コピーする。
Thumbnail>Transfer Clip クリップを転送します。		
[ご注意] NetworkメニューのAccess AuthenticationのPasswordが未設定の場合、Transfer Clipは設定できません。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		任意のクリップを転送する。
All Clips		クリップを一括転送する。 [ご注意] 転送できるクリップの上限は200件です。
Thumbnail>Transfer Clip (Proxy) プロキシクリップを転送します。		
[ご注意] NetworkメニューのAccess AuthenticationのPasswordが未設定の場合、Transfer Clip (Proxy)は設定できません。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。
All Clips		クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 [ご注意] 転送できるクリップの上限は200件です。
Thumbnail>Set Index Picture クリップの代表画を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Set Index Picture		クリップの代表画を設定する。

Thumbnail>Thumbnail View サムネイル画面の表示形態の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Essence Mark Thumbnail	All / Rec Start / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Shot Mark3 / Shot Mark4 / Shot Mark5 / Shot Mark6 / Shot Mark7 / Shot Mark8 / Shot Mark9 / Shot Mark0	エッセンスマークのついているフレームをサムネイル表示する。
Clip Thumbnail		記録されているクリップのサムネイルを表示する。
Thumbnail>Filter Clips 表示するクリップの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
OK		OKフラグのついたクリップのみを表示する。
NG		NGフラグのついたクリップのみを表示する。
KEEP		Keepフラグのついたクリップのみを表示する。
None		フラグのついていないクリップのみを表示する。
All		フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。
Thumbnail>Customize View サムネイル画面の表示を切り替えます。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Thumbnail Caption	Date Time / Time Code / Duration / Sequential Number	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

Technicalメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Technical>Color Bars カラーバーの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	カラーバーをOn/Offする。 [ご注意] ShootingメニューのS&Q MotionのSetting (91ページ) がOnのときはOnにできません。
Type	ARIB / 100% / 75% / SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
Technical>Test Saw テスト信号の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Test Saw	On / Off	テスト信号をOn/Offする。
Technical>ND Dial ND VARIABLEダイヤルの操作に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CLEAR with Dial	On / Off	ND VARIABLEダイヤルの操作でNDの状態遷移(CLEAR⇔On) を可能にするかどうか設定する。
Technical>Tally 記録/タリーランプの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Front Tally Lamp	On / Off	記録/タリーランプ(フロント)をOn/Offする。
Rear Tally Lamp	On / Off	記録/タリーランプ(リア)をOn/Offする。
Tally Control	REMOTE / RCP / Internal	Tally/Call制御情報を受け付ける対象を指定する。
Technical>HOLD Switch Setting ホールドスイッチの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
with Rec Button	On / Off	録画ボタンをホールドの対象にするか非対象にするかを設定する。
with Hand Grip Remote	On / Off	グリップリモコンによる操作をホールドの対象にするか非対象にするかを設定する。

Technical>Touch Operation タッチ操作に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	タッチ操作をOn/Offする。
Technical>Rec Review レックレビューの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	3s / 10s / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。
Technical>Handle Zoom ハンドルズームの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Off / Low / High / Variable	ハンドルズームスピードを設定する。
High	1 ~ 8(8)	ハンドルズームスピードHigh選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
Low	1 ~ 8(3)	ハンドルズームスピードLow選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。 [ご注意] ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。
Technical>GPS GPSの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
GPS	On / Off	GPSをOn/Offする。 [ご注意] GPSはハンドルに内蔵されています。
Technical>Menu Settings メニューに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User Menu Only	On / Off	メニューを表示したときに、Userメニューだけを表示するか(On)、メニューリストを表示するか(Off) を設定する。

Technical>Menu Settings メニューに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User Menu with Lock	On / Off	メニュー表示にロックをかけて、Userメニューだけの表示にするかどうかを設定する。 [ご注意] 通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、80ページをご覧ください。
Technical>Status Page On/Off ステータス画面の表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Main	On / Off	メインステータス画面の表示をOn/Offする。
Camera	On / Off	カメラステータス画面の表示をOn/Offする。
Audio	On / Off	オーディオステータス画面の表示をOn/Offする。
Project	On / Off	プロジェクトステータス画面の表示をOn/Offする。
Monitoring	On / Off	モニタリングステータス画面の表示をOn/Offする。
Assignable Button	On / Off	アサインボタンステータス画面の表示をOn/Offする。
Battery	On / Off	バッテリーステータス画面の表示をOn/Offする。
Media	On / Off	メディアステータス画面の表示をOn/Offする。
GPS	On / Off	GPSステータス画面の表示をOn/Offする。
Network	On / Off	ネットワークステータス画面の表示をOn/Offする。
NCM/Streaming	On / Off	NCM/ストリーミングステータス画面の表示をOn/Offする。
File Transfer	On / Off	ファイル転送ステータス画面の表示をOn/Offする。

Technical>RCP リモートコントロールパネルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CNS Mode	Off / Bridge	リモートコントロールパネルとのBridgeモード接続を許可するかどうかを設定する。
Detail Control(RCP)	4K/QFHD / HD	リモートコントロールパネルの詳細調整を、ディテールメニューの4K/QFHDとHDどちらに対応させるかを設定する。
Technical>Fan Control ファン制御モードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Auto / Minimum / Off in Rec	本機のファン制御モードを設定する。 [ご注意] Off in Recを選択していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。
Technical>Lens レンズに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zoom Ring Direction	Left(W)/Right(T) / Right(W)/Left(T)	ズームリングの操作方向を設定する。 [ご注意] ズームリングの操作方向切り替えに対応したEマウントレンズ使用時のみ設定できます。
Shading Compensation	Auto / Off	自動周辺光量補正をOn/Offする。 [ご注意] Imager Scan ModeがS35 2Kのときは、周辺光量補正はかかりません。
Chroma Aberration Comp.	Auto / Off	自動倍率色収差補正をOn/Offする。 [ご注意] Imager Scan ModeがS35 2Kのときは、倍率色収差補正はかかりません。
Distortion Comp.	Auto / Off	自動歪曲収差補正をOn/Offする。 [ご注意] Imager Scan ModeがS35またはS16のときは、歪曲収差補正はかかりません。
Distance Display	Meter / Feet	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を設定する。

Technical>Lens レンズに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zoom Position Display	Focal Length / Number / Bar	ズーム位置の表示形式を設定する。
Iris Display	Auto / F-Number	絞りの表示単位を設定する。 Auto : 装着レンズからT値の情報取得できるときはT値表示、それ以外はF値表示される。 F-Number : 常にF値で表示される。
Technical>Video Light Set ビデオライトの点灯方式を設定します。HVL-LBPC(別売) 使用時のみ有効な設定です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Video Light Set	Power Link / Rec Link / Rec Link + Stby	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。 Power Link : 本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 Rec Link : 本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 Rec Link + Stby : 本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。
Technical>APR APRを実行します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
APR	Execute / Cancel	APR(Auto Pixel Restoration : イメージセンサーの自動調整) を実行する。 Execute : 実行 [ご注意] 実行前に必ずレンズキャップを装着してください。

Technical>Camera Battery Alarm バッテリーの電圧低下警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Low Battery	5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する(5%刻み)。
Battery Empty	3% ~ 7%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
Technical>Camera DC IN Alarm 入力電圧警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DC Low Voltage1	16.0V ~ 19.0V(16.5V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
DC Low Voltage2	15.5V ~ 18.5V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Technical>Ext. Unit Battery Alarm XDCA-FX9のバッテリーに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Near End:Info Battery	5% ~ 100%	Info対応バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する(5%刻み)。
End:Info Battery	0% ~ 5%	Info対応バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。
Near End:Sony Battery	11.5V ~ 17.0V	Info非対応バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する。
End:Sony Battery	11.0V ~ 14.0V	Info非対応バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。
Near End:Other Battery	11.5V ~ 17.0V(11.8V)	アントンパワー製バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する。
End:Other Battery	11.0V ~ 14.0V	アントンパワー製バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。

Technical>Ext. Unit Battery Alarm XDCA-FX9のバッテリーに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Detected Battery		XDCA-FX9に接続されている電源の種別を表示する。 XDCA-FX9に接続したバッテリーまたはDC INで駆動している場合は、「Sony Info Battery」、「Sony Battery」、「Other Battery」、「DC IN」のいずれかを表示する。 本機に接続したバッテリーまたはDC INで駆動している場合は、「---」と表示する。
Technical>Ext. Unit DC IN Alarm XDCA-FX9の入力電圧警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DC Low Voltage1	11.5V ~ 17.0V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ~ 14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。

Networkメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Network>Setup for Mobile App ネットワーク設定支援ツールを実行します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setup		ネットワーク設定支援ツールを起動する。
Network>Access Authentication 認証に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User Name		アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
Input Password		アクセス認証のためのパスワードを設定する。 [ご注意] セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。
Generate Password	Execute / Cancel	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 Execute : 実行
Show Settings		アクセス認証のユーザー名、パスワードおよびシリアル番号をテキストとQRコードで表示する。 [ご注意] パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。

Network>Wireless LAN ワイヤレスLAN接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Access Point Mode / Station Mode / Off	ワイヤレスLAN接続の動作モードを選択する。
WPS	Execute / Cancel	WPS(Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 Execute : 実行
NFC	Execute / Cancel	NFC(Near Field Communication) による接続設定を開始する。 Execute : 実行
MAC Address		本機のワイヤレスLANインターフェースのMACアドレスを表示する。
Network>AP Mode Settings アクセスポイントモードでの接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Channel	Auto(5GHz) / Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。
Camera SSID & Password		本機のSSIDとパスワードを表示する。
Regenerate Password	Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute : 実行
IP Address		本機のアクセスポイントモードでのIPアドレスを表示する。
Subnet Mask		本機のアクセスポイントモードでのサブネットマスクを表示する。
Network>ST Mode Settings ステーションモードでの接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Camera Remote Control	Enable / Disable	ステーションモードで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。

Network>ST Mode Settings ステーションモードでの接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Connected Network		接続中のワイヤレスLANネットワーク(アクセスポイント)を表示する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを表示する。 セキュリティがWEP/WPA時 : ***** セキュリティがNone時 : 空欄
	DHCP	DHCPの有効(On)、無効(Off)を表示する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを表示する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを表示する。
	DNS Auto	DNS自動取得のON/OFFを表示する。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを表示する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを表示する。

Network>ST Mode Settings ステーションモードでの接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Scan Networks		ワイヤレスLANネットワーク(アクセスポイント)を検出し、リスト表示する。 リストから接続先を選択し、接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP	DHCPの有効(On)、無効(Off)を設定する。 On / Off
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを入力する。
	DNS Auto	DNS自動取得をOn/Offする。 On / Off
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを入力する。

Network>ST Mode Settings ステーションモードでの接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Manual Register		アクセスポイントと手動接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを入力する。
	Security None / WEP / WPA	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。接続先アクセスポイントのセキュリティ種別がWPAまたはWPA2の場合は、WPAを選択。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP On / Off	DHCPの有効(On)、無効(Off)を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をOn/Offする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリーDNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリーDNSサーバーを入力する。

Network>Wired LAN 有線LAN接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	有線LANをOn/Offする。
Camera Remote Control	Enable / Disable	本機と有線LAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
Detail Settings		有線LAN接続の詳細設定を行う。
	DHCP On / Off	DHCPの有効(On)、無効(Off)を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をOn/Offする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリーDNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリーDNSサーバーを入力する。

Network>Modem モデムに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	モデム接続の有効(On)、無効(Off)を設定する。
Camera Remote Control	Enable / Disable	<p>モデム/スマートフォンで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。</p> <p>[ご注意] 本機とC3 Portalを接続すると、本設定がEnableに切り替わります(69ページ)。</p>
Modem1 IP Address		モデム1のIPアドレスを表示する。
Modem1 Subnet Mask		モデム1のサブネットマスクを表示する。
Modem2 IP Address		モデム2のIPアドレスを表示する。
Modem2 Subnet Mask		モデム2のサブネットマスクを表示する。
Network>Network Client Mode ネットワーククライアントモードに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ネットワーククライアントモードを開始(On)または停止(Off)する。
NCM Settings Select		ネットワーククライアントモードの接続先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定(NCM Settings1/NCM Settings2/NCM Settings3)から選択する。

Network>Network Client Mode ネットワーククライアントモードに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
NCM Settings1	Display Name	NCM Settingsのメニュー上の表示名を入力する。
	CCM Address	接続先CCMのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス
	CCM Port(1 ~ 65535 (8443))	接続先CCMのポート番号を設定する。
	User Name	CCM接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	CCM接続の認証パスワードを設定する。
	CCM Certificate Load / Clear / None	CCMまたはC3 Portalに接続する際の証明書の読み込み、削除を設定する。
	CCM Certificate Status Loaded / Default	CCMまたはC3 Portalに接続する際の証明書の読み込み状態を表示する。
	Camera Control Enable / Disable	CCM接続時のCCMまたはC3 Portalからのカメラコントロール許可/不許可を設定する。
	Camera Setting Always / Onetime / Off	<p>CCM接続時のCCMまたはC3 PortalからのAll File操作の許可/不許可を設定する。</p> <p>Always: 常にCCMまたはC3 PortalからのAll File操作を許可する。</p> <p>Onetime: 1回だけCCMまたはC3 PortalからのAll File操作を許可する。</p> <p>Off: CCMまたはC3 PortalからのAll File操作を許可しない。</p>
	Reset Execute / Cancel	NCM Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute : 実行
NCM Settings2	NCM Settings1と同じ	
NCM Settings3	NCM Settings1と同じ	
Streaming Quality	Normal / High	<p>ストリーミングの品質を設定する。</p> <p>[ご注意] 本設定はMaintenanceメニューのAll ResetでReset without Network(123ページ)を実行した場合もリセットされます。</p>

Network>File Transfer ファイルの転送に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Upload	On / Off	オリジナルファイルの自動転送をOn/Offする。 [ご注意] Projectメニュー > Simul RecのSetting (95ページ) がOnに設定されている場合は、スロットBのメディア上に記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
Auto Upload (Proxy)	On / Off / Chunk	On: プロキシファイルの自動転送を有効にする。 Off: プロキシファイルの自動転送を無効にする。 Chunk: 分割記録したプロキシファイルを自動で転送する。
Default Upload Server		ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、プロキシファイルの自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。Server Settings (NCM)、Server Settings 1～3で設定したDisplay Nameを表示する。
Clear Completed Jobs	Execute / Cancel	転送完了済みのジョブをリストからクリアする。 Execute : 実行
Clear All Jobs	Execute / Cancel	すべての転送ジョブをリストからクリアする。 Execute : 実行
View Job List		転送ジョブ一覧を表示する。
Server Settings (NCM)		NCMサーバーのDisplay Nameおよびサービス(CCM)を表示する。
	Display Name	NCMサーバーのDisplay名を表示する。
	Service	サービスを表示する。

Network>File Transfer ファイルの転送に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Server Settings1	Display Name	転送先設定のメニュー上の表示名を入力する。
	Service	サーバーの種類を表示する。 FTP
	Host Name	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	Port(1～65535(21))	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	User Name	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	Passive Mode	PASVモードをOn/Offする。 On / Off
	Destination Directory	転送先のディレクトリー名を入力する。
	Using Secure Protocol	セキュアなFTP転送(FTPSのExplicit Mode : FTPES)を行うか(On)、行わないか(Off)を設定する。 On / Off
	Root Certificate Load	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。 Load / Clear / None
Root Certificate Status	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み状態を表示する。 Loaded / No Certificate	
Reset	Server Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute / Cancel	
Server Settings2	Server Settings 1と同じ	
Server Settings3	Server Settings 1と同じ	
Network>Network Reset ネットワークの設定をリセットします。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Reset	Execute / Cancel	ネットワークの設定をリセットする。 Execute : 実行

Maintenanceメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

工場出荷時の初期設定値は、**太文字**(例：**18dB**) で示します。

Maintenance>Language 表示する言語を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select		表示する言語を設定する。 SET: 実行
Maintenance>Clock Set 内蔵時計に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Time Zone	UTC -12:00 ~ UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Date Mode	YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日年の順 DDMMYY: 日月年の順
12h/24h	12h / 24h	時刻の表示形式を選択する。 12h: 12時間表示 24h: 24時間表示
Date		現在の日付を設定する。 SET: 決定
Time		現在の時刻を設定する。 SET: 決定
Maintenance>Network Public Key 公開鍵に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Key Creation	Execute / Cancel	公開鍵を作成する。 Execute: 実行
Key Clear	Execute / Cancel	本機に保存されている公開鍵を消去する。 Execute: 実行
Create Key Date		公開鍵の生成日時を以下の形式で表示する。 年4桁(西暦) + 月2桁 + 日2桁 + 時2桁(24時間) + 分2桁 + 秒2桁 表示例: 2020年12月1日12時34分56秒 →20201201123456

Maintenance>All Reset 工場出荷時の状態にリセットします。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Reset	Execute / Cancel	工場出荷時の状態へのリセットを実行する。 Execute: 実行
Reset without Network	Execute / Cancel	Networkメニュー以下の設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。 [ご注意] NetworkメニューのNetwork Client ModeのStreaming Quality(121ページ)は工場出荷状態にリセットされません。
Maintenance>Hours Meter 積算時間を表示します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Hours (System)		積算使用時間(リセット不可)を表示する。
Hours (Reset)		積算使用時間(リセット可)を表示する。
Reset	Execute / Cancel	Hours(Reset) 表示を0にリセットする。 Execute: 実行
Maintenance>Version バージョンを表示します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Version Number	Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
Ext. Unit Version Number	Vx.xx	XDCA-FX9のソフトウェアバージョンを表示する。
Version Up	Execute / Cancel	本機をバージョンアップ*する。 Execute: 実行 * バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。
Lens Version Number	Vxx	Eマウントレンズのソフトウェアバージョン番号を表示する。

設定データの保存と読み込み

設定データ

セットアップメニューの設定内容を、本機の内蔵メモリーまたはSDカード、“メモリースティック”に保存することができます。また、Allファイルクラウドサービスに保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データは、次のように分類されて保存されます。

User File(ユーザーファイル)

カスタマイズしたUserメニューの設定項目と設定データを保存します。

SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、Userメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

All File(ALL ファイル)

全メニューの設定データを保存します。SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。C3 Portal(クラウドサービス)には、個人(Private)60個までと共通(Share)60個までの計120個まで保存することができます。

[ご注意]

機器固有のデータ(機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど)は保存されません。

Scene File(シーンファイル)

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

ユーザーファイル、ALLファイルを保存する

メモリーカードに保存する

1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ)に差し込む。

2 ユーザーファイルの場合は、ProjectメニューのUser FileのSave to Utility SD/MS(99ページ)を選択する。
ALLファイルの場合は、ProjectメニューのAll FileのSave to Utility SD/MS(99ページ)を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。

3 保存先画面のNo Fileの行を選択する。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

4 確認画面のExecuteを選択する。

Allファイルをクラウドサービスに保存する

1 本機をスマートフォンアプリ「C3 Portal App」に接続する(69ページ)。

2 ProjectメニューのAll FileのSave to Cloud(Private)またはSave to Cloud(Share)(99ページ)を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。

3 保存先画面のNo Fileの行を選択する。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

4 確認画面のExecuteを選択する。

ユーザーファイル、ALLファイルを読み込む

メモリーカードから読み込む

1 ファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ)に差し込む。

2 ユーザーファイルの場合は、ProjectメニューのUser FileのLoad from Utility SD/MS(99ページ)を選択する。
ALLファイルの場合は、ProjectメニューのAll FileのLoad from Utility SD/MS(99ページ)を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。

3 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。

4 Executeを選択する。

[ご注意]

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- ProjectメニューのAll FileのLoad Network DataがOffの場合は、Networkメニューの設定項目を除いたALLファイルを読み込みます。

Allファイルをクラウドサービスから読み込む

1 本機をスマートフォンアプリ「C3 Portal App」に接続する(69ページ)。

2 ProjectメニューのAll FileのLoad from Cloud(Private)またはLoad from Cloud(Share)(99ページ)を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。

3 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。

4 Executeを選択する。

シーンファイルを保存する

内蔵メモリーに保存するには

- 1 PaintメニューのScene FileのStore Internal Memory(104ページ) を選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されています。
- 2 保存先を選択する。
選択した保存先にシーンファイルが上書き保存されます。

- 3 確認画面のExecuteを選択する。

SDカードまたは“メモリースティック”に保存するには

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ) に差し込む。
- 2 PaintメニューのScene FileのSave to Utility SD/MS(104ページ) を選択する。
シーンファイルの保存先画面が表示されます。
- 3 保存先画面のNo Fileの行を選択する。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 4 確認画面のExecuteを選択する。

シーンファイルを読み込む

内蔵メモリーから読み込むには

- 1 PaintメニューのScene FileのRecall Internal Memory(104ページ) を選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
- 2 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。

- 3 Executeを選択する。

[メモ]

シーンファイルは、ダイレクトメニュー (47ページ) で読み込むこともできます。

SDカードまたは“メモリースティック”から読み込むには

- 1 シーンファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSカードスロット(8ページ) に差し込む。
- 2 PaintメニューのScene FileのLoad from Utility SD/MS(104ページ) を選択する。
シーンファイルの一覧画面が表示されます。
- 3 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。

- 4 Executeを選択する。

File IDを変更するには

- 1 ユーザーファイルの場合は、ProjectメニューのUser Fileで、File ID(99ページ) を選択する。
ALLファイルの場合は、ProjectメニューのAll Fileで、File ID(99ページ) を選択する。
シーンファイルの場合は、PaintメニューのScene File(104ページ) で、File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 矢印ボタン(7ページ) またはマルチファンクションダイヤル(4ページ) で文字を選択し、SETボタン(7ページ) またはマルチファンクションダイヤルを押す。
- 3 手順2を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、Doneを選択する。

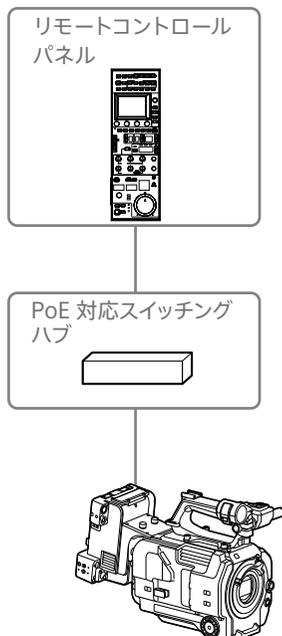
リモートコントロールパネルを接続する

RCP1500/1501/1530/3100/3500/3501などのリモートコントロールパネルと本機をLANケーブルで接続すると、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールできます。

リモートコントロールパネルを接続する

- 1 「LANケーブルを使用してデバイスと接続する」(62ページ)の手順に従って、有線LANネットワークの設定をする。
- 2 NetworkメニューのWired LANのCamera Remote Control(120ページ)をEnableにする。
- 3 TechnicalメニューのRCPのCNS Mode(115ページ)をBridgeに設定する。
- 4 リモートコントロールパネルをBRIDGEモードに設定する。
- 5 本機のIPアドレスをリモートコントロールパネルに設定する。
設定方法については、各リモートコントロールパネルの取扱説明書をご覧ください。

- 6 本機に取り付けたXDCA-FX9(25ページ)の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続し、リモートコントロールパネルと接続する。



- 7 本機の電源を入れる。
本機はリモートコントロールモードになり、リモートコントロールパネルで本機の撮影操作が可能となります。

[ご注意]

- 無線LANで接続することはできません。
- インターネット経由で接続することはできません。
- 他のネットワーク機能と同時に使用することはできません。

リモートコントロールモードを解除する

本機の電源を切り、リモートコントロールパネルを取り外します。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、MonitoringメニューのOutput Display (107ページ) をOnに設定してください。

SDI OUT端子(BNC型)

Monitoringメニュー (107ページ) で、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

[ご注意]

本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。

(75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。) やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、ProjectメニューのSDI/HDMI Rec Control(96ページ) のSettingをSDI/HDMI Remote I/FまたはParallel Recに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器

にRECTリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

[ご注意]

- 接続した外部機器がRECTリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- 録画START/STOPボタンとハンドル録画START/STOPボタンが異なるメディアに記録操作する設定になっているときは、スロットAの動作に合わせてRECTリガー信号が出力されます。

HDMI OUT端子(Type Aコネクタ)

Monitoringメニュー (107ページ) で、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。

外部同期

本機のGenlock端子を介して、本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができません。

映像信号の位相を合わせる(ゲンロック)

本機のIN/OUT切り替えスイッチ(8ページ)をIN側に設定し、GENLOCK IN/REF OUT端子(8ページ)に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i 1280×720 59.94P
50P	1920×1080 50i 720×576 50i 1280×720 50P
29.97P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
25P	1920×1080 50i 720×576 50i
24P	1920×1080 48i(24PsF)
23.98P	1920×1080 47.95i (23.98PsF)
59.94i	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
50i	1920×1080 50i 720×576 50i

[ご注意]

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。

- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード(Free RunやClock)に設定してください。

- TC/MediaメニューのTimecode(105ページ)を次のように設定する。
Mode : Preset
Run : Free Run
- DURATION/TC/U-BIT機能が割り当てられたアサインボタン(47ページ)を押して、画面にタイムコードを表示させる。
- IN/OUT切り替えスイッチ(8ページ)がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN/REF OUT端子とTC IN/OUT端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

[ご注意]

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/MediaメニューのTimecodeの設定を変更してください。

システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード(スロー&クイックモーションまたはインターバルレック)での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されません。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード(Free RunやClock)に設定してください。

- TC/MediaメニューのTimecodeで本機のタイムコードを設定する(105ページ)。

- IN/OUT切り替えスイッチ(8ページ)がOUT側になっていることを確認し、TC IN/OUT端子とGENLOCK IN/REF OUT端子を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。

コンピューターでクリップ管理・編集する

USBケーブルを使って接続する

XQDカードリーダー（別売）を使う

XQDカードリーダーをUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。なお、対応したコンピューターの場合、本機のマストレージモードを使用するよりも高速に、クリップを取り込むことができます。

本機のマストレージモードを使う

本機をUSBケーブルで接続すると、XQDカードスロットA/Bに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

1 本機のグリップリモコンを取り外し、USB/マルチ端子(4ページ)とコンピューターをUSBケーブルで接続する。

2 本機のPOWERスイッチをOnにする。ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[ご注意]

XQDメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されません。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

3 マルチファンクションダイヤルを回してExecuteを選ぶ。

4 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。
Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

[ご注意]

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源を切る。電源コードを抜く
 - XQDメモリーカードを抜く
 - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売)が必要です。

専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

使用上のご注意

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

LCDパネルについて

本機のLCD(液晶)パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。また、LCD(液晶)パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

【ご注意】

撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき

- ゲイン(感度)を上げたとき

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変わったように見えることがあります。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はご購入の店にご相談ください。
- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- 機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に

関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないままで3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

イメージセンサーの自動調整について

日時の設定後一定時間以上APRを実行しない場合、APRを促すメッセージが表示されます。

使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は0℃～40℃)。
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。雨が当たる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

セキュリティに関するご注意

- 安全に設計されたファイアウォールの下で使用してください。信用できない機器に接続される可能性があるネットワークには、本機を接続しないでください。
- FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されないため、FTPSを使用できる場合はFTPSを使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。

- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します(118ページ)。特にOpenのネットワークに接続する場合はご注意ください。

また、セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。

ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

出力のフォーマットと制限

初期設定値は、**太文字**(例: **1920×1080P (Level A)**) で示します。

[ご注意]

- 出力フォーマットの解像度はProjectメニューのRec FormatのFrequencyおよびVideo Formatなどの設定によって制限されます(93ページ)。
- 再生画像より映像出力の解像度が大きい場合、映像は出力されません。

SDI OUT/HDMI OUT端子の出力フォーマット

システム周波数 (Projectメニュー >Rec Formatの Frequency)	録画フォーマット設 定(Projectメニュー >Rec Formatの Video Format)	出力フォーマット(Monitoring>Output Format)		
		SDI1	SDI2	HDMI
59.94 / 50	4096×2160P	4096×2160P	—	4096×2160P
		1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)
		1920×1080P (Level B)	1920×1080P (Level B)	—
		1920×1080P (Level A)	1920×1080i	1920×1080i
		1920×1080P (Level B)	1920×1080i	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
		3840×2160P	3840×2160P	—
	1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)	
	1920×1080P (Level B)	1920×1080P (Level B)	—	
	1920×1080P (Level A)	1920×1080i	1920×1080i	
	1920×1080P (Level B)	1920×1080i	1920×1080i	
	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i	

システム周波数 (Projectメニュー >Rec Formatの Frequency)	録画フォーマット設 定(Projectメニュー >Rec Formatの Video Format)	出力フォーマット(Monitoring>Output Format)				
		SDI1	SDI2	HDMI		
59.94 / 50	1920×1080P / RAWのみ ¹⁾	1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)	1920×1080P (Level A)		
		1920×1080P (Level B)	1920×1080P (Level B)	—		
		1920×1080P (Level A)	1920×1080i	1920×1080i		
		1920×1080P (Level B)	1920×1080i	1920×1080i		
		1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i		
		—	—	720×480P/ 720×576P		
		29.97 / 25	4096×2160P	4096×2160P	—	4096×2160P
				1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)
			3840×2160P	3840×2160P	—	3840×2160P
				1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)
	1920×1080P / RAWのみ ¹⁾	1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)	1920×1080i(PsF)		
24	4096×2160 RAWのみ ¹⁾	4096×2160P	—	4096×2160P		
		1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		
		1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		
23.98	4096×2160P	4096×2160P	—	4096×2160P		
		1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		
		1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		
		3840×2160P	3840×2160P	—	3840×2160P	
		1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		
	1920×1080P / RAWのみ ¹⁾	1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P		

1) 内蔵記録なしの場合

モニター LUTの制限

モニター LUT機能は、Cine EIモードで記録解像度4096×2160または3840×2160のとき、使用できません。

ShootingメニューのMonitor LUT SettingのMonitor OutをMLUT Onに設定した場合、映像出力解像度1920×1080は、モニター LUTが当たった映像となります。

映像出力解像度4096×2160または3840×2160は、記録映像と同じ映像となります。

画面表示出力の制限

各出力信号(SDI1、SDI2、HDMI)へのメニューやステータス重畳のOn/Offの状態は、Output Formatの出力解像度とMonitoringメニューのOutput DisplayのSettingの設定によって以下のよう
に決まります。

出力解像度	Output Display> Setting	Output Display> SDI1	Output Display> SDI2	Output Display> HDMI
4K	On	On	— (出力Off)	On
	Off	Off	— (出力Off)	Off
HD	<u>On</u>	Off	On	On
	Off	Off	Off	Off

トラブル時の対処

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける(18ページ)か、ACアダプターを使用してAC電源に接続する(19ページ)。
	バッテリーパックが完全に消費している。	充電済みのバッテリーパックと交換する(18ページ)。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消費している。	充電済みのバッテリーパックと交換する(18ページ)。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す(18ページ)。 フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対策
録画ボタンを押しても記録が始まらない。	XQDメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるXQDメモリーカードに交換する。
	修復が必要なXQDメモリーカードが入っている。	XQDメモリーカードを修復する(31ページ)。
音声が記録できない。	AUDIO LEVEL(CH1/CH2/CH3/CH4)ダイヤルが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL(CH1/CH2/CH3/CH4)ダイヤルを調節する(45ページ)。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL(CH1/CH2/CH3/CH4)ダイヤルを調節する(45ページ)。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL(CH1/CH2/CH3/CH4)ダイヤルを調節する(45ページ)。 外部マイク選択時は、AudioメニューのAudio InputのINPUT MIC Referenceの設定値も調節する(110ページ)。

症状	原因	対策
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。 コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。 クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です(129ページ)。

ワイヤレスLAN使用時

【ご注意】

本機とワイヤレスLANアクセスポイントまたは端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
端末機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスLANの接続(IPアドレスなど)を確認してください アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
Webリモコンが表示できない	IPアドレスを確認してください。

インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	3G/4Gの電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

NDフィルター使用時

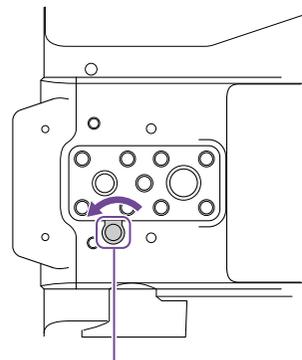
症状	対策
NDフィルターが動かない。	次の作業により、手動でClearの位置に移動させることができます。

1 本機のPOWERスイッチをOffにする。

2 底面の丸いフタを外す。

3 ドライバーを穴に差し込んで左に回す。

- 左に回すことで、NDフィルターがClear側に動きます。Clearの位置になるまで回し続けてください。
- φ2.4以下のマイナスドライバーを使用してください。ドライバー挿入部の深さは約3.0 cmです。



ドライバー挿入部
(フタを外した状態)

4 ND PRESET/VARIABLEスイッチ(6ページ)をPRESETの位置にして、ND FILTER POSITION上下ボタン(6ページ)をCLEARの位置にする。

【ご注意】

- 上記の作業は、通常の動作時には行わないでください。NDフィルターが動かなくなった場合のみに行ってください。通常の動作時に行うと、NDユニットが故障するおそれがあります。
- 上記の作業を行ったあと、サービスセンターで本機を修理してください。
- 上記の作業を行ってもエラーメッセージが出たままの場合がありますが、撮影は可能です。

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、記録/タリールンプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

ビューファインダー 警告表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (POWERスイッチをOffにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。)本機の状態によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

ビューファインダー 警告表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。早い機会に充電してください。
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。一旦操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。一旦電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。

ビューファインダー 警告表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。記録はできません。他の電源に接続し直してください。
Media Near Full	断続音	点滅	XQDメモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	XQDメモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。交換してください。
Clips Near Full	断続音	点滅	XQDメモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Clips Full	連続音	高速点滅	XQDメモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
Last Clip Recording	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいXQDメモリーカードをご用意ください。
Media(A) ¹⁾ Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Last Clip Rec	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Transfer Jobs Near Full	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
Transfer Jobs Full	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 ²⁾

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

2) NetworkメニューのFile Transfer > View Job List(122ページ) からジョブを選んで削除することができます。または、CBMのジョブリストからジョブを削除することができます。

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を充電してください。
Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機では未対応のメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media(A) ¹⁾ Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media(A) ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Copy All Sub Clips NG: Reached Clip Number Limit NG: Same File Already Exists NG: Not Enough Capacity	Copy All Sub Clipsの全コピーが、表示されている理由で完了しませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> 最大クリップ数になった 同名のファイルが存在する メディアの残量が足りない メディアを交換してください。
The specified address is invalid.	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。

表示内容	原因と対策
Cannot Use Specified Port Number	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Fan Stopped	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なAllファイルが読み込まれたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度Allファイルの保存を実行してください。
Lens I/F Error(xx:xx)	Eマウントレンズ装着時にレンズI/F通信でレンズの不具合が検出されました。 Eマウントレンズとの接続状態を確認してください。 改善しない場合は、ソニーのサービス担当者にエラーコード(括弧内の5文字)をお伝えください。
This Multi Term. acc is not supported by the device and cannot be used. Please verify the compatibility.	非対応のアクセサリが検出されました。 本機が対応するマルチ端子アクセサリは、付属のグリップリモコンのみです。
Failed.	DHCP Onでアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
Addition of auto upload job failed.	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。 正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Not found.	指定した<SSID>のネットワーク(アクセスポイント)が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Authentication Failed	指定した<SSID>のネットワーク(アクセスポイント)の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.	ワイヤレスLANと有線LANがモデム、またはモデム同士のネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.	ワイヤレスLANアクセスポイントモードと有線LAN、またはモデムのネットワークアドレスが衝突したため、ワイヤレスLANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 IPアドレスを確認してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

ファイルに保存される項目

セットアップメニューによる設定項目

Yes : ファイルに保存されます

No : ファイルに保存されません

— : ファイルに保存されません(一時的動作メニュー)

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Shooting	ISO/Gain/El	Mode	Yes	Yes
		ISO/Gain<H>	Yes	Yes
		ISO/Gain<M>	Yes	Yes
		ISO/Gain<L>	Yes	Yes
		Exposure Index<H>	Yes	Yes
		Exposure Index<M>	Yes	Yes
		Exposure Index<L>	Yes	Yes
		Shockless Gain	Yes	Yes
		Base Sensitivity	Yes	Yes
		Base ISO	Yes	Yes
	ND Filter	Preset1	Yes	Yes
		Preset2	Yes	Yes
		Preset3	Yes	Yes
	Shutter	Mode	Yes	Yes
		Shutter Speed On/Off	Yes	Yes
		Shutter Speed	Yes	Yes
		Shutter Angle	Yes	Yes
		ECS On/Off	Yes	Yes
		ECS Frequency	Yes	Yes

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Shooting	Auto Exposure	Level	Yes	Yes	
		Mode	Yes	Yes	
		Speed	Yes	Yes	
		AGC	Yes	Yes	
		AGC Limit	Yes	Yes	
		AGC Point	Yes	Yes	
		Auto Shutter	Yes	Yes	
		A.SHT Limit	Yes	Yes	
		A.SHT Point	Yes	Yes	
		Clip High light	Yes	No	
		Detect Window	Yes	No	
		Detect Window Indication	Yes	Yes	
		Average Peak Level Ratio	Yes	No	
		Custom Width	Yes	No	
		Custom Height	Yes	No	
	White	White	Custom H Position	Yes	No
			Custom V Position	Yes	No
			Preset White	Yes	No
			Color Temp <A>	Yes	Yes ^{*1}
			Tint<A>	Yes	Yes ^{*1}
R Gain <A>			Yes	Yes ^{*1}	
B Gain <A>			Yes	Yes ^{*1}	
Color Temp 			Yes	Yes ^{*1}	
Tint			Yes	Yes ^{*1}	
R Gain 			Yes	Yes ^{*1}	
B Gain 	Yes	Yes ^{*1}			
White Setting	White Setting	Shockless White	Yes	No	
		ATW Speed	Yes	No	
		White Switch	Yes	Yes	
		Filter White Memory	Yes	No	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Shooting	Offset White	Offset White <A>	Yes	No
		Offset Color Temp<A>	Yes	No
		Offset Tint<A>	Yes	No
		Offset White 	Yes	No
		Offset Color Temp	Yes	No
		Offset Tint	Yes	No
		Offset White<ATW>	Yes	No
		Offset Color Temp<ATW>	Yes	No
		Offset Tint<ATW>	Yes	No
	Focus	AF Transition Speed	Yes	No
		AF Subj. Shift Sens.	Yes	No
		Focus Area	Yes	No
		Focus Area (AF-S)	Yes	No
		Face/Eye Detection AF	Yes	No
		Push AF Mode	Yes	No
		Touch Function in MF	Yes	No
		AF Assist	Yes	No
		S&Q Motion	Setting	Yes
	Frame Rate		Yes	No
Monitor LUT	Category	Yes	No	
	LUT Select	Yes	No	
	User 3D LUT Select	Yes	No	
Monitor LUT Setting	Internal Rec	Yes	No	
	Monitor Out	Yes	No	
	HD(Sub) Rec/Proxy	—	—	
	SDI1	—	—	
	SDI2	—	—	
	HDMI	—	—	
	VF/Streaming	—	—	
Monitor 3D LUT	Load from Utility SD/MS	—	—	
	Load from Cloud(Private)	—	—	
	Load from Cloud(Share)	—	—	
	Reset	—	—	
	Reset All	—	—	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Shooting	Noise Suppression	Setting(SDR/HDR)	Yes	Yes	
		Level(SDR/HDR)	Yes	Yes	
		Setting(Cine EI)	Yes	No	
		Level(Cine EI)	Yes	No	
	Flicker Reduce	Mode	Yes	No	
		Frequency	Yes	No	
	SteadyShot	Setting	Yes	No	
	Auto Black Balance	Auto Black Balance	—	—	
	Project	Base Setting	Shooting Mode	Yes	No
		Rec Format	Frequency	Yes	No
Imager Scan Mode			Yes	No	
Codec			Yes	No	
RAW Output Format			Yes	No	
Video Format			Yes	No	
Cine EI Setting		Color Gamut	Yes	No	
HDR Setting		Embed LUT File	Yes	No	
		VF SDR Preview	Yes	No	
Simul Rec		SDR Gain	Yes	No	
		Setting	Yes	No	
4K & HD (Sub) Rec		Rec Button Set	Yes	No	
		Setting	Yes	No	
Proxy Rec		Setting	Yes	No	
		Proxy Format	Yes	No	
		Audio Channel	Yes	No	
		Chunk	Yes	No	
Interval Rec		Setting	No	No	
		Interval Time	Yes	No	
	Number of Frames	Yes	No		
	Pre-Lighting	Yes	No		
Picture Cache Rec	Setting	Yes	No		
	Cache Rec Time	Yes	No		
SDI/HDMI Rec Control	Setting	Yes	No		

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Project	Assignable Button	<1>	Yes	No	
		<2>	Yes	No	
		<3>	Yes	No	
		<4>	Yes	No	
		<5>	Yes	No	
		<6>	Yes	No	
		<7>	Yes	No	
		<8>	Yes	No	
		<9>	Yes	No	
		<10>	Yes	No	
		Focus Hold Button	Yes	No	
		Assignable Dial	Assignable Dial	Yes	No
			Assignable Dial Direction	Yes	No
		Multi Function Dial	Default Function	Yes	No
		User File	Load from Utility SD/MS	—	—
			Save to Utility SD/MS	—	—
			File ID	No	No
			Load Customize Data	Yes	No
			Load White Data	Yes	No
		All File	Load from Utility SD/MS	—	—
			Load from Cloud(Private)	—	—
			Load from Cloud(Share)	—	—
			Save to Utility SD/MS	—	—
			Save to Cloud(Private)	—	—
			Save to Cloud(Share)	—	—
			File ID	Yes	No
		Load Network Data	No	No	
	Planning Metadata	Load from Media(A)	—	—	
		Load from Media(B)	—	—	
		Properties	—	—	
		Clear Memory	—	—	
		Clip Name Display	Yes	No	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Paint	HDR Paint Setting	HLG Look	Yes	Yes	
		HDR Black Offset	Yes	Yes	
		HDR Knee	Yes	Yes	
		HDR Knee Point	Yes	Yes	
		HDR Knee Slope	Yes	Yes	
		Black	Master Black	Yes	Yes
			R Black	Yes	Yes
			B Black	Yes	Yes
		Gamma	Setting	Yes	Yes
			Step Gamma	Yes	Yes
			Master Gamma	Yes	Yes
			R Gamma	Yes	Yes
			G Gamma	Yes	Yes
			B Gamma	Yes	Yes
			Gamma Category	Yes	Yes
			Gamma Select	Yes	Yes
		Black Gamma	Setting	Yes	Yes
			Range	Yes	Yes
			Master Black Gamma	Yes	Yes
		Knee	Setting	Yes	Yes
			Auto Knee	Yes	Yes
			Point	Yes	Yes
			Slope	Yes	Yes
	Knee Saturation		Yes	Yes	
		Knee Saturation Level	Yes	Yes	
	White Clip	Setting	No	Yes	
		Level	Yes	Yes	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Paint	Detail(4K/QFHD)	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes
		H/V Ratio	Yes	Yes
		Crispening	Yes	Yes
		Frequency	Yes	Yes
		Knee Aperture	Yes	Yes
		Knee Aperture Level	Yes	Yes
		White Limit	Yes	Yes
		Black Limit	Yes	Yes
		V Detail Creation	Yes	Yes
		Detail(HD)	Setting	Yes
	Level		Yes	Yes
	H/V Ratio		Yes	Yes
	Crispening		Yes	Yes
	Frequency		Yes	Yes
	Knee Aperture		Yes	Yes
	Knee Aperture Level		Yes	Yes
	White Limit		Yes	Yes
	Black Limit		Yes	Yes
	V Detail Creation		Yes	Yes
	Skin Detail		Setting	Yes
		Area Detection	—	—
		Area Indication	No	No
		Level	Yes	Yes
		Saturation	Yes	Yes
		Hue	Yes	Yes
		Width	Yes	Yes
	Aperture	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Paint	Matrix	Setting	Yes	Yes	
		Adaptive Matrix	Yes	Yes	
		Preset Matrix	Yes	Yes	
		Preset Select	Yes	Yes	
		User Matrix	Yes	Yes	
		User Matrix Level	Yes	Yes	
		User Matrix Phase	Yes	Yes	
		User Matrix R-G	Yes	Yes	
		User Matrix R-B	Yes	Yes	
		User Matrix G-R	Yes	Yes	
		User Matrix G-B	Yes	Yes	
		User Matrix B-R	Yes	Yes	
		User Matrix B-G	Yes	Yes	
		Multi Matrix	Setting	Yes	Yes
			Area Indication	No	No
	Color Detection		—	—	
	Reset		—	—	
	Axis		No	No	
	Hue		Yes	Yes	
	Saturation		Yes	Yes	
	Scene File		Recall Internal Memory	—	—
		Store Internal Memory	—	—	
		Load from Utility SD/MS	—	—	
		Save to Utility SD/MS	—	—	
		File ID	No	Yes	
		Scene White Data	Yes	No	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
TC/Media	Timecode	Mode	Yes	No
		Run	Yes	No
		Setting	No	No
		Reset	—	—
		TC Format	Yes	No
	TC Display	Display Select	Yes	No
	Users Bit	Mode	Yes	No
		Setting	No	No
	HDMI TC Out	Setting	Yes	No
	Clip Name Format	Auto Naming	Yes	No
		Camera ID	No	No
		Reel Number	No	No
		Camera Position	No	No
		Title Prefix	Yes	No
	Update Media	Media(A)	—	—
		Media(B)	—	—
	Format Media	Media(A)	—	—
		Media(B)	—	—
		Utility SD/MS	—	—

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Monitoring	Output On/Off	SDI1	Yes	No
		SDI2	Yes	No
		HDMI	Yes	No
	Output Format	SDI1	Yes	No
		SDI2	Yes	No
		HDMI	Yes	No
		REF	No	No
	Output Setting	RAW to HD Conv.	Yes	No
	Output Display	Setting	Yes	No
		SDI1	Yes	No
		SDI2	Yes	No
		HDMI	Yes	No
	Display On/Off	Network Status	Yes	No
		File Transfer Status	Yes	No
		NCM/Streaming Status	Yes	No
		Rec/Play Status	Yes	No
		RAW Output Control Status	Yes	No
		Tally	Yes	No
		Battery Remain	Yes	No
		Focus Mode	Yes	No
		Focus Position	Yes	No
		Focus Marker	Yes	No
		Focus Area Indicator	Yes	No
		Focus Area Ind.(AF-S)	Yes	No
		Face/Eye Detection Frame	Yes	No
		Lens Info	Yes	No
		Imager Scan Mode	Yes	No
	Rec Format	Yes	No	
	Frame Rate	Yes	No	
	Zoom Position	Yes	No	
	UWP RF Level	Yes	No	
	GPS	Yes	No	
	SteadyShot	Yes	No	
Gamma/LUT	Yes	No		
SDI/HDMI Rec Control	Yes	No		

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Monitoring	Display On/Off	Gamma Display Assist	Yes	No
		Proxy Status	Yes	No
		Base ISO/Sensitivity	Yes	No
		Media Status	Yes	No
		Video Signal Monitor	Yes	No
		Clip Name	Yes	No
		White Balance	Yes	No
		Scene File	Yes	No
		Focus Indicator	Yes	No
		Auto Exposure Mode	Yes	No
		Auto Exposure Level	Yes	No
		Timecode	Yes	No
		ND Filter	Yes	No
		Iris	Yes	No
		ISO/Gain/El	Yes	No
		Shutter	Yes	No
		Level Gauge	Yes	No
		Audio Level Meter	Yes	No
		Video Level Warning	Yes	No
		Clip Number	Yes	No
Notice Message	Yes	No		

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File		
Monitoring	Marker	Setting	Yes	No		
		Color	Yes	No		
		Center Marker	Yes	No		
		Safety Zone	Yes	No		
		Safety Area	Yes	No		
		Aspect Marker	Yes	No		
		Aspect Mask	Yes	No		
		Aspect Safety Zone	Yes	No		
		Aspect Safety Area	Yes	No		
		Aspect Select	Yes	No		
		Guide Frame	Yes	No		
		100% Marker	Yes	No		
		User Box	Yes	No		
		User Box Width	Yes	No		
		User Box Height	Yes	No		
		User Box H Position	Yes	No		
		User Box V Position	Yes	No		
		VF Setting		Contrast	Yes	No
				Brightness	Yes	No
				Color Mode	Yes	No
	De-Squeeze		Yes	No		
Gamma Display Assist		Setting	Yes	No		
Peaking		Setting	Yes	No		
		Type	Yes	No		
		Normal Peaking Frequency	Yes	No		
		Normal Peaking Level	Yes	No		
		Color	Yes	No		
	Color Peaking Level	Yes	No			
Zebra		Setting	Yes	No		
		Zebra Select	Yes	No		
		Zebra1 Level	Yes	No		
		Zebra1 Aperture Level	Yes	No		
		Zebra2 Level	Yes	No		

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File	
Audio	Audio Input	CH1 MI SHOE Input Select	Yes	No	
		CH2 EXT Input Select	Yes	No	
		CH2 MI SHOE Input Select	Yes	No	
		CH3 Input Select	Yes	No	
		CH4 Input Select	Yes	No	
		INPUT1 MIC Reference	Yes	No	
		INPUT2 MIC Reference	Yes	No	
		Line Input Reference	Yes	No	
		Reference Level	Yes	No	
		CH1 Wind Filter	Yes	No	
		CH2 Wind Filter	Yes	No	
		CH3 Wind Filter	Yes	No	
		CH4 Wind Filter	Yes	No	
		CH3 Level Control	Yes	No	
		CH4 Level Control	Yes	No	
		Audio Input Level	Yes	No	
		Limiter Mode	Yes	No	
		CH1&2 AGC Mode	Yes	No	
		CH3&4 AGC Mode	Yes	No	
		AGC Spec	Yes	No	
		1kHz Tone on Color Bars	Yes	No	
		CH1 Level	Yes	No	
		CH2 Level	Yes	No	
		CH3 Level	Yes	No	
		CH4 Level	Yes	No	
		Audio Output	Monitor CH	Yes	No
			Headphone Out	Yes	No
	Alarm Level		Yes	No	
	HDMI Output CH		Yes	No	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Thumbnail	Display Clip Properties		—	—
	Set Shot Mark	Delete Shot Mark1	—	—
		Delete Shot Mark2	—	—
	Set Clip Flag	Add OK	—	—
		Add NG	—	—
		Add KEEP	—	—
		Delete Clip Flag	—	—
	Lock/Unlock Clip	Select Clip	—	—
		Lock All Clips	—	—
		Unlock All Clips	—	—
	Delete Clip	Select Clip	—	—
		All Clips	—	—
	Copy Clip	Select Clip	—	—
		All Clips	—	—
	Copy Sub Clip	All Clips	—	—
		Transfer Clip	Select Clip	—
	All Clips		—	—
	Transfer Clip (Proxy)	Select Clip	—	—
		All Clips	—	—
	Set Index Picture		—	—
	Thumbnail View	Essence Mark Thumbnail	—	—
		Clip Thumbnail	—	—
	Filter Clips	OK	—	—
NG		—	—	
KEEP		—	—	
None		—	—	
All		—	—	
Customize View	Thumbnail Caption	Yes	No	

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Technical	Color Bars	Setting	No	No
		Type	Yes	No
	Test Saw	Test Saw	Yes	No
	ND Dial	CLEAR with Dial	Yes	No
	Tally	Front Tally Lamp	Yes	No
		Rear Tally Lamp	Yes	No
		Tally Control	Yes	No
	HOLD Switch Setting	with Rec Button	Yes	No
		with Hand Grip Remote	Yes	No
	Touch Operation	Setting	Yes	No
	Rec Review	Setting	Yes	No
	Handle Zoom	Setting	Yes	No
		High	Yes	No
		Low	Yes	No
	GPS	GPS	Yes	No
	Menu Settings	User Menu Only	Yes	No
		User Menu with Lock	No	No
	Status Page On/Off	Main	Yes	No
		Camera	Yes	No
		Audio	Yes	No
		Project	Yes	No
		Monitoring	Yes	No
		Assignable Button	Yes	No
		Battery	Yes	No
		Media	Yes	No
		GPS	Yes	No
		Network	Yes	No
		NCM/Streaming	Yes	No
		File Transfer	Yes	No
		RCP	CNS Mode	Yes
	Detail Control(RCP)		Yes	No
	Fan Control	Setting	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Technical	Lens	Zoom Ring Direction	Yes	No
		Shading Compensation	Yes	No
		Chroma Aberration Comp.	Yes	No
		Distortion Comp.	Yes	No
		Distance Display	Yes	No
		Zoom Position Display	Yes	No
		Iris Display	Yes	No
	Video Light Set	Video Light Set	Yes	No
	APR	APR	—	—
	Camera Battery Alarm	Low Battery	Yes	No
		Battery Empty	Yes	No
	Camera DC IN Alarm	DC Low Voltage1	Yes	No
		DC Low Voltage2	Yes	No
	Ext. Unit Battery Alarm	Near End:Info Battery	Yes	No
		End:Info Battery	Yes	No
		Near End:Sony Battery	Yes	No
		End:Sony Battery	Yes	No
		Near End:Other Battery	Yes	No
	Ext. Unit DC IN Alarm	DC Low Voltage1	Yes	No
		DC Low Voltage2	Yes	No
		Detected Battery	No	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Network	Setup for Mobile App	Setup	—	—
	Access Authentication	User Name	No	No
		Input Password	No	No
		Generate Password	No	No
		Show Settings	No	No
	Wireless LAN	Setting	Yes	No
		WPS	—	—
		NFC	—	—
		MAC Address	—	—
	AP Mode Settings	Channel	Yes	No
		Camera SSID & Password	—	—
		Regenerate Password	—	—
		IP Address	—	—
		Subnet Mask	—	—

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Network	ST Mode Settings	Camera Remote Control	Yes	No
		Connected Network		
		SSID	—	—
		Security	—	—
		Password	—	—
		DHCP	—	—
		IP Address	—	—
		Subnet Mask	—	—
		Gateway	—	—
		DNS Auto	—	—
		Primary DNS Server	—	—
		Secondary DNS Server	—	—
		Scan Networks		
		SSID	—	—
		Security	—	—
		Password	No	No
		DHCP	Yes	No
		IP Address	Yes	No
		Subnet Mask	Yes	No
		Gateway	Yes	No
		DNS Auto	Yes	No
		Primary DNS Server	Yes	No
		Secondary DNS Server	Yes	No
		Manual Register		
		SSID	Yes	No
		Security	Yes	No
		Password	No	No
		DHCP	Yes	No
		IP Address	Yes	No
		Subnet Mask	Yes	No
		Gateway	Yes	No
		DNS Auto	Yes	No
		Primary DNS Server	Yes	No
		Secondary DNS Server	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File		
Network	Wired LAN	Setting	Yes	No		
		Camera Remote Control	Yes	No		
		Detail Settings				
		DHCP	Yes	No		
		IP Address	Yes	No		
		Subnet Mask	Yes	No		
		Gateway	Yes	No		
		DNS Auto	Yes	No		
		Primary DNS Server	Yes	No		
		Secondary DNS Server	Yes	No		
	Modem	Setting	Yes	No		
		Camera Remote Control	Yes	No		
		Modem1 IP Address	—	—		
		Modem1 Subnet Mask	—	—		
		Modem2 IP Address	—	—		
		Modem2 Subnet Mask	—	—		
	Network Client Mode	Setting	Yes	No		
		NCM Settings Select	Yes	No		
		NCM Settings1/NCM Settings2/NCM Settings3				
		Display Name	Yes	No		
CCM Address		Yes	No			
CCM Port		Yes	No			
User Name		No	No			
Password		No	No			
CCM Certificate		—	—			
CCM Certificate Status		—	—			
Camera Control		Yes	No			
Camera Setting		No	No			
Reset		—	—			
Streaming Quality		Yes	No			

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File		
Network	File Transfer	Auto Upload	Yes	No		
		Auto Upload (Proxy)	Yes	No		
		Default Upload Server	Yes	No		
		Clear Completed Jobs	—	—		
		Clear All Jobs	—	—		
		View Job List	—	—		
		Server Settings(NCM)	—	—		
		Server Settings1/Server Settings2/Server Settings3				
		Display Name	Yes	No		
		Service	Yes	No		
		Host Name	Yes	No		
		Port	Yes	No		
		User Name	No	No		
	Password	No	No			
	Passive Mode	Yes	No			
	Destination Directory	Yes	No			
	Using Secure Protocol	Yes	No			
	Root Certificate	—	—			
	Root Certificate Status	—	—			
	Reset	—	—			
Network Reset	Reset	—	—			

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Maintenance	Language	Select	Yes	No
	Clock Set	Time Zone	Yes	No
		Date Mode	Yes	No
		12h/24h	Yes	No
		Date	No	No
		Time	No	No
Network Public Key	Key Creation	—	—	
	Key Clear	—	—	
	Create Key Date	—	—	
All Reset	Reset	—	—	
	Reset without Network	—	—	
Hours Meter	Hours(System)	—	—	
	Hours(Reset)	—	—	
	Reset	—	—	
Version	Version Number	—	—	
	Ext. Unit Version Number	—	—	
	Version Up	—	—	
	Lens Version Number	—	—	

*1 PaintメニューのScene FileのScene White DataがOffのときは読み込みされません。

アサインブルボタンによる設定項目

Yes：ファイルに保存されます

No：ファイルに保存されません

—：ファイルに保存されません(一時的動作メニュー)

アサインブルボタンの選択肢	All File	Scene File
ND Filter Position	Yes	Yes
Auto Iris	Yes	Yes
ATW	Yes	Yes ^{*1}
Focus Setting	Yes	No
Display	Yes	No
VF Adjust	Yes	No

*1 PaintメニューのScene FileのScene White DataがOffのときは読み込みされません。

アサインブルダイヤルによる設定項目

Yes：ファイルに保存されます

No：ファイルに保存されません

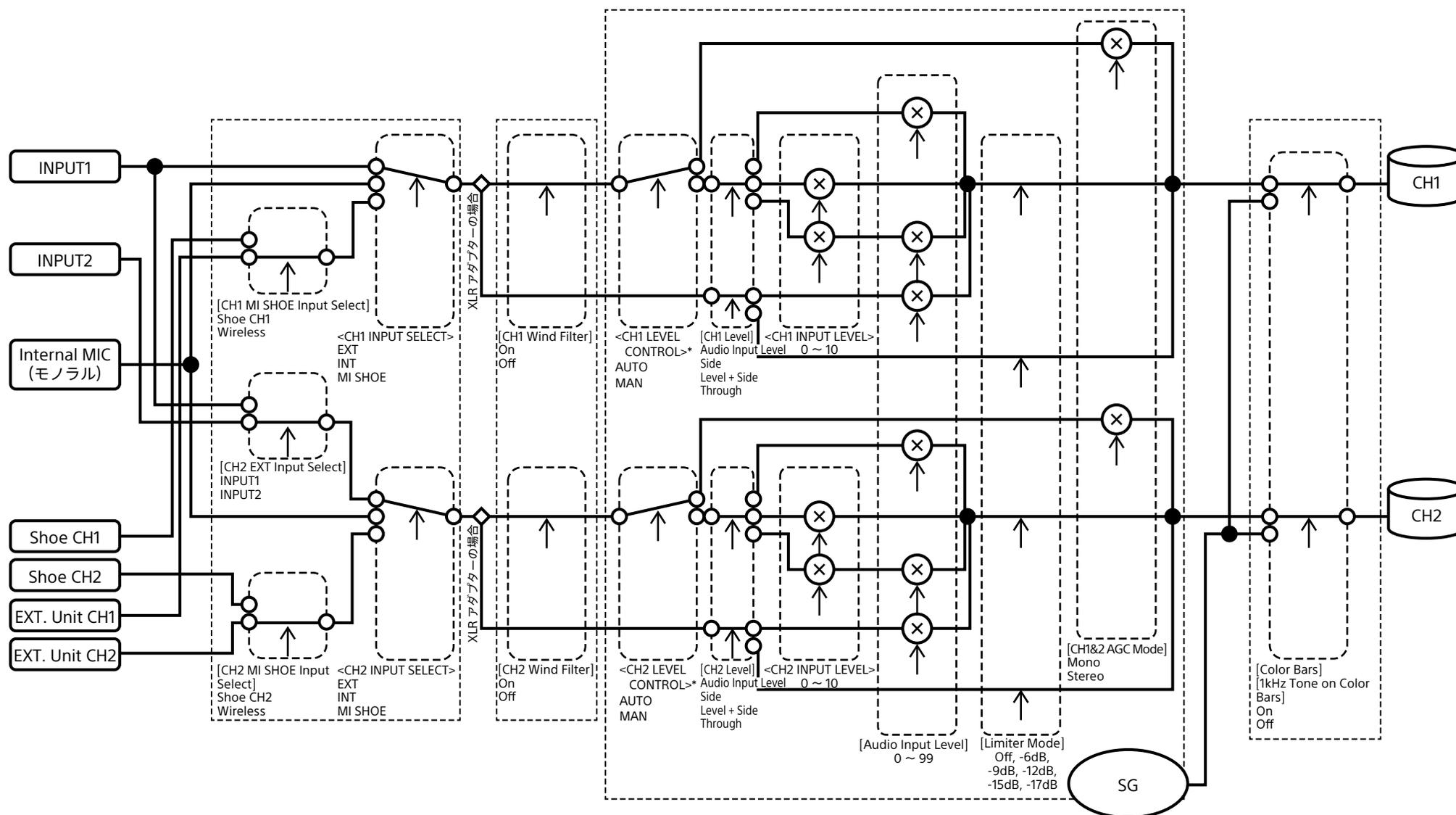
—：ファイルに保存されません(一時的動作メニュー)

アサインブルダイヤルの選択肢	All File	Scene File
IRIS	Yes	Yes
ND Filter	Yes	Yes
Audio Input Level	Yes	No

ブロックダイアグラム

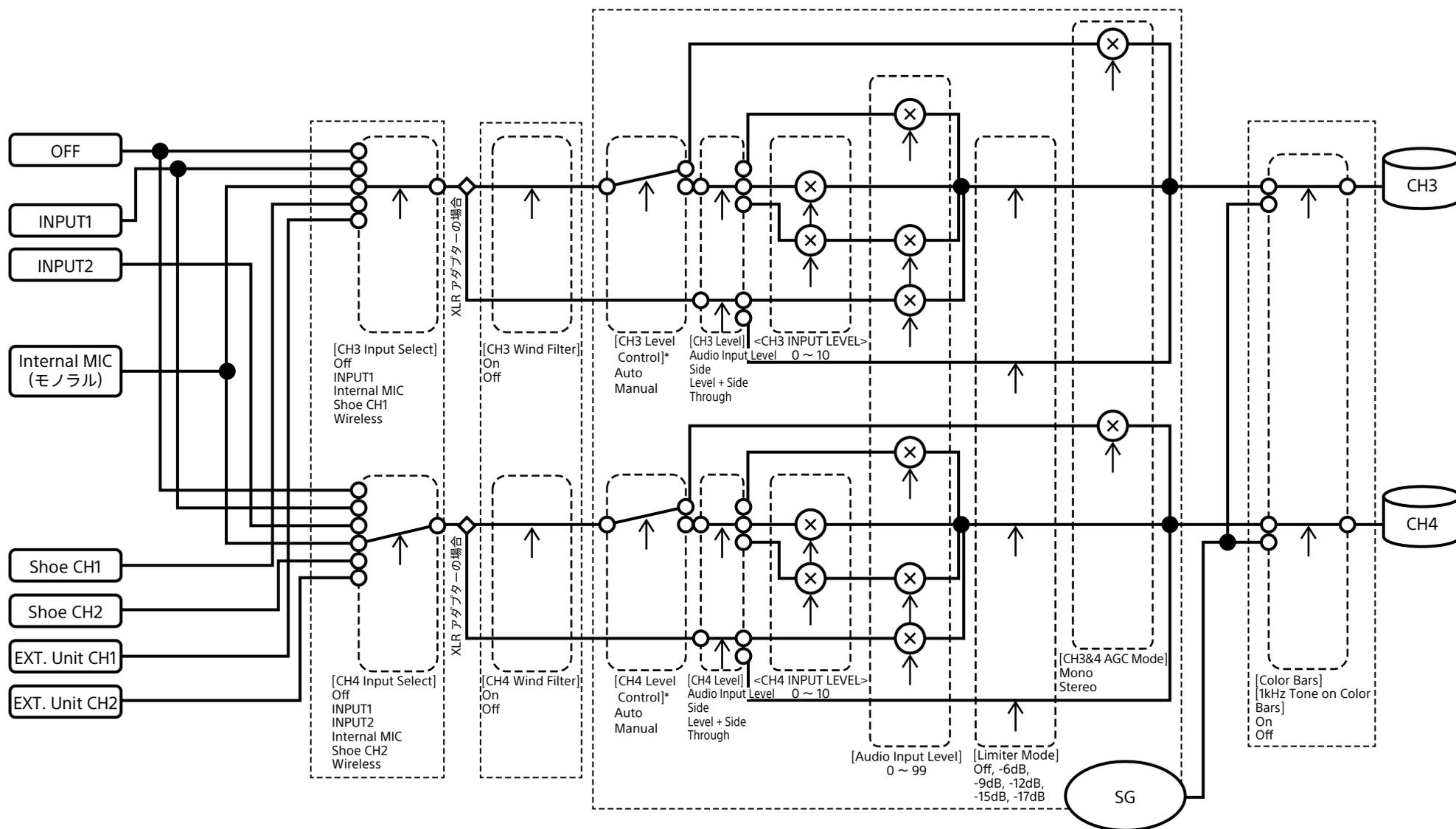
「収録する音声を設定する」(45ページ)と「Audioメニュー」(110ページ)の関連項目をあわせてご覧ください。

Audio Input (CH1&CH2)



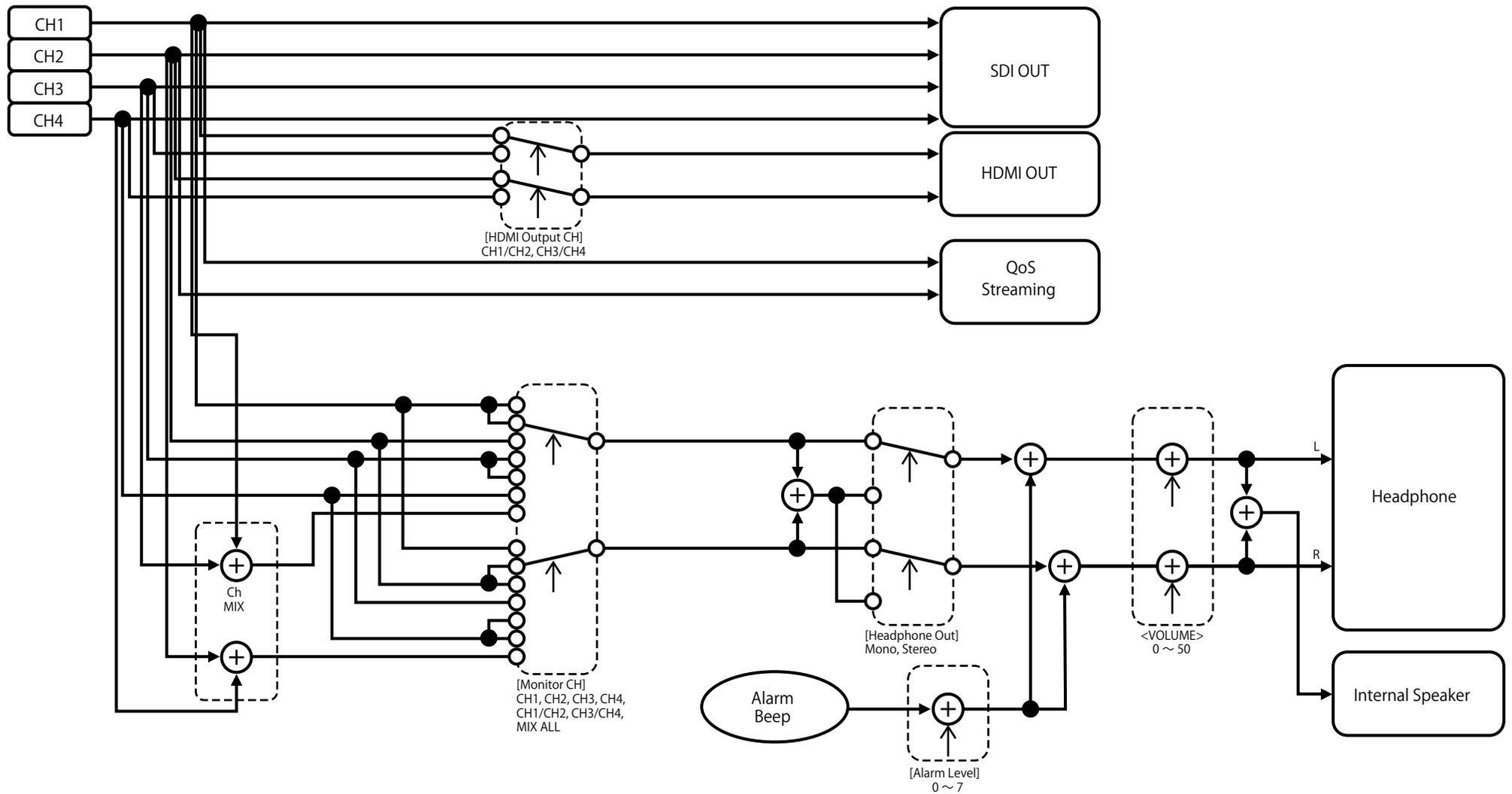
* XLRアダプターからの音声入力があるときはManualになります。

Audio Input (CH3&CH4)



* XLRアダプターからの音声入力があるときはManualになります。

Audio Output



Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

本機でEマウントレンズ本体のソフトウェアをアップデートできます。

アップデートできるレンズ本体とそのソフトウェアは、レンズのWebサイトをご覧ください。

バージョンを確認する

- 1 Eマウントレンズを本機に取り付ける(22ページ)。
- 2 MaintenanceメニューのVersionを選択してLens Version Numberを表示する(123ページ)。
Eマウントレンズのソフトウェアバージョン番号が横に表示されます。

ソフトウェアをアップデートする

本機をマスタストレージモードにします(129ページ)。

レンズのソフトウェアに添付された手順書に従ってソフトウェアをアップデートしてください。

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIOLICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO(消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE CONTAINED IN THE SOLID STATE MEMORY CAMCORDER, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE ACCEPTING THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT ACCEPT THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between you and Sony Corporation ("SONY"). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of SONY and/or its third party licensors (including SONY's affiliates) and their respective affiliates (collectively, the "THIRD-PARTY SUPPLIERS") contained in the wireless adapter, together with any updates/ upgrades provided by SONY, any printed, on-line or other electronic documentation for such software, and any data files created by operation of such software (collectively, the "SOFTWARE").

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement ("EXCLUDED SOFTWARE").

SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and "applets" incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited license to use the SOFTWARE solely in connection with the wireless adapter and only for your individual use. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one wireless adapter unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. The software, network services or other products other than SOFTWARE upon which the SOFTWARE'S performance depends might be interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses ("Open Source Components"), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit www.sony.com/linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect the copyright of content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, counting the frequency of your backup and restoration through certain SOFTWARE features, refusal to accept your request to enable restoration of data, and

termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES ("CONTENT SERVICE"). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any third party fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are the sole responsibility of the third party providing such service.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage ("HIGH RISK ACTIVITIES"). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided "AS IS," without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, NONINFRINGEMENT AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE'S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED OR UNMODIFIED, AND (E) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER'S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE PRODUCT. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE EXCLUSION OR LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

CONSENT TO USE OF NON-PERSONAL INFORMATION, LOCATION DATA, DATA SECURITY

You acknowledge and agree that SONY and its affiliates, partners and agents may read, collect, transfer, process and store certain information collected from the SOFTWARE, including but not limited to information about (i) the SOFTWARE and (ii) the software applications, contents and peripheral devices that interact with your wireless adapter and the SOFTWARE ("Information"). Information includes, but is not limited to: (1) unique identifiers relating to your wireless adapter and its components; (2) performance of the wireless adapter, the SOFTWARE and their components; (3) configurations of your wireless adapter, the SOFTWARE

and the software applications, contents and peripheral devices that interact with the wireless adapter and the SOFTWARE; (4) use and frequency of use of the functions of (x) the SOFTWARE, and (y) the software applications, contents and peripheral devices that interact with the SOFTWARE; and (5) location data, as indicated below. SONY and its affiliates, partners and agents may use and disclose Information subject to applicable laws in order to improve its products and services or to provide products or services to you. Such uses include, but are not limited to: (a) administering the functionalities of the SOFTWARE; (b) to improve, service, update or upgrade the SOFTWARE; (c) improving, developing and enhancing the current and future products and services of SONY and other parties; (d) to provide you with information about the products and services offered by SONY and other parties; (e) complying with applicable laws or regulations; and (f) to the extent offered, providing you with location-based services of SONY and other parties, as indicated below. In addition, SONY retains the right to use Information to protect itself and third parties from illegal, criminal or harmful conduct.

Certain services available through the SOFTWARE may rely upon location information, including, but not limited to, the geographic location of the wireless adapter. You acknowledge that for the purpose of providing such services, SONY, the THIRDPARTY SUPPLIERS or their partners may collect, archive, process and use such location data, and that such services are governed by the privacy policies of SONY or such third party. By reviewing the privacy policies applicable to such services and consent to such activities.

SONY, its affiliates, partners and agents will not intentionally use Information to personally identify the owner or user of the SOFTWARE without your knowledge or consent. Any use of Information will be in accordance with the privacy policies of SONY or such third party.

Please contact applicable contact address of each area or country for SONY's current privacy policy. Please contact applicable third parties for privacy policies relating to personally identifiable and other information you provide when you use or access third party software or services.

Information may be processed, stored or transferred to SONY, its affiliates or agents which are located in countries outside of your country of residence. Data protection and information privacy laws in certain countries may not offer the same level of protection as your country of residence and you may have fewer legal rights in relation to Information processed and stored in, or transferred to, such countries. SONY will use reasonable efforts to take appropriate technical and organizational steps to prevent unauthorized access to or disclosure of Information, but does not warrant it will eliminate all risk of misuse of such Information.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA and SONY's privacy policy, each as amended and modified from time to time, together constitute the entire agreement between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA.

This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or noncompliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/ UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express intended thirdparty beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the SOFTWARE of such party.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at applicable contact address of each area or country.

Copyright © 2012 Sony Corporation.

オープンソースソフトウェアの ライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

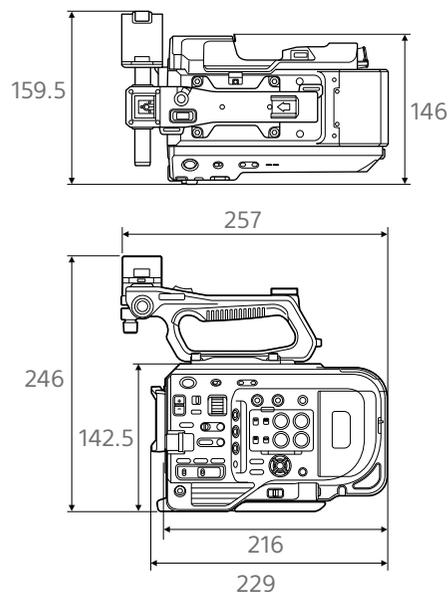
修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

仕様

一般

質量 約2.3 kg(本体、ハンドル含む)
外形寸法 (単位: mm、本体、ハンドル含む)¹⁾



1) 寸法は概算値です。

電源電圧 DC 19.5 V(18.0 V ~ 20.5 V)
消費電力 約35.2 W(本体、レンズ付、XAVC-I QFHD 59.94P記録時、ビューファインダー点灯時、外部機器接続なし)
約36.8 W(本体、レンズ付、XAVC-I QFHD 59.94P記録時、ビューファインダー点灯時、3G-SDI×2、HDMI、外部機器接続端子を使用)
動作温度 0 °C ~ 40 °C
保存温度 -20 °C ~ +60 °C
連続操作時間 約54分(BP-U35使用時)
(本体、レンズ付、XAVC-I QFHD 59.94P記録時、ビューファインダー

点灯時、外部機器接続なし)
記録フォーマット(ビデオ)
XAVC Intra
XAVC-I 4K/QFHDモード: VBR、最大ビットレート600 Mbps、MPEG-4 AVC/H.264
XAVC-I HDモード: CBG、最大ビットレート223 Mbps、MPEG-4 AVC/H.264
XAVC Long
XAVC-L QFHDモード: VBR、最大ビットレート150 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
XAVC-L HD 50モード: VBR、最大ビットレート50 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
XAVC-L HD 35モード: VBR、最大ビットレート35 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
XAVC-L HD 25モード: VBR、最大ビットレート25 Mbps、MPEG-4 H.264/AVC
MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422モード: CBR、最大ビットレート50 Mbps、MPEG-2 422P@HL
記録フォーマット(オーディオ)
LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
記録フレームレート
XAVC Intra
XAVC-I 4Kモード: 4096×
2160/59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P
XAVC-I QFHDモード: 3840×
2160/59.94P、50P、29.97P、23.98P、25P
XAVC-I HDモード: 1920×
1080/59.94P、50P、59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P

XAVC Long
XAVC-L QFHDモード: 3840×
2160/59.94P、50P、29.97P、23.98P、25P
XAVC-L HD 50モード: 1920×
1080/59.94P、50P、59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P
XAVC-L HD 35モード: 1920×
1080/59.94P、50P、59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P
XAVC-L HD 25モード: 1920×
1080/59.94i、50i
MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422モード: 1920×
1080/59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P
記録・再生時間
XAVC Intra
XAVC-I 4K/QFHDモード:
59.94P
約22分(QD-G128E/QD-G120F使用時)
XAVC-I HDモード:
59.94P
約57分(QD-G128E/QD-G120F使用時)
XAVC Long
XAVC-L QFHDモード:
59.94P
約86分(QD-G128E/G120F使用時)
XAVC-L HD 50モード:
59.94P
約110分(QD-G64E使用時)
XAVC-L HD 35モード:
59.94P
約150分(QD-G64E使用時)
XAVC-L HD 25モード:
59.94i
約200分(QD-G64E使用時)

MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422モード:
59.94i
約105分(QD-G64E使用時)

【ご注意】

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

カメラ部

撮像素子 35mmフルサイズ相当単板CMOSイメージセンサー
画素数 20.5M(total)
オートフォーカス 検出方式: 位相差検出方式/コントラスト検出方式
内蔵NDフィルター CLEAR: OFF
1: 1/4ND
2: 1/16ND
3: 1/64ND
リニア可変ND: 1/4ND ~ 1/128ND
ISO感度 ISO 800/4000(Cine EIモード、D55 Light source)
レンズマウント Eマウント(レバーロックタイプ)
ラティチュード 15+ stops
映像S/N 57 dB(Y) (Typical)
シャッタースピード 64F ~ 1/8000秒(23.98P時)

シャッターアングル

5.6°～360°、2～64frame

スロー&クイックモーション

XAVC QFHD：1～60P、XAVC HD：1～180P

ホワイトバランス

2000 K～15000 K

ゲイン

－3 dB～＋27 dB(1 dB単位)

ガンマカーブ

S-Cinetone、STD1、STD2、STD3、STD4、
STD5、STD6、HG1、HG2、
HG3、HG4、HG7、HG8、
S-Log3、HLG

オーディオ部

サンプリング周波数

48 kHz

量子化特性

24ビット

周波数特性

本体XLR入力MICモード時：20 Hz～20 kHz
(±3 dB以内)

本体XLR入力LINEモード時：20 Hz～20 kHz
(±3 dB以内)

ダイナミックレンジ

本体XLR入力MICモード時：80 dB(Typical)

本体XLR入力LINEモード時：90 dB(Typical)

ひずみ率

本体XLR入力MICモード時：0.08%以下(入力
レベル－40 dBu時)

本体XLR入力LINEモード時：0.08%以下(入力
レベル＋14 dBu時)

内蔵スピーカー

モノラル

内蔵マイク

モノラル

ワイヤレスLAN

対応規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac

使用周波数帯

2.4 GHz帯

5.2/5.3/5.6 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

入出力部

入力

INPUT 1/2：

XLR型、3ピン、凹

LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能

MIC：Reference －30 dBu～－80 dBu

GENLOCK IN：

BNC型

TC IN：

BNC型

出力

SDI OUT1：

BNC型、12G-SDI、6G-SDI、
3G-SDI(Level A/B)、HD-SDI

SDI OUT2：

BNC型、3G-SDI(Level A/B)、HD-SDI

ヘッドホン(ステレオミニジャック)：

－16 dBu(基準レベル出力、モニターボリューム
最大、16 Ω負荷時)

HDMI：

TypeA、19ピン

REF OUT：

BNC型

TC OUT：

BNC型

その他

DC IN：

EIAJ標準、DC 18 V～20.5 V

拡張ユニット接続端子：

専用144ピン

マルチインターフェースシュー：

専用21ピン

REMOTE：

2.5φ3極ミニミニタイプ

USB/マルチ：

2.0規格準拠 マスストレージ用 microBタイプ
(1)

VF：

専用40ピン

表示部

ビューファインダー (LCD)

画面サイズ

対角8.8 cm(3.5型)

アスペクト比

16:9

画素数

1280(H)×720(V)

メディアスロット部

映像記録用XQDカードスロット(2)

UTILITY SD/MSカードスロット(1)

付属品

ACアダプター (1)

電源コード(1)

LCDモニター (ロッド、クランプ含む)

アイピース(1)

USBケーブル(1)

グリップリモコン(1)

レンズマウントキャップ(1)

ハンドル端子保護キャップ(1)

アクセサリースューキット(アクセサリースュー (1)、

シューバネ(1)、ネジ(4))

メジャーフック(1)

丸形クランプスペーサー (2)

ネジ(5)

ご使用になる前に(1)

保証書(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品
サイトホームページ：

日本 <https://www.sony.jp/professional/>
日本以外の国
<https://pro.sony/>(ページ下部の
[Change Country & Language] で地域と言語を選択できます)

Sony Creative Software社のソフトウェアダウンロードページ
http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- XQD、および **XQD** はソニー株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。